

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構  
平成29年度業務実績等報告書

平成30年6月

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構

目 次

1	法人の概要	2
2	報告の実施根拠法	2
3	報告の対象	2
4	報告の趣旨	3
5	評価方法の概要（評価基準）	3
6	自己評価結果	3
	（1）総合的な評定	3
	（2）中期目標期間における財務情報及び人員に関する情報	6
	（3）年度計画の各項目ごとの評定	
	第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する 目標を達成するためとるべき措置	6
	第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	7
	第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画	8
	第4 短期借入金の限度額	8
	第5 剰余金の使途	9
	第6 料金に関する事項	9
	第7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	10
	地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構平成29年度業務実績に関する評価基準	11
	参考資料 平成29年度実績に関する評価（項目別評価シート）	12

## 1 法人の概要

- (1) 法人名等
- |     |                     |
|-----|---------------------|
| 名 称 | 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 |
| 代 表 | 理事長 栗谷 義 樹          |
| 住 所 | 山形県酒田市あきほ町30番地      |
- (2) 設立年月日 平成20年4月1日
- (3) 設立団体 山形県及び酒田市
- (4) 資本金の額 159億3582万7678円（平成29年9月22日変更登記時）
- (5) 中期目標の期間 平成28年度から平成31年度（4年間）
- (6) 目的及び業務

### ア 目 的

地方独立行政法人法に基づき、医療の提供、医療に関する調査及び研究等を行うことにより、庄内地域等の医療政策として求められる高度専門医療を提供し、及び当該地域における医療水準の向上を図り、もって住民の健康の維持及び増進に寄与することを目的とする。

### イ 業 務

- ① 医療の提供に関すること。
- ② 医療に関する調査及び研究に関すること。
- ③ 医療に関する技術者の研修に関すること。
- ④ 医療に関する地域への支援に関すること。
- ⑤ 災害時における医療救護に関すること。
- ⑥ 前各号に掲げる業務に附帯する業務に関すること。

## 2 報告の実施根拠法

地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第28条 第2項

## 3 報告の対象

平成29年度における地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構の年度計画に対する実績の状況

※年度計画・・・中期計画に基づき、当該年度における業務運営に関する計画を定めたもの

#### 4 報告の趣旨

地方独立行政法人法の規定に基づき、地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構（以下「病院機構」という。）が、庄内地域の中核病院である日本海総合病院及び日本海総合病院酒田医療センターを運営するにあたり、住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上及び業務運営の効率化等について自ら評価を行う。

#### 5 評価方法の概要

評価基準 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構平成29年度業務実績に関する評価基準。（別紙のとおり）

#### 6 自己評価結果

##### （1）総合的な評定

##### ア 概況について

平成29年度は、病院機構設立後10年度目、第3期中期目標期間の2年度目にあたる。

日本海総合病院については、救命救急センターや地域医療支援病院などの指定を受ける地域の中核病院として、専門医の配置と、デジタル一般撮影システム、手術部門システム及びデジタルマンモグラフィシステムなどの高度医療機器の更新・整備により、安全で高度かつ専門的な急性期医療を提供した。

酒田医療センターについては、理学療法士等の増員により、休日を含めたりハビリテーション提供体制を充実させ、地域ニーズに応じた回復期・慢性期医療を提供した。

また、ICTネットワークの活用など地域の医療機関をはじめ、保健、福祉、介護の各機関と連携を図り、効果的な業務運営を行った。さらに、職員配置、就労環境の整備においては、医事クランク、看護補助者及び認定看護師等の適所配置、院内保育所の24時間保育、病児・病後児保育の継続及び病棟看護師の負担軽減を目的とする二交代制勤務の追加導入など、スタッフの確保と業務負担軽減への取り組みを積極的に行った。特に、医療人材の確保・育成については、臨床研修医、レジデント、スチューデントドクター及び地域医療実習生を受け入れ、医師育成と医学生の教育に努めた。

## イ 患者動向について

### (ア) 日本海総合病院

延入院患者数は188,013人(1日当たり515.1人)で217人減少、延外来患者数は345,801人(1日当たり1,417.2人)で10,353人増加した。入院については、病床利用率が81.8%で0.1ポイント減少し、平均在院日数は11.2日で0.5日短くなった。

### (イ) 酒田医療センター

延入院患者数は36,962人(1日当たり101.3人)で442人減少、延外来患者数は723人(1日当たり3.0人)で93人減少した。入院については、病床利用率が88.8%で1.1ポイント減少し、平均在院日数は62.0日で3.4日短くなった。

また、延通所リハビリテーション利用者数については、4,046人(1日当たり16.6人)で1,260人(1日当たり5.1人)増加した。

### (ウ) 法人全体

延入院患者数は224,975人(1日当たり616.4人)で659人減少、新入院患者数は17,373人で736人増加した。

また、延外来患者数は346,524人(1日当たり1,420.2人)で10,260人増加、新外来患者数は28,370人で1,233人減少した。

## ウ 収支について

### (ア) 日本海総合病院

入院収益は、128億6百万円で8億86百万円の増加、外来収益は、52億82百万円で4億17百万円の増加となった。

総収益201億22百万円に対し、総費用191億80百万円で、純利益は9億41百万円となり、前年度比で2億75百万円増加した。

### (イ) 酒田医療センター

入院収益は、10億31百万円で23百万円の増加となった。

総収益12億円に対し、総費用13億34百万円で、1億34百万円の純損失となり、前年度より54百万円の損失が増加した。

(ウ) 法人全体

営業収益については、入院収益が 138 億 37 百万円で前年度比 9 億 9 百万円増加し、外来収益が 52 億 85 百万円で前年度比 4 億 17 百万円増加した。

総収益、213 億 22 百万円に対し、総費用 205 億 15 百万円で、純利益は 8 億 8 百万円となり、前年度比で 2 億 22 百万円の増収となった。

エ 評価した項目数

総項目数 93 項目【評価 S : 4、A : 30、B : 59】

オ 評価

平成 29 年度計画における業務実績及び業務運営については、概ね計画どおり実施されたものとして評価する。

(2) 中期目標期間における財務情報及び人員に関する情報

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
総収益（百万円）	20,003	21,322	—	—
総費用（百万円）	19,417	20,515	—	—
純利益（百万円）	587	808	—	—
常勤職員数（人）	1,040	1,061	—	—

※（3）の項目ごとに算出することが困難であるため、全体の情報を記載。

(3) 年度計画の各項目ごとの評定

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

ア 評定

年度計画に対する実績は概ね計画に合致している。

イ 理由

2病院の医療機能の分担により効率的かつ効果的な業務運営を図るとともに、庄内地域の中核病院として地域医療水準の向上に努めた。

ウ 評価した項目

① 項目数

68項目 【評価 S：3、A：23、B：42】

② 特筆すべき項目

- ・ 救命救急センターの機能強化のため、酒田地区医師会十全堂との連携により平日夜間救急外来の診療体制を確保した。
- ・ 酒田医療センターでは、理学療法士等の増員等により、休日を含めたりハビリテーションの提供体制の充実に努めた。
- ・ 日本海総合病院では、退院支援職員が在宅医療へ円滑に移行できるよう、退院調整業務等において積極的な支援を行った。
- ・ 新しい専門医制度の開始に伴い、内科及び産婦人科の基幹施設として認定を受け、専攻医の採用について積極的に取り組んだ。

- ・ 他の医療機関との役割分担及び連携を進めた結果、地域医療支援病院の指定要件となっている、紹介率・逆紹介率に係る目標値を大幅に上回った。
- ・ 庄内二次医療圏全体で、効率的で適切な医療やケアを提供するため、地域医療情報ネットワーク等の ICT を活用し、他の医療機関や介護・福祉施設等との診療情報の共有化の推進に努めた。

## 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

### ア 評 定

年度計画に対する実績は概ね計画に合致している。

### イ 理 由

診療体制の強化、人員配置の弾力的運用に努め、診療報酬改定等をはじめ各種制度の変化に迅速に対応するなど、収益の確保に努めた。

### ウ 評価した項目

#### ① 項目数

8項目 【評価 A：3、B：5】

#### ② 特筆すべき項目

- ・ 地域連携室の勤務時間に遅番を設けるなど、人員配置を弾力的に運用することにより、患者ニーズへの対応に努めた。
- ・ 経営基盤の安定化に向けて設定した各目標値については、日本海総合病院では、1日当たりの入院患者数が目標値を僅かに下回ったが、他の目標については全て達成した。酒田医療センターでは、1日当たりの入院患者数及び病床利用率が目標値を下回ったが、他の目標は達成した。
- ・ 新たな施設基準(特定集中治療室管理料3、特定集中治療室管理料4)の取得により増収を図った。



第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

ア 評 定

年度計画に対する実績は計画を上回っている。

イ 理 由

日本海総合病院、酒田医療センター及び病院機構全体で、営業収支比率と経常収支比率の目標を達成した。

ウ 評価した項目

① 項目数

1項目 【評価 A：1】

② 特筆すべき項目

病院機構全体で、経常収支比率 104.3%となった。

第4 短期借入金の限度額

ア 評 定

年度計画に対する実績は計画を上回っている。

イ 理 由

短期借入金の実績なし。

ウ 評価した項目

① 項目数

1項目 【評価 A：1】

② 特筆すべき項目

計画的な資金収支に努めたため、短期借入金の必要がなかった。

## 第5 剰余金の使途

### ア 評 定

年度計画に対する実績は計画を上回っている。

### イ 理 由

決算剰余金については、建設改良積立金に充当し将来の施設整備及び医療機器の整備に備えた。

### ウ 評価した項目

#### ① 項目数

1項目 【評価 S : 1】

#### ② 特筆すべき項目

病院施設の整備に充てるため建設改良積立金に充当した。

## 第6 料金に関する事項

### ア 評 定

年度計画に対する実績は概ね計画に合致している。

### イ 理 由

病院機構の規定に基づき料金徴収を行った。

### ウ 評価した項目

#### ① 項目数

2項目 【評価 B : 2】

#### ② 特筆すべき項目

病院機構の規定に基づき適切に使用料を徴収した。

## 第7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

### ア 評 定

年度計画に対する実績は概ね計画に合致している。

### イ 理 由

認定看護師や専門薬剤師等の資格保有者に対する適正な評価をするとともに、各種研修会の参加者への受講料等を負担するなど、職員のモチベーションの向上に努めた。

### ウ 評価した項目

#### ① 項目数

12項目 【評価 A：2、B：10】

#### ② 特筆すべき項目

職員一人ひとりがそれぞれの分野で専門知識や能力を十分に発揮できるよう多職種によるチーム医療の推進に努めるとともに医師、看護師、薬剤師等、多職種によるチーム医療を推進するため、新たに「がんセンターボード」を定期的で開催した。

※がんセンターボード：手術、放射線療法及び化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師や、その他の専門医師及び医療スタッフ等が参集し、がん患者の症状、状態及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確認等 するためのカンファレンス。

## 【別紙】

### 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構平成29年度業務実績に関する評価基準

#### 1 平成29年度業務の実績に関する評価の基本方針

平成29年度地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構年度計画について、その業務の実績について自己評価を行う。

#### 2 業務の実績に関する評価の方法

計画に掲げた項目ごとに行なう「項目別評価」と、業務実績全体の状況について行なう「全体評価」の2つを併せて行なうものとする。

##### (1) 項目別評価 項目別評価シート

項目別評価は、年度計画の個別項目毎の進捗状況について、下記により評価するものとする。

##### ① 業務の実施状況を幅広く把握し、可能な限り客観的な評価の実施に努める。

- ・目標数値がある場合はその達成度合い、定性的な目標の場合は具体的な業務実績を把握して評価する
- ・業務実績については、その数量だけでなく、その質についても考慮する
- ・業務実績に影響を及ぼした要因、予期せぬ事情の変化等についても考慮する

##### ② 判定基準として以下の5段階で評価し、原則としてその理由を付記する

(判定基準)

「S」 : 計画を大幅に上回っている

「A」 : 計画を上回っている

「B」 : 計画に概ね合致している

「C」 : 計画をやや下回っている

「D」 : 計画を下回っており、大幅な改善が必要

##### (2) 全体評価

全体評価は、(1)の項目別評価の結果を踏まえ、全体的な計画の進行状況や達成について、記述式等により評価するものとする。

# 平成 29 年度 業務実績 項目別自己評価シート

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 業務実績項目別自己評価シート

自己評価基準 「S」:計画を大幅に上回っている 「A」:計画を上回っている 「B」:計画に概ね合致している 「C」:計画をやや下回っている 「D」:計画を下回っており、大幅な改善が必要

第3期中期計画(平成28～31年度)※H30.3変更		平成29年度計画	平成29年度実績【実施状況及び業務運営の状況】	評価の視点	自己 評価	評価の理由等	H28 評価	評価	設立団体の評価																								
<b>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組</b>		<b>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組</b>																															
<b>1 病床機能の分化・連携</b>		<b>1 病床機能の分化・連携</b>																															
<b>(1)日本海総合病院の機能</b>		<b>(1)日本海総合病院の機能</b>																															
<p>「高度急性期」医療機能を有し、急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向け、次表のような診療密度が特に高い医療を提供する。</p> <p>【日本海総合病院の機能】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>許可病床数</td> <td>一般病床 642床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 646床</td> </tr> <tr> <td>標榜科 (27診療科)</td> <td>内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、精神科、神経内科、小児科、緩和ケア内科、外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科、病理診断科</td> </tr> <tr> <td>診療機能等</td> <td>・救命救急センター(ICU、HCU) ・PETセンター ・外来化学療法室 ・LDR室(陣痛・分娩・回復室) ・未熟児室 ・認知症疾患医療センター ・特殊診察室及び感染症室(陰圧・陽圧室) ・人工透析室 ・ハイブリッド手術室 ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・臨床研修病院 など</td> </tr> </tbody> </table>		項目	概要	許可病床数	一般病床 642床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 646床	標榜科 (27診療科)	内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、精神科、神経内科、小児科、緩和ケア内科、外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科、病理診断科	診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・PETセンター ・外来化学療法室 ・LDR室(陣痛・分娩・回復室) ・未熟児室 ・認知症疾患医療センター ・特殊診察室及び感染症室(陰圧・陽圧室) ・人工透析室 ・ハイブリッド手術室 ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・臨床研修病院 など	<p>「高度急性期」医療機能を有し、急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向け、次表のような診療密度が特に高い医療を提供する。</p> <p>【日本海総合病院の機能】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>許可病床数</td> <td>一般病床 642床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 646床</td> </tr> <tr> <td>標榜科 (27診療科)</td> <td>内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、精神科、神経内科、小児科、緩和ケア内科、外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科、病理診断科</td> </tr> <tr> <td>診療機能等</td> <td>・救命救急センター(ICU、HCU) ・PETセンター ・外来化学療法室 ・LDR室(陣痛・分娩・回復室) ・未熟児室 ・認知症疾患医療センター ・特殊診察室及び感染症室(陰圧・陽圧室) ・人工透析室 ・ハイブリッド手術室 ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・臨床研修病院 など</td> </tr> </tbody> </table>		項目	概要	許可病床数	一般病床 642床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 646床	標榜科 (27診療科)	内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、精神科、神経内科、小児科、緩和ケア内科、外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科、病理診断科	診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・PETセンター ・外来化学療法室 ・LDR室(陣痛・分娩・回復室) ・未熟児室 ・認知症疾患医療センター ・特殊診察室及び感染症室(陰圧・陽圧室) ・人工透析室 ・ハイブリッド手術室 ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・臨床研修病院 など	<p>「高度急性期」医療機能を有し、急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向け、次表のような診療密度が特に高い医療を提供した。</p> <p>【日本海総合病院の機能】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>許可病床数</td> <td>一般病床 642床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 646床</td> </tr> <tr> <td>標榜科 (27診療科)</td> <td>内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、精神科、神経内科、小児科、緩和ケア内科、外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科、病理診断科</td> </tr> <tr> <td>診療機能等</td> <td>・救命救急センター(ICU、HCU) ・PETセンター ・外来化学療法室 ・LDR室(陣痛・分娩・回復室) ・未熟児室 ・認知症疾患医療センター ・特殊診察室及び感染症室(陰圧・陽圧室) ・人工透析室 ・ハイブリッド手術室 ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・臨床研修病院 など</td> </tr> </tbody> </table>	項目	概要	許可病床数	一般病床 642床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 646床	標榜科 (27診療科)	内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、精神科、神経内科、小児科、緩和ケア内科、外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科、病理診断科	診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・PETセンター ・外来化学療法室 ・LDR室(陣痛・分娩・回復室) ・未熟児室 ・認知症疾患医療センター ・特殊診察室及び感染症室(陰圧・陽圧室) ・人工透析室 ・ハイブリッド手術室 ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・臨床研修病院 など	<p>◇急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向け、診療密度が特に高い医療を提供した。</p>	<p>A</p> <p>▽日本海総合病院の延べ入院患者数188,013人で1日当たりの入院患者数は515.1人。延べ外来患者数345,801人で1日当たりの外来患者数は1,417.2人であった。また、平均在院日数は、前年度比△0.5日の11.2日であった。</p> <p>▽クリニカルパスの見直し等を行ったことから、効率的な治療と平均在院日数の短縮、入院単価の上昇と診療密度の高い医療を提供した。</p> <p>・平均在院日数:11.2日(前年度比△0.5日) ・入院単価:68,113円</p> <p>▽平成29年度自治体立優良病院総務大臣表彰を受賞。</p> <p>自治体立優良病院総務大臣表彰は、自治体立の病院で、地域医療の確保に重要な役割を果たしており、かつ、経営の健全性が確保されている病院の中から、「経営の健全性」「経営努力の状況」及び「地域医療に果たしている役割」を総合的に判断し決定されるもの。</p> <p>なお、昭和61年度に表彰制度が創設されて以来、山形県内の病院としては初の受賞となる。</p>	A		
項目	概要																																
許可病床数	一般病床 642床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 646床																																
標榜科 (27診療科)	内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、精神科、神経内科、小児科、緩和ケア内科、外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科、病理診断科																																
診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・PETセンター ・外来化学療法室 ・LDR室(陣痛・分娩・回復室) ・未熟児室 ・認知症疾患医療センター ・特殊診察室及び感染症室(陰圧・陽圧室) ・人工透析室 ・ハイブリッド手術室 ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・臨床研修病院 など																																
項目	概要																																
許可病床数	一般病床 642床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 646床																																
標榜科 (27診療科)	内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、精神科、神経内科、小児科、緩和ケア内科、外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科、病理診断科																																
診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・PETセンター ・外来化学療法室 ・LDR室(陣痛・分娩・回復室) ・未熟児室 ・認知症疾患医療センター ・特殊診察室及び感染症室(陰圧・陽圧室) ・人工透析室 ・ハイブリッド手術室 ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・臨床研修病院 など																																
項目	概要																																
許可病床数	一般病床 642床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 646床																																
標榜科 (27診療科)	内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、精神科、神経内科、小児科、緩和ケア内科、外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科、病理診断科																																
診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・PETセンター ・外来化学療法室 ・LDR室(陣痛・分娩・回復室) ・未熟児室 ・認知症疾患医療センター ・特殊診察室及び感染症室(陰圧・陽圧室) ・人工透析室 ・ハイブリッド手術室 ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・臨床研修病院 など																																
<b>(2)日本海酒田リハビリテーション病院の機能 ※H30.4 名称変更</b>		<b>(2)酒田医療センターの機能</b>																															
<p>急性期を経過した患者について、次のような医療を提供する。</p> <p>①「回復期」医療機能を有し、在宅復帰に向けた医療及びADL(日常生活動作)の向上を目的としたリハビリテーションを提供する。</p> <p>②「慢性期」医療機能を有し、長期にわたり療養を必要とする患者及び重度障がい者等を受け入れる。</p> <p>【日本海酒田リハビリテーション病院の機能】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>許可病床数</td> <td>医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床</td> </tr> <tr> <td>標榜科 (2診療科)</td> <td>内科、リハビリテーション科</td> </tr> <tr> <td>診療機能等</td> <td>・回復期リハビリテーション ・通所リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・機能訓練室 ・デイケア室 ・臨床研修病院 など</td> </tr> </tbody> </table>		項目	概要	許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床	標榜科 (2診療科)	内科、リハビリテーション科	診療機能等	・回復期リハビリテーション ・通所リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・機能訓練室 ・デイケア室 ・臨床研修病院 など	<p>急性期を経過した患者について、次のような医療を提供する。</p> <p>①「回復期」医療機能を有し、在宅復帰に向けた医療及びADL(日常生活動作)の向上を目的としたリハビリテーションを提供する。</p> <p>②「慢性期」医療機能を有し、長期にわたり療養を必要とする患者及び重度障がい者等を受け入れる。</p> <p>【酒田医療センターの機能】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>許可病床数</td> <td>医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床</td> </tr> <tr> <td>標榜科 (2診療科)</td> <td>内科、リハビリテーション科</td> </tr> <tr> <td>診療機能等</td> <td>・回復期リハビリテーション ・通所リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・機能訓練室 ・デイケア室 ・臨床研修病院 など</td> </tr> </tbody> </table>		項目	概要	許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床	標榜科 (2診療科)	内科、リハビリテーション科	診療機能等	・回復期リハビリテーション ・通所リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・機能訓練室 ・デイケア室 ・臨床研修病院 など	<p>急性期を経過した患者について、次のような医療を提供した。</p> <p>①「回復期」医療機能を有し、在宅復帰に向けた医療及びADL(日常生活動作)の向上を目的としたリハビリテーションを提供した。</p> <p>②「慢性期」医療機能を有し、長期にわたり療養を必要とする患者及び重度障がい者等の受け入れを行った。</p>	<p>◇急性期を経過した患者について、「回復期」「慢性期」の医療を提供したか。</p>	<p>A</p> <p>▽酒田医療センターの延べ入院患者数36,962人で、1日あたりの入院患者数は101.3人。延べ外来患者数は723人で1日あたり3.0人であった。</p> <p>▽平均在院日数は、前年度比△3.4日の62.0日であった。</p> <p>▽延通所リハビリテーション利用者数は4,046人(1日当たり16.6人)で1260人(45%)増加した。</p> <p>・病床利用率88.8% ・理学療法士等の増員により、前年度比約15%増の実施単位数を提供した。</p>	A										
項目	概要																																
許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床																																
標榜科 (2診療科)	内科、リハビリテーション科																																
診療機能等	・回復期リハビリテーション ・通所リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・機能訓練室 ・デイケア室 ・臨床研修病院 など																																
項目	概要																																
許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床																																
標榜科 (2診療科)	内科、リハビリテーション科																																
診療機能等	・回復期リハビリテーション ・通所リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・機能訓練室 ・デイケア室 ・臨床研修病院 など																																

第3期中期計画(平成28～31年度)※H30.3変更	平成29年度計画	平成29年度実績【実施状況及び業務運営の状況】	評価の視点	自己 評価	評価の理由等	H28 評価	評価	設立団体の評価																											
<b>(3) 日本海八幡クリニック等診療所の機能 ※H30.3追加</b>																																			
<p>日本海八幡クリニック等診療所は、それぞれの地域における唯一の医療機関であり、日常的な病気のやがが等の患者に対して医療を提供する。また、地域の医療需要を考慮した体制も検討している。</p> <p>日本海八幡クリニック</p> <table border="1"> <tr><td>種目</td><td>概要</td></tr> <tr><td>診療科(4診療科)</td><td>内科、外科、整形外科、リハビリテーション科</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護 ・高齢診療所の遠隔診療</td></tr> </table> <p>升田診療所</p> <table border="1"> <tr><td>種目</td><td>概要</td></tr> <tr><td>診療科</td><td>内科</td></tr> </table> <p>青次診療所</p> <table border="1"> <tr><td>種目</td><td>概要</td></tr> <tr><td>診療科</td><td>内科</td></tr> </table> <p>松山診療所</p> <table border="1"> <tr><td>種目</td><td>概要</td></tr> <tr><td>診療科(2診療科)</td><td>内科、外科</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・訪問診療</td></tr> </table> <p>地見奥屋診療所</p> <table border="1"> <tr><td>種目</td><td>概要</td></tr> <tr><td>診療科(2診療科)</td><td>内科、外科</td></tr> </table> <p>飛鳥診療所</p> <table border="1"> <tr><td>種目</td><td>概要</td></tr> <tr><td>診療科(2診療科)</td><td>内科、外科</td></tr> </table>	種目	概要	診療科(4診療科)	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科	診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護 ・高齢診療所の遠隔診療	種目	概要	診療科	内科	種目	概要	診療科	内科	種目	概要	診療科(2診療科)	内科、外科	診療機能等	・訪問診療	種目	概要	診療科(2診療科)	内科、外科	種目	概要	診療科(2診療科)	内科、外科	<p>▽H30.3月変更時の追加項目。 ▽H30年度からの事業のため、H29年度計画に該当しない。 ※H30.4月に酒田市から移管統合された「日本海八幡クリニック等診療所」に関する事項。</p>	▽同左		-		-	
種目	概要																																		
診療科(4診療科)	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科																																		
診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護 ・高齢診療所の遠隔診療																																		
種目	概要																																		
診療科	内科																																		
種目	概要																																		
診療科	内科																																		
種目	概要																																		
診療科(2診療科)	内科、外科																																		
診療機能等	・訪問診療																																		
種目	概要																																		
診療科(2診療科)	内科、外科																																		
種目	概要																																		
診療科(2診療科)	内科、外科																																		
<b>2 高度専門医療・回復期医療の提供及び医療水準の向上</b>	<b>2 高度専門医療・回復期医療の提供及び医療水準の向上</b>																																		
<b>(1) 高度専門医療・回復期医療等の充実・強化</b>	<b>(1) 高度専門医療・回復期医療等の充実・強化</b>																																		
日本海総合病院は、庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、急性期医療や高度専門医療等の充実、日本海酒田リハビリテーション病院は、北庄内地域の回復期・慢性期医療の充実、日本海八幡クリニック等診療所は、一次医療等の充実を図るため、次のような取組みを行う。																																			
<b>ア 診療体制の充実</b>	<b>ア 診療体制の充実</b>																																		
<b>(ア) 救急医療</b>	<b>(ア) 救急医療(日本海総合病院)</b>																																		
① 庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターとして、24時間365日、地域に信頼される医療の提供に努める。	① 庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターとして、24時間365日、地域に信頼される医療の提供に努める。	① 庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターとして、24時間365日、地域に信頼される医療の提供に努めた。	◇庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターとして、24時間365日、地域に信頼される医療を提供したか。	A	▽救命救急センターは医師15名体制で救急医療の提供に当たり、また、新たに1名の医師が救急科専門医を取得するなど、診療体制の充実を図った。	A																													
		<table border="1"> <tr><td colspan="4">【実績】救命救急センター延べ患者数</td></tr> <tr><td>平成26年度</td><td>平成27年度</td><td>平成28年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>24,012名</td><td>25,039名</td><td>23,619名</td><td>23,775名</td></tr> </table>	【実績】救命救急センター延べ患者数				平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	24,012名	25,039名	23,619名	23,775名																					
【実績】救命救急センター延べ患者数																																			
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																																
24,012名	25,039名	23,619名	23,775名																																
② 酒田地区広域行政組合消防本部及び鶴岡市消防本部との連携を強化し、救急医療の充実に努める。	② 酒田地区広域行政組合消防本部及び鶴岡市消防本部との連携を強化し、救急医療の充実に努める。	② 酒田地区広域行政組合及び鶴岡市消防本部との連携を強化し、救急医療の充実に努めた。	◇酒田地区及び鶴岡地区消防本部と連携し救急医療の充実に努めたか。	B	▽日本海総合病院において酒田地区広域行政組合及び鶴岡市消防本部と合同で、救急医療講演会を開催した。 ▽H29 救急車搬送患者数の割合等 ・酒田地区広域行政組合 3,481人 63.6% ・鶴岡市消防本部 322人 5.9%	A																													
		<table border="1"> <tr><td colspan="3">【実績】救急医療講演会</td></tr> <tr><td>実施日等</td><td>研修内容等</td><td>参加人数</td></tr> <tr><td>平成29年10月20日 日本海総合病院 講堂</td><td>「北庄内地域における救急医療連携推進のためには」 講師 さと内科クリニック院長、 (一社)酒田地区医師会十全堂副会長 佐藤 顕 氏</td><td>74名</td></tr> </table>	【実績】救急医療講演会			実施日等	研修内容等	参加人数	平成29年10月20日 日本海総合病院 講堂	「北庄内地域における救急医療連携推進のためには」 講師 さと内科クリニック院長、 (一社)酒田地区医師会十全堂副会長 佐藤 顕 氏	74名																								
【実績】救急医療講演会																																			
実施日等	研修内容等	参加人数																																	
平成29年10月20日 日本海総合病院 講堂	「北庄内地域における救急医療連携推進のためには」 講師 さと内科クリニック院長、 (一社)酒田地区医師会十全堂副会長 佐藤 顕 氏	74名																																	
③ 救命救急センターの機能強化のため、一般社団法人酒田地区医師会十全堂と連携し、平日夜間救急診療体制を維持する。	③ 救命救急センターの機能強化のため、一般社団法人酒田地区医師会十全堂(以下「酒田地区医師会」という。)と連携し、平日夜間救急診療体制を維持する。	③ 救命救急センターの機能強化のため、一般社団法人酒田地区医師会十全堂と連携し、平日夜間救急外来を継続して行った。	◇酒田地区医師会と連携し、平日夜間救急医療の体制を維持したか。	B	▽庄内地域唯一の救命救急センターとして高度な処置が必要となる重篤な患者に対する三次救急診療を当院の医師が担い、平日夜間救急外来での初期救急医療については一般社団法人酒田地区医師会十全堂と連携し、医師会所属の医師が担当した。	A																													
		<table border="1"> <tr><td colspan="4">【実績】酒田地区医師会診療支援による延べ患者数</td></tr> <tr><td>平成26年度</td><td>平成27年度</td><td>平成28年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>581名</td><td>624名</td><td>585名</td><td>436名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1,280名</td><td>1,250名</td><td>1,081名</td><td>824名</td></tr> </table>	【実績】酒田地区医師会診療支援による延べ患者数				平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	小児科	581名	624名	585名	436名	その他	1,280名	1,250名	1,081名	824名															
【実績】酒田地区医師会診療支援による延べ患者数																																			
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																																
小児科	581名	624名	585名	436名																															
その他	1,280名	1,250名	1,081名	824名																															

第3期中期計画(平成28～31年度)※H30.3変更	平成29年度計画	平成29年度実績【実施状況及び業務運営の状況】	評価の視点	自己 評価	評価の理由等	H28	設立団体の評価																																												
						評定	評定	評定																																											
<b>(イ)がん医療(日本海総合病院)</b>		<b>(イ)がん医療(日本海総合病院)</b>																																																	
① 地域がん診療連携拠点病院として、手術、放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療を提供する。	① 地域がん診療連携拠点病院として、手術、放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療を提供する。	① 地域がん診療連携拠点病院として、手術、放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療を提供した。  【実績】手術、放射線療法、外来化学療法の件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術</td> <td>1,068件</td> <td>1,117件</td> <td>1,093件</td> <td>1,140件</td> </tr> <tr> <td>放射線療法</td> <td>6,726件</td> <td>7,959件</td> <td>7,931件</td> <td>7,438件</td> </tr> <tr> <td>外来化学療法</td> <td>3,739件</td> <td>4,337件</td> <td>4,167件</td> <td>5,122件</td> </tr> </tbody> </table> ※外来化学療法は、延べ件数		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	手術	1,068件	1,117件	1,093件	1,140件	放射線療法	6,726件	7,959件	7,931件	7,438件	外来化学療法	3,739件	4,337件	4,167件	5,122件	◇手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた治療が行われたか。	B	▽集学的治療を継続して行い、外来化学療法の延べ件数は増加した。  ▽外来化学療法の延べ件数前年度比955件(約20%)の増加、全体で約4%増加した。	B																									
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																																															
手術	1,068件	1,117件	1,093件	1,140件																																															
放射線療法	6,726件	7,959件	7,931件	7,438件																																															
外来化学療法	3,739件	4,337件	4,167件	5,122件																																															
② 高度専門的ながん医療を提供するため、県全体の体制を踏まえながら、サイバーナイフの導入を検討する。	② 高度専門的ながん医療を提供するため、高精度放射線治療装置(IMRT)の導入に向け治療棟の整備を進める。	② 高度専門的ながん医療を提供するため、平成30年2月から高精度放射線治療装置(IMRT)治療棟の整備を開始した。	◇高度専門的ながん医療を提供するため、高精度放射線治療装置(IMRT)の導入に向け治療棟の整備を進めたか。	A	▽高精度放射線治療装置(IMRT)の治療棟の工事を開始した。 ・工事期間：H30.2月からH31.3月まで。	A																																													
③ 患者の病態に応じ、より適切で効果的ながん医療を提供するため、専門的な知識及び技能を有する医療従事者の配置など体制の充実を図る。	③ 患者の病態に応じ、より適切で効果的ながん医療を提供するため、専門的な知識及び技能を有する医療従事者の配置など体制の充実を図る。	③ 患者の病態に応じ、より適切で効果的ながん医療を提供するため、専門的な知識及び技能を有する医療従事者(がん相談員)を「医療・福祉センター」に配置し、専門研修に参加させるなど体制の強化を図った。  【実績】がん相談件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>963件</td> <td>1,041件</td> <td>1,142件</td> <td>1,183件</td> </tr> </tbody> </table>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		963件	1,041件	1,142件	1,183件	◇体制の充実を図ったか。	A	▽医療・福祉センターへのがん相談員の配置などにより、がん相談件数は前年度より増加した。  ▽がん相談件数 前年度比41件増加(3.5%)  ▽医療・福祉センター職員を「相談支援センター相談員基礎研修」に参加させ、スキルアップを図った。	A																																			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																																															
	963件	1,041件	1,142件	1,183件																																															
④ 早期に適切な緩和ケアを提供するため、緩和ケアチームを中心とした体制の充実を図る。	④ 早期に適切な緩和ケアを提供するため、がん診療サポートチームを中心とした体制の充実を図る。	④ 早期に適切な緩和ケアを提供するため、がん診療サポートチームを中心に、病棟回診及び緩和ケア外来を継続して実施し、緩和ケア医療の充実を図った。また、医師に対する緩和ケア研修会を開催するなど体制の強化を図った。  【実績】緩和ケア件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病棟回診</td> <td>299名</td> <td>351名</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア外来</td> <td>135名</td> <td>186名</td> </tr> </tbody> </table> 【実績】緩和ケア研修会 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">平成28年度</th> <th colspan="3">平成29年度</th> </tr> <tr> <th>受講者数</th> <th>対象者数</th> <th>受講率</th> <th>受講者数</th> <th>対象者数</th> <th>受講率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん患者の主治医や担当医となる医師</td> <td>61名</td> <td>64名</td> <td>92.4%</td> <td>63名</td> <td>66名</td> <td>95.5%</td> </tr> <tr> <td>研修医から卒業5年目までの医師</td> <td>34名</td> <td>34名</td> <td>100%</td> <td>40名</td> <td>42名</td> <td>95.2%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>95名</td> <td>98名</td> <td>96.9%</td> <td>103名</td> <td>108名</td> <td>95.4%</td> </tr> </tbody> </table>		平成28年度	平成29年度	病棟回診	299名	351名	緩和ケア外来	135名	186名		平成28年度			平成29年度			受講者数	対象者数	受講率	受講者数	対象者数	受講率	がん患者の主治医や担当医となる医師	61名	64名	92.4%	63名	66名	95.5%	研修医から卒業5年目までの医師	34名	34名	100%	40名	42名	95.2%	合計	95名	98名	96.9%	103名	108名	95.4%	◇適切な緩和ケアの体制を充実したか。	A	▽病棟回診及び緩和ケア外来の件数については、前年度より増加した。また、医師に対する緩和ケア研修会を前年度よりも10件多く開催した。 ▽前年度比 ・病棟回診→52件増加(17%) ・緩和ケア外来→51件増加(38%)	A		
	平成28年度	平成29年度																																																	
病棟回診	299名	351名																																																	
緩和ケア外来	135名	186名																																																	
	平成28年度			平成29年度																																															
	受講者数	対象者数	受講率	受講者数	対象者数	受講率																																													
がん患者の主治医や担当医となる医師	61名	64名	92.4%	63名	66名	95.5%																																													
研修医から卒業5年目までの医師	34名	34名	100%	40名	42名	95.2%																																													
合計	95名	98名	96.9%	103名	108名	95.4%																																													
⑤ 院内がん登録及び地域がん登録を実施し、がん対策の進展に貢献する。	⑤ 院内がん登録及び地域がん登録を実施し、がん対策の進展に貢献する。	⑤ 院内がん登録及び地域がん登録について、地域がん診療連携拠点病院として、次のおりがん登録を行い、がん対策の進展に貢献した。  【実績】がん登録件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>院内がん登録</td> <td>1,589件</td> <td>1,379件</td> <td>1,709件</td> <td>1,761件</td> </tr> <tr> <td>地域がん登録</td> <td>1,549件</td> <td>1,389件</td> <td>1,661件</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>全国がん登録</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1,778件</td> </tr> </tbody> </table>		H26	H27	H28	H29	院内がん登録	1,589件	1,379件	1,709件	1,761件	地域がん登録	1,549件	1,389件	1,661件	—	全国がん登録	—	—	—	1,778件	◇地域がん診療連携拠点病院として、がん対策に貢献したか。	A	▽院内がん登録及び地域がん登録を積極的にを行い、登録件数は前年度に比べ全体で約5%増加している。  ▽前年度比件数 ・院内がん登録→52件増加(3%) ・全国がん(地域がん)登録→117件増加(7%)	A																									
	H26	H27	H28	H29																																															
院内がん登録	1,589件	1,379件	1,709件	1,761件																																															
地域がん登録	1,549件	1,389件	1,661件	—																																															
全国がん登録	—	—	—	1,778件																																															



第3期中期計画(平成28～31年度)※H30.3変更	平成29年度計画	平成29年度実績【実施状況及び業務運営の状況】	評価の視点	自己 評定	評定の理由等	H28 評定	評定	設立団体の評価																																																																						
<b>(ウ) 脳卒中・急性心筋梗塞(日本海総合病院)</b>	<b>(ウ) 脳卒中・急性心筋梗塞(日本海総合病院)</b>	<p>① 機能回復のため、高度専門的な内科的又は外科的治療を速やかにを行い、早期にリハビリテーションを開始するよう努めた。また、休日のリハビリテーションを継続して実施した。</p> <p>【実績】疾患別リハビリテーション実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H26年度</th> <th colspan="2">H27年度</th> <th colspan="2">H28年度</th> <th colspan="2">H29年度</th> </tr> <tr> <th>実患者数 (人)</th> <th>単位数 (回数)</th> <th>実患者数 (人)</th> <th>単位数 (回数)</th> <th>実患者数 (人)</th> <th>単位数 (回数)</th> <th>実患者数 (人)</th> <th>単位数 (回数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳血管疾患</td> <td>1,492</td> <td>49,034</td> <td>1,146</td> <td>48,726</td> <td>772</td> <td>42,652</td> <td>756</td> <td>53,943</td> </tr> <tr> <td>心大血管疾患</td> <td>689</td> <td>17,556</td> <td>698</td> <td>16,770</td> <td>752</td> <td>19,051</td> <td>670</td> <td>18,139</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】休日のリハビリテーション実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H26年度</th> <th colspan="2">H27年度</th> <th colspan="2">H28年度</th> <th colspan="2">H29年度</th> </tr> <tr> <th>実患者数 (人)</th> <th>単位数 (回数)</th> <th>実患者数 (人)</th> <th>単位数 (回数)</th> <th>実患者数 (人)</th> <th>単位数 (回数)</th> <th>実患者数 (人)</th> <th>単位数 (回数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳血管疾患</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>330</td> <td>1,493</td> <td>622</td> <td>3,387</td> </tr> <tr> <td>心大血管疾患</td> <td>374</td> <td>1,571</td> <td>408</td> <td>1,542</td> <td>494</td> <td>1,357</td> <td>555</td> <td>2,162</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ H28.10.8～休日の脳血管リハ開始</p>		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		実患者数 (人)	単位数 (回数)	実患者数 (人)	単位数 (回数)	実患者数 (人)	単位数 (回数)	実患者数 (人)	単位数 (回数)	脳血管疾患	1,492	49,034	1,146	48,726	772	42,652	756	53,943	心大血管疾患	689	17,556	698	16,770	752	19,051	670	18,139		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		実患者数 (人)	単位数 (回数)	実患者数 (人)	単位数 (回数)	実患者数 (人)	単位数 (回数)	実患者数 (人)	単位数 (回数)	脳血管疾患	1	1	1	1	330	1,493	622	3,387	心大血管疾患	374	1,571	408	1,542	494	1,357	555	2,162	<p>① 機能回復のため、高度専門的な内科的又は外科的治療を速やかにを行い、早期にリハビリテーションを開始するよう努めた。また、休日のリハビリテーションを継続して実施した。</p> <p>◇機能回復のため早期にリハビリテーションを開始したか。</p>	B	<p>▽休日リハビリテーションは実患者数が全体で30%増加した。単位数は約50%と大幅に増加し、順調に定着している。</p> <p>▽単位数の前年度比 ・脳血管疾患→11,291単位増加(26%) ・心大血管疾患→912単位減少(5%)</p> <p>▽休日のリハビリテーション単位数の前年度比 ・脳血管疾患→1,894単位増加 ・心大血管疾患→805単位増加</p>	A		
	H26年度			H27年度		H28年度		H29年度																																																																						
	実患者数 (人)	単位数 (回数)	実患者数 (人)	単位数 (回数)	実患者数 (人)	単位数 (回数)	実患者数 (人)	単位数 (回数)																																																																						
脳血管疾患	1,492	49,034	1,146	48,726	772	42,652	756	53,943																																																																						
心大血管疾患	689	17,556	698	16,770	752	19,051	670	18,139																																																																						
	H26年度		H27年度		H28年度		H29年度																																																																							
	実患者数 (人)	単位数 (回数)	実患者数 (人)	単位数 (回数)	実患者数 (人)	単位数 (回数)	実患者数 (人)	単位数 (回数)																																																																						
脳血管疾患	1	1	1	1	330	1,493	622	3,387																																																																						
心大血管疾患	374	1,571	408	1,542	494	1,357	555	2,162																																																																						
② 急性心筋梗塞の治療にあたっては、多職種連携による緊急入院体制を強化するとともに、Door to balloon time(病院到着時から、カテーテル治療による血流再開までの時間)90分以内を実践する。	② 急性心筋梗塞の治療にあたっては、多職種連携による緊急入院体制を強化するとともに、Door to balloon time(病院到着時から、カテーテル治療による血流再開までの時間)90分以内を実践する。	<p>② 急性心筋梗塞の治療にあたっては、救急搬送患者に対して、医師、看護師、コメディカルスタッフが連携し、治療及び入院体制を整え、速やかに集中治療室に転送するとともに「Door to balloon time90分以内(病院到着時から、カテーテル治療による血流再開までの時間)を実践した。</p> <p>【実績】Door to balloon time90分以内実施件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15件</td> <td>22件</td> </tr> </tbody> </table>	平成28年度	平成29年度	15件	22件	<p>◇多職種連携による緊急入院体制を強化したか。</p> <p>◇Door to balloon time(病院到着時から、カテーテル治療による血流再開までの時間)90分以内を実践したか。</p>	A	<p>▽「Door to balloon time」90分以内(経皮的冠動脈ステント留置術(急性心筋梗塞に対するもの))は、前年度より7件増加した。(46%)</p>	B																																																																				
平成28年度	平成29年度																																																																													
15件	22件																																																																													
<b>(エ) 糖尿病</b>	<b>(エ) 糖尿病(日本海総合病院)</b>	<p>医師、看護師、管理栄養士等が協働し、治療又は生活習慣改善のため、糖尿病教室等の患者教育・指導を行う。</p> <p>【実績】糖尿病教室</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>16回</td> <td>19回</td> <td>19回</td> <td>15回</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>55名</td> <td>65名</td> <td>69名</td> <td>44名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】糖尿病透析予防指導の実患者数、指導回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実患者数</td> <td>30名</td> <td>14名</td> <td>6名</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>指導回数</td> <td>73回</td> <td>32回</td> <td>19回</td> <td>19回</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】教育入院患者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65名</td> <td>66名</td> <td>64名</td> <td>68名</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】個別栄養指導件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>300件</td> <td>298件</td> <td>253件</td> <td>257件</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>400件</td> <td>396件</td> <td>296件</td> <td>350件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>700件</td> <td>694件</td> <td>549件</td> <td>607件</td> </tr> </tbody> </table>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	開催回数	16回	19回	19回	15回	参加人数	55名	65名	69名	44名		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実患者数	30名	14名	6名	8名	指導回数	73回	32回	19回	19回		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	65名	66名	64名	68名			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	入院	300件	298件	253件	257件	外来	400件	396件	296件	350件	合計	700件	694件	549件	607件	<p>◇医師、看護師及び管理栄養士等が協働して糖尿病患者の教育等を行ったか。</p>	B	<p>▽糖尿病教室については、開催件数、参加人数共に減少したが、他の指導等については、前年度比で増加した。</p> <p>▽前年度比 ・個別栄養指導件数58件増(10%)</p>	B												
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																																																																										
開催回数	16回	19回	19回	15回																																																																										
参加人数	55名	65名	69名	44名																																																																										
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																																																																										
実患者数	30名	14名	6名	8名																																																																										
指導回数	73回	32回	19回	19回																																																																										
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																																																																										
65名	66名	64名	68名																																																																											
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																																																																										
入院	300件	298件	253件	257件																																																																										
外来	400件	396件	296件	350件																																																																										
合計	700件	694件	549件	607件																																																																										

第3期中期計画(平成28～31年度)※H30.3変更	平成29年度計画	平成29年度実績【実施状況及び業務運営の状況】	評価の視点	自己 評価	評価の理由等	H28	設立団体の評価																															
						評定	評定																															
<b>(オ) 精神疾患</b>	<b>(オ) 精神疾患(日本海総合病院)</b>																																					
地域の精神科病院等との役割分担及び連携を図り、電気痙攣療法等の高度専門的な医療を提供する。	地域の精神科病院等との役割分担及び連携を図り、電気痙攣療法等の高度専門的な医療を提供する。また、精神疾患のある身体合併症患者の急性期治療体制等の充実について検討する。	地域の精神科病院等との役割分担及び連携を図り、電気痙攣療法等の高度専門的な医療を提供した。また、精神疾患のある身体合併症患者について、今後の患者動向等を踏まえながら、急性期治療体制等の確立を目指すこととした。 【実績】精神科電気痙攣療法の実施件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>164件</td> <td>147件</td> <td>109件</td> <td>152件</td> </tr> </tbody> </table>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		164件	147件	109件	152件	◇地域の精神科病院等との役割分担及び連携を図り、高度専門的な医療を提供したか。	A	▽急性期病院として精神疾患を有する身体合併症患者を受け入れるとともに、電気痙攣療法等の高度専門的な医療を提供した。平成29年度は新たに医療法人山容会山容病院と「医療連携及び緊急時の患者搬送措置に関する覚書」を締結した。	A																						
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																																		
	164件	147件	109件	152件																																		
<b>(カ) 小児・周産期医療</b>	<b>(カ) 小児・周産期医療(日本海総合病院)</b>																																					
① 二次周産期医療機関として、他の医療機関との機能分担及び連携を図り、ハイリスク分娩の対応、母体搬送及び新生児搬送の受け入れを行う。	① 二次周産期医療機関として、他の医療機関との機能分担及び連携を図り、ハイリスク分娩の対応、母体搬送及び新生児搬送の受け入れを行う。	① 二次周産期医療機関として、他の医療機関との機能分担及び連携を図り、ハイリスク分娩への対応など、周産期に係る高度な産科医療を実施した。 【実績】母体・新生児救急受け入れ状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">平成27年度</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> </tr> <tr> <th>母体</th> <th>新生児</th> <th>母体</th> <th>新生児</th> <th>母体</th> <th>新生児</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5名</td> <td>4名</td> <td>27件</td> <td>19名</td> <td>4名</td> <td>26件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10名</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>23件</td> </tr> </tbody> </table>	平成27年度		平成28年度		平成29年度		母体	新生児	母体	新生児	母体	新生児	5名	4名	27件	19名	4名	26件					10名	5名						23件	◇二次周産期医療機関として母体搬送等の受け入れを行ったか。	B	▽帝王切開術件数及び救急受け入れ件数については減少しているが、二次周産期医療を行う拠点病院として、ハイリスク分娩やなど高度な周産期医療を提供した。	A		
平成27年度		平成28年度		平成29年度																																		
母体	新生児	母体	新生児	母体	新生児																																	
5名	4名	27件	19名	4名	26件																																	
				10名	5名																																	
					23件																																	
② 産科医及び小児科医の充実した体制のもと、地域の住民が安心して出産し、かつ子育てができるよう良質な医療を提供するとともに、三次周産期医療機関である総合周産期母子医療センター及び地域周産期母子医療センターとの連携を図る。	② 産科医及び小児科医の充実した体制のもと、地域の住民が安心して出産し、かつ子育てができるよう良質な医療を提供するとともに、三次周産期医療機関である総合周産期母子医療センター及び地域周産期母子医療センターとの連携を図る。	② 産科及び小児科の専門医の充実した体制により、地域の住民が安心して出産できる環境を提供するとともに、三次周産期医療機関である山形県立中央病院及び鶴岡市立荘内病院との連携を図った。 【実績】母体・新生児の救急搬送患者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>母体</td> <td>5名</td> <td>8名</td> <td>14名</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>新生児</td> <td>3名</td> <td>1名</td> <td>2名</td> <td>4名</td> </tr> </tbody> </table>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	母体	5名	8名	14名	15名	新生児	3名	1名	2名	4名	◇三次周産期医療機関である総合周産期母子医療センター及び地域周産期母子医療センターとの連携を図ったか。	A	▽三次周産期医療機関である山形県立中央病院及び鶴岡市立荘内病院との連携を図り、母体・新生児の救急搬送を適切に行った。件数については前年度並みであった。また、夕方妊婦健診を平成30年度4月から開始することとした。	A																	
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																																		
母体	5名	8名	14名	15名																																		
新生児	3名	1名	2名	4名																																		
<b>(キ) 回復期リハビリテーション</b>	<b>(キ) 回復期リハビリテーション (酒田医療センター)</b>																																					
脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等により障がいが生じた患者のADLを改善し、早期に在宅療養又は社会復帰ができるよう、リハビリテーションを集中的に提供する。	脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等により障がいが生じた患者のADLを改善し、早期に在宅療養又は社会復帰ができるよう、リハビリテーションを集中的に提供する。	脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等により障がいが生じた患者のADLを改善し、早期に在宅療養又は社会復帰ができるよう、理学療法士等の増員を図るとともに、休日におけるリハビリテーションを実施するなど、集中的にリハビリテーションを提供した。 【実績】疾患別リハビリテーション実施状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">平成27年度</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> </tr> <tr> <th>実患者数</th> <th>回数 (単位数)</th> <th>実患者数</th> <th>回数 (単位数)</th> <th>実患者数</th> <th>回数 (単位数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳血管疾患</td> <td>323名</td> <td>85,823回</td> <td>258名</td> <td>82,014回</td> <td>224名</td> <td>85,353回</td> </tr> <tr> <td>運動器</td> <td>166名</td> <td>30,572回</td> <td>183名</td> <td>44,051回</td> <td>207名</td> <td>59,826回</td> </tr> </tbody> </table>		平成27年度		平成28年度		平成29年度		実患者数	回数 (単位数)	実患者数	回数 (単位数)	実患者数	回数 (単位数)	脳血管疾患	323名	85,823回	258名	82,014回	224名	85,353回	運動器	166名	30,572回	183名	44,051回	207名	59,826回	◇早期に在宅療養又は社会復帰ができるよう、リハビリテーションを集中的に提供したか。	S	▽理学療法士等を5名増員し、運動器リハは、前年度比約35%増の実施単位数を提供した。 ▽通所リハについては、実利用者は前年度比8名増だが、単位数は4,046単位と前年度より約45%の増となった。 ・H28 52名 2,786単位 ・H29 60名 4,046単位	S					
	平成27年度			平成28年度		平成29年度																																
	実患者数	回数 (単位数)	実患者数	回数 (単位数)	実患者数	回数 (単位数)																																
脳血管疾患	323名	85,823回	258名	82,014回	224名	85,353回																																
運動器	166名	30,572回	183名	44,051回	207名	59,826回																																

第3期中期計画(平成28～31年度)※H30.3変更	平成29年度計画	平成29年度実績【実施状況及び業務運営の状況】	評価の視点	自己 評価	評価の理由等	H28 評価	評価	設立団体の評価																																													
<b>(ク)在宅医療支援及び療養支援</b>		<b>(ク)在宅医療支援及び療養支援</b>																																																			
① 退院後、在宅療養へ患者が円滑に移行し、切れ目なくサービスの提供を受けることができるよう、入院初期から積極的に支援を行う。	① 退院後、在宅療養へ患者が円滑に移行し、切れ目なくサービスの提供を受けることができるよう、入院初期から積極的に支援を行う。	① 日本海総合病院では、退院後の患者が在宅療養へ円滑に移行し、切れ目なくサービスを受けることができるよう、地域連携室の看護師及び医療福祉相談室の退院支援専任社会福祉士が、地域の介護、福祉、医療機関との連携を図りながら、退院調整業務等において積極的に支援を行った。  【実績】退院調整件数(日本海総合病院) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>他病院</td> <td>984件</td> <td>893件</td> <td>969件</td> <td>946件</td> </tr> <tr> <td>在宅</td> <td>416件</td> <td>450件</td> <td>13,878件</td> <td>14,506件</td> </tr> <tr> <td>介護老人保健施設</td> <td>98件</td> <td>101件</td> <td>134件</td> <td>82件</td> </tr> <tr> <td>介護老人福祉施設</td> <td>118件</td> <td>92件</td> <td>84件</td> <td>139件</td> </tr> <tr> <td>ショートステイ</td> <td>82件</td> <td>75件</td> <td>137件</td> <td>103件</td> </tr> <tr> <td>有料老人ホーム</td> <td>112件</td> <td>151件</td> <td>222件</td> <td>226件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>69件</td> <td>62件</td> <td>118件</td> <td>99件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,879件</td> <td>1,824件</td> <td>15,542件</td> <td>16,101件</td> </tr> </tbody> </table> <small>※平成28年度診療報酬改定により、各病棟に専任の退院調整職員を配置したことから、在宅への退院調整件数が大幅に増加している。</small>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	他病院	984件	893件	969件	946件	在宅	416件	450件	13,878件	14,506件	介護老人保健施設	98件	101件	134件	82件	介護老人福祉施設	118件	92件	84件	139件	ショートステイ	82件	75件	137件	103件	有料老人ホーム	112件	151件	222件	226件	その他	69件	62件	118件	99件	合計	1,879件	1,824件	15,542件	16,101件	◇在宅療養へ患者が円滑に移行できるよう退院調整又は入院前相談を行い、切れ目のないサービス提供に努めたか。	A	▽退院調整業務など積極的に支援を行い、介護老人福祉施設の退院調整件数が前年度に比べ65%増の139件と大きく増加した。 ▽地域連携室:看護師 7名 ▽医療福祉相談室:退院支援専任社会福祉士 1名  ▽在宅への退院調整の主な内容 ・ケアマネージャー依頼、情報提供等 ・福祉サービス利用の相談と調整 ・開業医、訪問看護ステーションへの橋渡し ・開業医への診療情報提供書の依頼 ・サービス利用のための診断書の作成 ・各事業所への情報提供等 ・病棟看護師と連携し退院指導	S		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																																																	
他病院	984件	893件	969件	946件																																																	
在宅	416件	450件	13,878件	14,506件																																																	
介護老人保健施設	98件	101件	134件	82件																																																	
介護老人福祉施設	118件	92件	84件	139件																																																	
ショートステイ	82件	75件	137件	103件																																																	
有料老人ホーム	112件	151件	222件	226件																																																	
その他	69件	62件	118件	99件																																																	
合計	1,879件	1,824件	15,542件	16,101件																																																	
② 在宅患者が安心して地域で療養ができるよう、訪問リハビリテーションを検討するとともに、他の医療・介護・福祉機関と連携して支援する。	② 在宅患者が安心して地域で療養ができるよう、他の医療・介護・福祉機関と連携して支援する。	② 在宅患者が安心して地域で療養ができるよう、「大腿骨近位部骨折地域連携バス」及び「脳卒中地域連携バス」を運用し、関連施設や関連機関との診療情報の共有及び評価等を行うなど連携を図り支援を行った。  【実績】地域連携診療計画加算算定件数(日本海総合病院) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>295件</td> <td>248件</td> </tr> </tbody> </table>		平成28年度	平成29年度		295件	248件	◇他の医療・介護・福祉機関と連携し支援したか。	B	▽地域連携バス調整会議を3回実施し、診療情報の共有及び評価等の支援を行った。 ・「大腿骨近位部骨折地域連携バス」5施設 ・「脳卒中地域連携バス」7施設等	B																																									
	平成28年度	平成29年度																																																			
	295件	248件																																																			
③ 在宅医療を行っている診療所等を支援するため、入院治療が必要となった患者の受入れ体制について連携強化を図る。	④ 酒田医療センターは、訪問リハビリテーションを検討する。	③ 酒田医療センターは、訪問リハビリテーションについて、短時間リハビリテーションの提供体制と併せて、引き続き検討することとした。	◇酒田医療センターは、訪問リハビリテーションを検討したか。	B	▽訪問リハビリテーションは、短時間リハビリテーションの必要性も再認識されたため、通所リハビリテーションの提供体制と併せて、引き続き検討することとした。	B																																															
④ 在宅医療を行っている診療所等を支援するため、入院治療が必要となった患者の受入れ体制について連携強化を図る。	④ 酒田医療センターは、在宅医療を行っている診療所等を支援するため、入院治療が必要となった患者の受入れ体制について連携強化を図る。	④ 酒田医療センターは、在宅医療を行っている診療所等と連携を図り、入院治療が必要となった患者を23名受け入れた。	◇在宅医療を行っている診療所等を支援するために、受け入れ体制について連携強化を図ったか。	B	▽診療所等と連携して急性増悪のため入院治療が必要となった患者の受入れを適切に行なった。 ・H28 22名(1名増)	B																																															
(ケ)一次医療とプライマリ・ケアの提供、充実診療所が設置されている各地域において、日常的な病気やけが等の患者に医療とプライマリ・ケアを提供し、必要に応じて高度及び専門医療機関等に紹介を行う。 ※H30.3追加	▽H30.3月変更時の追加項目。 ▽H30年度からの事業のため、H29年度計画に該当しない。 ※H30.4月に酒田市から移管統合された「日本海八幡クリニック等診療所」に関する事項。	▽同左	-	-		-																																															
<b>イ 高度医療機器の計画的な更新・整備</b>		<b>イ 高度医療機器の計画的な更新・整備(日本海総合病院)</b>																																																			
① 高度専門医療等の充実のため、中期計画期間中における医療機器の更新・整備計画を策定し、高度医療機器の計画的な更新・整備を行う。	① 高度専門医療等の充実のため、中期計画期間中における医療機器の更新・整備計画を策定し、高度医療機器の計画的な更新・整備を行う。	①高度専門医療等の充実のため、平成29年度は次のとおり医療機器の更新を行った。  【実績】平成29年度医療機器更新状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>診療科</th> <th>機器名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放射線部</td> <td>デジタル一般撮影システム</td> <td>更新</td> </tr> <tr> <td>ME室</td> <td>人工心臓装置</td> <td>更新</td> </tr> <tr> <td>手術室</td> <td>手術部門システム(自動麻酔記録装置及び生体情報モニタ)</td> <td>新規及び更新</td> </tr> <tr> <td>検査部</td> <td>血清免疫自動分析装置</td> <td>更新</td> </tr> <tr> <td>循環器内科</td> <td>エキシマレーザ</td> <td>新規</td> </tr> <tr> <td>放射線部</td> <td>デジタルマンモグラフィシステム</td> <td>更新</td> </tr> </tbody> </table>	診療科	機器名	備考	放射線部	デジタル一般撮影システム	更新	ME室	人工心臓装置	更新	手術室	手術部門システム(自動麻酔記録装置及び生体情報モニタ)	新規及び更新	検査部	血清免疫自動分析装置	更新	循環器内科	エキシマレーザ	新規	放射線部	デジタルマンモグラフィシステム	更新	◇高度医療機器等の更新・整備を計画的に行ったか。	B	▽高度医療機器の更新等に当たっては、起債及び剰余金を活用し、計画的に更新を行った。  ▽起債 ・デジタル一般撮影システム ・人工心臓装置 ・デジタルマンモグラフィシステム  ▽剰余金 ・手術部門システム(自動麻酔記録装置及び生体情報モニタ) ・血清免疫自動分析装置 ・エキシマレーザ	B																										
診療科	機器名	備考																																																			
放射線部	デジタル一般撮影システム	更新																																																			
ME室	人工心臓装置	更新																																																			
手術室	手術部門システム(自動麻酔記録装置及び生体情報モニタ)	新規及び更新																																																			
検査部	血清免疫自動分析装置	更新																																																			
循環器内科	エキシマレーザ	新規																																																			
放射線部	デジタルマンモグラフィシステム	更新																																																			
② 高度医療機器は、稼働率や収支の予測を十分に行い更新・整備する。	② 高度医療機器は、稼働率や収支の予測を十分に行い更新・整備する。	② 高度医療機器については、装置の稼働率、設置に対する採算性、収支の予測を十分に行い更新した。	◇装置の稼働率、設置に対する採算性、収支の予測を十分に行い更新したか。	B	▽装置の稼働率、設置に対する採算性、収支の予測を十分に行い更新を行った。	B																																															

第3期中期計画(平成28~31年度)※H30.3変更	平成29年度計画	平成29年度実績【実施状況及び業務運営の状況】	評価の視点	自己 評価	評価の理由等	H28	設立団体の評価																																																
						評定	評定	評定																																															
<b>ウ 災害時や健康危機における医療協力</b>	<b>ウ 災害時や健康危機における医療協力(日本海総合病院)</b>																																																						
① 大規模事故や災害時には、自らの判断又は県の要請等に基づき、DMAT(災害派遣医療チーム)等を現地に派遣して医療支援活動を行う。	① 大規模事故や災害時には、自らの判断又は県の要請等に基づき、DMAT(災害派遣医療チーム)等を現地に派遣して医療支援活動を行う。	①DMAT等の派遣を要する災害等が発生しなかったため、医療支援活動を行うことはなかったが、災害発生時に備え、各種訓練や研修会に積極的に参加し出動態勢を整えた。	◇大規模事故や災害時に医療支援活動を行ったか。	B	▽出動要請に備え、各種訓練や研修会に積極的に参加し、職員の技能維持等に努めた。	A																																																	
② 大規模災害時には、県の要請に基づき、県内の空港に設置されたSCU(航空搬送拠点臨時医療施設)の運営に協力する。	② 大規模災害時には、県の要請に基づき、県内の空港に設置されたSCU(航空搬送拠点臨時医療施設)の運営に協力する。	②庄内SCU(航空搬送拠点臨時医療施設)の運営協力として、山形県所有の医療用資機材を日本海総合病院のDMAT資材庫で保管し管理等を引き続き行った。	◇SCUの運営に協力したか。	B	▽山形県所有の庄内SCU医療用資機材を日本海総合病院に保管及び点検等を行い、要請に応じて速やかに使用できるよう管理した。	B																																																	
③ 災害拠点病院の機能を十分に発揮できるよう、災害時に必要な医療物資等を備蓄するほか優先納入契約を継続し、災害時医療体制の充実・強化を図る。	③ 災害拠点病院の機能を十分に発揮できるよう、災害時に必要な医療物資等を備蓄するほか優先納入契約を継続し、災害時医療体制の充実・強化を図る。	③ 災害拠点病院の機能を十分に発揮できるよう、災害時に必要な医療物資等を備蓄するほか優先納入契約を継続し、災害時医療体制の充実・強化を図った。また、患者及び職員の食糧備蓄の補充を【実績】補充した主な食糧備蓄 <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>購入内容</td> <td>数量</td> </tr> <tr> <td>患者用</td> <td>主食・水</td> <td>各1,200食分</td> </tr> <tr> <td>職員用</td> <td>主食・おかず・水</td> <td>各6,000食分</td> </tr> </table>	区分	購入内容	数量	患者用	主食・水	各1,200食分	職員用	主食・おかず・水	各6,000食分	◇災害対応に必要な物品等の備蓄等、災害の体制充実・強化を図ったか。	B	▽継続して、燃料等の優先納入契約及び飲料水等の提供に関する協定、また、食糧備蓄、医療物資等の備蓄を実施した。	B																																								
区分	購入内容	数量																																																					
患者用	主食・水	各1,200食分																																																					
職員用	主食・おかず・水	各6,000食分																																																					
④ 周辺地域で災害等が発生した場合に備え、定期的に災害対応訓練を行う。	④ 周辺地域で災害等が発生した場合に備え、定期的に災害対応訓練を行う。	④ 周辺地域で災害等が発生した場合に備え、災害対策委員会が主体となって、日本海総合病院全職員、委託業者及び地域の医療従事者を対象に、災害医療研修及び訓練を次のとおり実施した。  【実績】災害医療研修及び訓練 <table border="1"> <tr> <th>実施日</th> <th>場所</th> <th>内容</th> <th>参加人数</th> </tr> <tr> <td>H29.5.18</td> <td>日本海総合病院 講堂</td> <td>(災害医療研修会) 災害医療の基礎とトリアージ</td> <td>163名</td> </tr> <tr> <td>H29.6.29</td> <td>日本海総合病院 講堂・エントランスホール</td> <td>(災害医療研修会) 模擬患者を使った「トリアージ研修会」</td> <td>146名 (うち、院外協力17名)</td> </tr> <tr> <td>H29.7.27</td> <td>日本海総合病院 講堂</td> <td>(災害医療研修会) アクションカードを使った災害時の初期対応</td> <td>123名</td> </tr> <tr> <td>H29.9.9</td> <td>日本海総合病院 エントランスホール ほか</td> <td>災害対応机上訓練 「県上での災害対応訓練の流れ」</td> <td>140名</td> </tr> <tr> <td>H29.10.21</td> <td>日本海総合病院 エントランスホール ほか</td> <td>災害対応実働訓練 協力 酒田地区広域行政組合消防本部 医療法人 健友会 本間病院 酒田市立酒田看護専門学校 鶴岡市立花内看護専門学校</td> <td>242名 (うち、院外協力24名)</td> </tr> </table> 他の機関が実施した災害医療訓練及び研修に参加するとともに、職員を講師等として派遣した。  【実績】他の機関が実施した災害医療訓練及び研修 <table border="1"> <tr> <th>訓練日程</th> <th>内容</th> <th>会場</th> <th>参加人数</th> </tr> <tr> <td>H29. 7/16(日) - 7/17(月・祝)</td> <td>DMAT技能維持研修 (南東北ブロック)</td> <td>山形市 ビッグウィング</td> <td>講師 2名 研修 3名</td> </tr> <tr> <td>H29. 7/29(土)</td> <td>総合防災訓練(国)</td> <td>大阪府 和歌山県</td> <td>インストラクター 2名 訓練 5名</td> </tr> <tr> <td>H29. 9/30(土) - 10/1(日)</td> <td>東北DMAT参集訓練</td> <td>福島県</td> <td>インストラクター 2名 訓練 5名</td> </tr> <tr> <td>H29. 10/6(金) - 10/7(土)</td> <td>緊急消防援助隊 北海道東北ブロック合同訓練</td> <td>置賜地域</td> <td>インストラクター 2名 訓練 4名</td> </tr> <tr> <td>H30. 1/13(土) - 14(日)</td> <td>DMAT技能維持研修 (東北ブロック)</td> <td>仙台市 急患センター</td> <td>講師 2名</td> </tr> </table>	実施日	場所	内容	参加人数	H29.5.18	日本海総合病院 講堂	(災害医療研修会) 災害医療の基礎とトリアージ	163名	H29.6.29	日本海総合病院 講堂・エントランスホール	(災害医療研修会) 模擬患者を使った「トリアージ研修会」	146名 (うち、院外協力17名)	H29.7.27	日本海総合病院 講堂	(災害医療研修会) アクションカードを使った災害時の初期対応	123名	H29.9.9	日本海総合病院 エントランスホール ほか	災害対応机上訓練 「県上での災害対応訓練の流れ」	140名	H29.10.21	日本海総合病院 エントランスホール ほか	災害対応実働訓練 協力 酒田地区広域行政組合消防本部 医療法人 健友会 本間病院 酒田市立酒田看護専門学校 鶴岡市立花内看護専門学校	242名 (うち、院外協力24名)	訓練日程	内容	会場	参加人数	H29. 7/16(日) - 7/17(月・祝)	DMAT技能維持研修 (南東北ブロック)	山形市 ビッグウィング	講師 2名 研修 3名	H29. 7/29(土)	総合防災訓練(国)	大阪府 和歌山県	インストラクター 2名 訓練 5名	H29. 9/30(土) - 10/1(日)	東北DMAT参集訓練	福島県	インストラクター 2名 訓練 5名	H29. 10/6(金) - 10/7(土)	緊急消防援助隊 北海道東北ブロック合同訓練	置賜地域	インストラクター 2名 訓練 4名	H30. 1/13(土) - 14(日)	DMAT技能維持研修 (東北ブロック)	仙台市 急患センター	講師 2名	◇定期的に災害訓練等を行ったか。	B	▽災害対応訓練においては、酒田地区広域行政組合及び市内の他の病院等からも協力を得て実施した。  ▽国の総合防災訓練を始め、他の医療機関等が実施した研修に参加したほか講師等として派遣を行った。	A	
実施日	場所	内容	参加人数																																																				
H29.5.18	日本海総合病院 講堂	(災害医療研修会) 災害医療の基礎とトリアージ	163名																																																				
H29.6.29	日本海総合病院 講堂・エントランスホール	(災害医療研修会) 模擬患者を使った「トリアージ研修会」	146名 (うち、院外協力17名)																																																				
H29.7.27	日本海総合病院 講堂	(災害医療研修会) アクションカードを使った災害時の初期対応	123名																																																				
H29.9.9	日本海総合病院 エントランスホール ほか	災害対応机上訓練 「県上での災害対応訓練の流れ」	140名																																																				
H29.10.21	日本海総合病院 エントランスホール ほか	災害対応実働訓練 協力 酒田地区広域行政組合消防本部 医療法人 健友会 本間病院 酒田市立酒田看護専門学校 鶴岡市立花内看護専門学校	242名 (うち、院外協力24名)																																																				
訓練日程	内容	会場	参加人数																																																				
H29. 7/16(日) - 7/17(月・祝)	DMAT技能維持研修 (南東北ブロック)	山形市 ビッグウィング	講師 2名 研修 3名																																																				
H29. 7/29(土)	総合防災訓練(国)	大阪府 和歌山県	インストラクター 2名 訓練 5名																																																				
H29. 9/30(土) - 10/1(日)	東北DMAT参集訓練	福島県	インストラクター 2名 訓練 5名																																																				
H29. 10/6(金) - 10/7(土)	緊急消防援助隊 北海道東北ブロック合同訓練	置賜地域	インストラクター 2名 訓練 4名																																																				
H30. 1/13(土) - 14(日)	DMAT技能維持研修 (東北ブロック)	仙台市 急患センター	講師 2名																																																				
⑤ 地域住民の生命を脅かす新たな感染症や薬物・食中毒等の健康危機事象が発生したときは、関係機関との緊密な連携のもと迅速な対応ができるよう、定期的に訓練や研修を行う。	⑤ 地域住民の生命を脅かす新たな感染症や薬物・食中毒等の健康危機事象が発生したときは、関係機関との緊密な連携のもと迅速な対応ができるよう、合同で研修(訓練)を行う。	⑤ 地域住民の生命を脅かす新たな感染症や薬物・食中毒等の健康危機事象が発生した際に、関係機関との緊密な連携のもと迅速な対応ができるよう、庄内保健所主催による研修会に参加した。  【実績】庄内保健所主催による研修会 <table border="1"> <tr> <th>実施日等</th> <th>研修内容等</th> <th>参加人数</th> </tr> <tr> <td>平成 29年11月21日 日本海総合病院 第2会議室</td> <td>「新型インフルエンザの脅威と対策」 山形大学医学部附属病院検査部・感染制御部長 森兼 啓太 氏</td> <td>55名 (うち院内12名)</td> </tr> </table>	実施日等	研修内容等	参加人数	平成 29年11月21日 日本海総合病院 第2会議室	「新型インフルエンザの脅威と対策」 山形大学医学部附属病院検査部・感染制御部長 森兼 啓太 氏	55名 (うち院内12名)	◇関係機関と緊密な連携のもと迅速な対応ができるよう合同で研修(訓練)を行ったか。	B	▽関係機関である庄内保健所の感染対策研修会に参加し健康危機事象に対応する研修を行った。	B																																											
実施日等	研修内容等	参加人数																																																					
平成 29年11月21日 日本海総合病院 第2会議室	「新型インフルエンザの脅威と対策」 山形大学医学部附属病院検査部・感染制御部長 森兼 啓太 氏	55名 (うち院内12名)																																																					

第3期中期計画(平成28～31年度)※H30.3変更	平成29年度計画	平成29年度実績【実施状況及び業務運営の状況】	評価の視点	自己 評価	評価の理由等	H28	設立団体の評価																
						評定	評定	評定															
<b>エ 政策医療の実施</b>	<b>エ 政策医療の実施(日本海総合病院)</b>																						
① 「山形県保健医療計画」等と整合性を図りながら、庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、民間の医療機関では導入が困難な技術や先進的な技術の導入に取り組む。	① 「山形県保健医療計画」等と整合性を図りながら、庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、民間の医療機関では導入が困難な技術や先進的な技術の導入に取り組む。	① 庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、当地域の民間の医療機関では導入が困難である、高精度放射線治療装置(IMRT)の整備を進めた。	◇民間の医療機関では導入が困難な技術や先進的な技術の導入に取り組んだか。	B	▽平成30年2月から整備を行っており、平成31年10月の稼動を予定している。	B																	
② 第二種感染症指定医療機関として、適切な医療を提供し、感染症に迅速かつ的確に対応する。	② 第二種感染症指定医療機関として、適切な医療を提供し、感染症に迅速かつ的確に対応する。	② 第二種感染症指定医療機関として、感染症に迅速かつ的確に対応するため、関係機関とともに「庄内地域新型コロナウイルス等関係機関対策合同訓練」に参加した。  【実績】庄内地域新型コロナウイルス等関係機関対策合同訓練 実施日等 平成29年11月21日 庄内空港及び日本海総合病院	◇感染症への迅速かつ的確な対応に努めたか。	B	▽迅速かつ的確な対応に備えるため、庄内保健所の「庄内地域新型コロナウイルス等関係機関対策合同訓練」に参加した。	B																	
③ 認知症疾患医療センター運営事業実施要綱に基づき、認知症疾患に関する鑑別診断とその初期対応、周辺症状と身体合併症の急性期治療、専門医療相談等を実施する。	③ 認知症疾患医療センター運営事業実施要綱に基づき、認知症疾患に関する鑑別診断とその初期対応、周辺症状と身体合併症の急性期治療、専門医療相談等を実施する。	③ 認知症疾患医療センター運営事業実施要綱に基づき、認知症疾患患者の専門医療相談、鑑別診断等を行った。  【実績】相談件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規</td> <td>741件</td> <td>591件</td> <td>502件</td> <td>554件</td> </tr> <tr> <td>継続</td> <td>355件</td> <td>321件</td> <td>342件</td> <td>340件</td> </tr> </tbody> </table>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	新規	741件	591件	502件	554件	継続	355件	321件	342件	340件	◇認知症疾患医療センターとしての役割を果たし相談等を実施したか。	B	▽認知症疾患患者の専門医療相談、鑑別診断等を実施した。  ▽新規相談件数:前年度比52件増。(10%)	B		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																			
新規	741件	591件	502件	554件																			
継続	355件	321件	342件	340件																			
④ へき地医療拠点病院として、飛鳥診療所に医師を派遣するなど、地域住民の医療の確保に努める。※H30.3変更	④ へき地医療拠点病院として、酒田市との協定により酒田市飛鳥診療所に医師を派遣するなど、地域住民の医療の確保に努める。	④ へき地医療拠点病院として、酒田市との協定により酒田市飛鳥診療所に4月から10月まで合計16回医師を派遣し、離島の診療応援を行い、地域住民の医療の確保に努めた。  【実績】平成29年度 飛鳥診療所 診療応援医師派遣回数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>3回</td> <td>4回</td> <td>2回</td> <td>1回</td> <td>2回</td> <td>16回</td> </tr> </tbody> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計	2回	2回	3回	4回	2回	1回	2回	16回	◇医師を派遣し、地域住民の医療の確保に努めたか。	A	▽週1回(金、土)医師を飛鳥診療所に派遣し、診療応援を行った。また、日本海総合病院救命救急センター、飛鳥診療所、ドクターヘリとの連携を図り、救急患者のスムーズな受け入れを行った。	A	
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計																
2回	2回	3回	4回	2回	1回	2回	16回																
⑤ 地域において必要性の高い救急医療、周産期医療、小児医療を担う医療機関として、救急科専門医をはじめ各医療分野の専門医の確保に努める。	⑤ 地域において必要性の高い救急医療、周産期医療、小児医療を担う医療機関として、救急科専門医をはじめ各医療分野の専門医の確保に努める。	⑤ 地域において必要性の高い救急医療、周産期医療、小児医療を担う医療機関として、新たに1名が救急科専門医の資格を取得するなど、各医療分野の専門医の確保に努めた。  【実績】新たな専門医資格取得 救急科専門医 1名	◇救急科専門医をはじめ各医療分野の専門医の確保に努めたか。	A	▽新たに救急科専門医(1名)の資格を取得した。 ▽更新した主な専門医資格 ・腎臓器専門医1名・総合内科専門医1名 ・消化器内視鏡専門医1名・耳鼻咽喉科専門医1名 ・肝臓専門医1名・循環器専門医1名 ・リウマチ専門医1名・集中治療専門医1名 ・気管支鏡専門医1名・病理専門医1名	A																	
⑥ 脳死下臓器移植について、提供施設として定期的に訓練や研修を行う。	⑥ 脳死下臓器移植について、提供施設として研修を行う。	⑥ 脳死下臓器移植について、院内コーディネーター及び関係部門が参加し脳死下臓器提供シミュレーションを実施した。  【実績】実施内容 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日等</th> <th>内容等</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年3月7日 日本海総合病院 講堂</td> <td>「脳死下臓器提供シミュレーション」 山形大学医学部腎泌尿器外科学講座 助教 西田 隼人 氏</td> <td>22名</td> </tr> </tbody> </table>	実施日等	内容等	参加人数	平成30年3月7日 日本海総合病院 講堂	「脳死下臓器提供シミュレーション」 山形大学医学部腎泌尿器外科学講座 助教 西田 隼人 氏	22名	◇提供施設として研修を行ったか。	B	▽提供施設として山形大学医学部及び山形県臓器移植推進機構の協力を得て、脳死下臓器提供についてのシミュレーションを実施した。	B											
実施日等	内容等	参加人数																					
平成30年3月7日 日本海総合病院 講堂	「脳死下臓器提供シミュレーション」 山形大学医学部腎泌尿器外科学講座 助教 西田 隼人 氏	22名																					



第3期中期計画(平成28～31年度)※H30.3変更	平成29年度計画	平成29年度実績【実施状況及び業務運営の状況】	評価の視点	自己 評定	評定の理由等	H28 評定		設立団体の評価
						評定		
<b>(2) 医療スタッフの確保及び資質向上</b>		<b>(2) 医療スタッフの確保及び資質向上</b>						
<b>ア 医療人材の確保・育成</b>		<b>ア 医療人材の確保・育成</b>						
① 高度専門医療等の安定的な提供を図るため、専門資格を有する医療従事者の確保・育成に努める。	① 日本海総合病院は、高度専門医療等の安定的な提供を図るため、専門資格を有する医療従事者の確保・育成に努める。	① 日本海総合病院は、高度専門医療等の安定的な提供を図るため、職員を研修又は学会等に派遣するなど、専門資格を有する医療従事者の確保・育成に努めた。  【実績】主な参加研修等 特定看護師特定行為研修参加 1名 リンパトセラピスト講習会参加 2名 救急専門医資格取得 1名	◇高度専門医療等の安定的な提供を図るため、専門資格を有する医療従事者の確保・育成に努めたか。	A	▽職員を多数学会等に派遣するなど、専門資格を有する医療従事者を育成した。	A		
② 新しい専門医制度の開始に伴い、内科領域と産婦人科領域の基幹施設として申請する。また、新たに基幹施設とする専門領域がある場合は、関連大学等との調整の上申請する。 ※H30.3変更	② 日本海総合病院は、新専門医制度における基幹施設として認められた専門領域について、専攻医の募集活動を実施し、制度開始年度と想定される平成30年度の採用に向けて連携施設との調整を行う。また、新たに基幹施設として申請する専門領域がある場合は、関連大学等との調整及び研修プログラムを策定する。	② 日本海総合病院は、新専門医制度において内科領域及び産婦人科領域の基幹施設として認定を受けるとともに、平成30年度に内科専攻医4名を採用することとなった。	◇新しい専門医制度の開始に伴い、関連大学等との調整及び研修プログラムを策定したか。	A	▽内科、産婦人科の基幹施設として認定を受け、内科専攻医については、平成30年度に4名を採用することとなった。	S		
③ 臨床研修医及びレジデント(専門分野の研修医)の受入れ、医師の確保に努める。	③ 日本海総合病院は、臨床研修医及びレジデント(専門分野の研修医)の受入れ、医師の確保に努める。	③ 日本海総合病院は、臨床研修医34名、レジデント27名を受け入れ、医師の確保に努めた。	◇臨床研修医及びレジデントの受入れ、医師の確保に努めたか。	A	▽前年度に比べ7名増の合計61名の臨床研修医及びレジデントを受け入れた。	A		
④ 地方独立行政法人那覇市立病院と、2年次目の臨床研修医について、交換地域医療研修を実施する。	④ 日本海総合病院は、地方独立行政法人那覇市立病院と、2年次目の臨床研修医について、交換地域医療研修を実施する。	④ 日本海総合病院は、地方独立行政法人那覇市立病院の2年次臨床研修医2名と日本海総合病院2年次臨床研修医8名の交換地域医療研修を実施した。	◇那覇市立病院との間で、交換地域医療研修を実施したか。	B	▽前年度に引き続き、日本海総合病院の2年次臨床研修医8人と、那覇市立病院の2年次臨床研修医2名の交換地域医療研修を実施した。	B		
⑤ 教育・研修体制の充実及び自己研鑽・研究のサポート体制の充実に努め、各職種の専門性の向上を図る。	⑤ 教育・研修体制の充実及び自己研鑽・研究のサポート体制の充実に努め、各職種の専門性の向上を図る。	⑤ 教育・研修体制の充実及び自己研鑽・研究のサポート体制の充実に努め、各職種の専門性の向上を図るため、年6回の役割別研修に加え、各部門独自で専門能力を高める研修や、特別研修としてメンタルタフネス研修を開催した。	◇教育・研修体制の充実及び自己研鑽・研究のサポート体制の充実に努め、各職種の専門性の向上性を図ったか。	B	▽職員研修規程に基づき、役割別、部門別研修(6回:308名参加)を行い、また、特別研修として平成29年度は、メンタルタフネス研修を開催し22名が参加した。	B		
⑥ 優秀な看護師又は助産師を育成・確保するため、看護師等修学資金貸与制度を継続して実施する。	⑥ 優秀な看護師又は助産師を育成・確保するため、看護師等修学資金貸与制度を継続して実施する。	⑥ 優秀な看護師及び助産師を育成・確保するため、看護師等修学資金貸与を継続して行い、新規貸与者5名を含む計16名に修学資金の貸与を実施した。また、貸与終了者6名のうち2名が当機構職員として入職した。	◇修学資金の貸与を継続して実施したか。	A	▽前年度を上回る16名に貸与を行い、貸与終了者6名のうち2名が当機構に入職した。 ・貸与者:平成28年度14名、平成29年度16名 ・入職者:平成28年度 2名、平成29年度 2名	A		
	⑦ 認定看護師の資格を取得するため、看護師を研修に派遣する。	⑦ 認定看護師の資格取得のため看護師2名を研修に派遣した。  【実績】派遣研修(研修期間平成29年9月～平成30年3月) 集中ケア認定看護師 1名 救急看護認定看護師 1名	◇認定看護師の資格取得のため看護師を研修に派遣したか。	A	▽集中ケア認定看護師1名、救急看護認定看護師1名の養成研修を終了し、平成30年度の受験資格を取得した。	-		

第3期中期計画(平成28～31年度)※H30.3変更	平成29年度計画	平成29年度実績【実施状況及び業務運営の状況】	評価の視点	自己 評価	評価の理由等	H28 評価	設立団体の評価								
<b>イ 事務職員の確保と専門性の向上</b>	<b>イ 事務職員の確保と専門性の向上</b>														
① 診療情報管理士等の専門資格の取得及び研修の充実により、事務職員の資質向上を図る。	① 診療情報管理士等の専門資格の取得及び研修の充実により、事務職員の資質向上を図る。	① 診療情報管理士等の専門資格の取得及び研修の充実により事務職員の資質向上を図った。  【実績】専門資格の取得及び研修状況 <table border="1"> <tr> <td>診療情報管理士通信教育受講 (うち診療情報管理士資格取得1人)</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>メディカルレコードコーディネーター資格取得</td> <td>10名</td> </tr> </table>	診療情報管理士通信教育受講 (うち診療情報管理士資格取得1人)	6名	メディカルレコードコーディネーター資格取得	10名	◇専門資格の取得及び研修の充実により、事務職員の資質向上を図ったか。	A	▽診療情報管理士通信教育(2年間)を6名が受講し、うち1名が診療情報管理士の資格を取得、またメディカルレコードコーディネーターの資格を10名が取得した。	B					
診療情報管理士通信教育受講 (うち診療情報管理士資格取得1人)	6名														
メディカルレコードコーディネーター資格取得	10名														
② 病院運営の高度化・複雑化に対応できる組織を作るため、専門的知識と病院経営を俯瞰できるマネジメント力を兼ね備えた事務職員の育成に取り組む。	② 病院運営の高度化・複雑化に対応できる組織を作るため、専門的知識と病院経営を俯瞰できるマネジメント力を兼ね備えた事務職員の育成に取り組む。	② 病院運営の高度化・複雑化に対応できる組織を作るため、係長以上の事務職員を対象にマネジメント研修を実施し、事務職員の育成に取り組んだ。また、事務の専門能力の向上を目的とした会計実務研修を実施した。	◇専門的知識と病院経営を俯瞰できるマネジメント力を兼ね備えた事務職員の育成に取り組んだか。	B	▽事務能力向上を目的とした各種研修会等への参加による取り組みを行った。	B									
<b>ウ 職員の勤務環境の改善</b>	<b>ウ 職員の勤務環境の改善</b>														
① 職員が仕事に誇りを持ち、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を確保し、意欲的かつ安心して業務に従事できる環境づくりに努める。	① 職員が仕事に誇りを持ち、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を確保し、意欲的かつ安心して業務に従事できる環境づくりに努める。	① 職員が仕事に誇りを持ち、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を確保し、意欲的かつ安心して業務に従事できる環境づくりに努めた。  【実績】利用者数 <table border="1"> <tr> <td>育児短時間</td> <td>育児部分休業</td> <td>病児病後児保育</td> <td>夜間保育</td> </tr> <tr> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>延べ 105名</td> <td>延べ 4名</td> </tr> </table>	育児短時間	育児部分休業	病児病後児保育	夜間保育	1名	1名	延べ 105名	延べ 4名	◇意欲的かつ安心して業務に従事できる環境づくりに努めたか。	B	▽育児短時間勤務(1人)、病児・病後児保育(職員利用者延べ人数(105人)、夜間保育(4人)などの活用を推進し環境づくりに努めた。	B	
育児短時間	育児部分休業	病児病後児保育	夜間保育												
1名	1名	延べ 105名	延べ 4名												
② 家族の介護や子育て等を行う医師を支援するとともに、医師のキャリアパスに配慮し、短時間正職員制度など多様な勤務形態を取り入れる。	② 家族の介護や子育て等を行う医師を支援するとともに、医師のキャリアパスに配慮し、短時間正職員制度など多様な勤務形態を取り入れる。	② 家族の介護や子育て等を行う医師への支援として、女性医師に対するベビーシッター等利用料の助成を行った。また、医師のキャリアパスに配慮し、短時間正職員制度など多様な勤務形態を継続して実施した。  【実績】医師短時間職員制度等利用状況 <table border="1"> <tr> <td>医師短時間</td> <td>育児部分休業</td> <td>ベビーシッター等助成金</td> </tr> <tr> <td>2名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> </table>	医師短時間	育児部分休業	ベビーシッター等助成金	2名	1名	1名	◇短時間正職員制度など多様な勤務形態を取り入れたか。	A	▽短時間勤務のほか、新規事業としてH30年3月から、ベビーシッター等の利用に係る助成を行い、子育て等を行う女性医師の支援を開始した。	B			
医師短時間	育児部分休業	ベビーシッター等助成金													
2名	1名	1名													
③ 病棟看護師の負担軽減と勤務形態の多様化を図るため、二交代制勤務の導入を検討する。	③ 病棟看護師の負担軽減と勤務形態の多様化を図るため、変則二交代制勤務病棟の拡大を検討する。	③ 病棟看護師の負担軽減と勤務形態の多様化を図るため、前年度の4階南病棟に加え、新たに3階南病棟において、二交代制勤務を開始した。	◇二交代制勤務の導入を検討したか。	A	▽4階南病棟の実施に続き、新たに3階南病棟においても平成29年3月から10月までの検討・試行期間後、平成29年11月から本格実施を行い、看護師の負担軽減と勤務形態の多様化を図った。	A									
④ 医師をはじめとする医療従事者の負担軽減を図り、効率的に業務を遂行するため、クラーク及び補助者の担当業務の拡大を検討・実施する。	④ 医師をはじめとする医療従事者の負担軽減を図り、効率的に業務を遂行するため、クラーク及び補助者の担当業務の拡大を検討・実施する。	④ 医師をはじめとする医療従事者の負担軽減を図るため、病棟及び外来に医師事務作業補助者(医事クラーク)を配置した。  【実績】医事クラークの配置数 <table border="1"> <tr> <td>平成26年度</td> <td>平成27年度</td> <td>平成28年度</td> <td>平成29年度</td> </tr> <tr> <td>52名</td> <td>61名</td> <td>64名</td> <td>64名</td> </tr> </table>	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	52名	61名	64名	64名	◇クラーク及び補助者の担当業務の拡大を検討・実施したか。	B	▽医事クラークの適正配置を継続し、医療従事者の負担軽減を行った。	A	
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度												
52名	61名	64名	64名												

第3期中期計画(平成28～31年度)※H30.3変更	平成29年度計画	平成29年度実績【実施状況及び業務運営の状況】	評価の視点	自己 評価	評価の理由等	H28 評価	評価	設立団体の評価														
<b>(3) 医療サービスの効果的な提供</b>	<b>(3) 医療サービスの効果的な提供</b>																					
<b>ア 地域連携の推進</b>	<b>ア 地域連携の推進</b>																					
① 良質な医療サービスを効果的に提供するため、庄内二次医療圏における中核的な医療機関としての役割を果たし、他の医療機関との連携を推進し、日本海総合病院においては、地域医療支援病院の指定要件である紹介率50%かつ逆紹介率70%以上を目標とする。	① 日本海総合病院は、良質な医療サービスを効果的に提供するため、庄内二次医療圏における中核的な医療機関としての役割を果たし、他の医療機関との連携を推進し、日本海総合病院においては、地域医療支援病院の指定要件である紹介率50%かつ逆紹介率70%以上を目標とする。	① 日本海総合病院は、良質な医療サービスを効果的に提供するため、庄内二次医療圏における中核的な医療機関としての役割を果たし、他の医療機関との連携の推進により、目標とする地域医療支援病院の指定要件である紹介率50%かつ逆紹介率70%以上を達成した。  【実績】年度別 紹介率、逆紹介率 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>47.2%</td> <td>52.7%</td> <td>64.4%</td> <td>65.5%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>67.5%</td> <td>77.8%</td> <td>97.2%</td> <td>100.5%</td> </tr> </tbody> </table> <small>※地域医療支援病院における算出方法による。(歯科口腔外科を含む。)</small>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	紹介率	47.2%	52.7%	64.4%	65.5%	逆紹介率	67.5%	77.8%	97.2%	100.5%	◇日本海総合病院は他の医療機関との連携を推進したか。	S	▽庄内地域の中核的な医療機関として、紹介・逆紹介を推進するため、継続して「診療のご案内」の作成、配布等、地域の他の医療機関との役割分担及び連携の強化を図り、地域医療支援病院の指定要件である紹介率50%以上、逆紹介率70%以上の目標値を大幅に上回ることができた。	S	
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																		
紹介率	47.2%	52.7%	64.4%	65.5%																		
逆紹介率	67.5%	77.8%	97.2%	100.5%																		
② 山形県立こころの医療センターとの「医療観察法対象者の入院受入協定書」及び「医療連携及び緊急時の患者搬送措置に関する覚書」に基づき、入院患者の身体合併症に連携して対応する。	② 日本海総合病院は、山形県立こころの医療センターとの「医療観察法対象者の入院受入協定書」及び「医療連携及び緊急時の患者搬送措置に関する覚書」に基づき、入院患者の身体合併症に連携して対応する。	② 日本海総合病院は、平成26年度から締結している、山形県立こころの医療センターとの「医療連携及び緊急時の患者搬送措置に関する覚書」及び「医療観察法対象者の入院受入協定書」に基づき、急性期医療が必要となった患者の受入体制を引き続き整えるとともに、平成29年度は新たに医療法人山容会山容病院と「医療連携及び緊急時の患者搬送措置に関する覚書」を締結した。	◇協定書等に基づき、連携して身体合併症患者の受入れに対応したか。	B	▽平成29年度は協定書等に基づく対応が必要な患者の受入はなかったが、新たに「医療法人山容会山容病院と「医療連携及び緊急時の患者搬送措置に関する覚書」を締結した。	B																
③ 患者の広域化に対応し、ICTを活用して地域、医療圏を超えた医療連携を推進する。	③ 日本海総合病院は、患者の広域化に対応し、ICTを活用して地域、医療圏を超えた医療連携を推進する。	③ 日本海総合病院は、患者の広域化に対応し、ICTを活用して地域、医療圏を超えた医療連携を推進するため、県立中央病院との連携を開始した。 平成30年3月、山形県地域医療対策課主催の医療情報ネットワーク全県会議において、医療情報ネットワークの広域化についての協議に参加した。	◇地域、医療圏を超えた医療連携を推進したか。	B	▽県立中央病院との連携を開始したことにより、ドクターヘリ等の患者搬送に係る情報伝達の効率化が図られた。 全県域におけるネットワーク広域化の検討が開始したことにより、情報共有の広域化を進める上での基盤および具体的なルールのH30年度策定に向けてWG等が開始された。	B																
④ 地域包括ケアシステムの構築に向けて、行政機関、地域の介護・福祉施設等との連携を強化し、退院後の医療支援や施設入所のための情報共有を図り、医療・介護・福祉へと切れ目のないサービスの提供に努める。	④ 地域包括ケアシステムの構築に向けて、行政機関、地域の介護・福祉施設等との連携を強化し、退院後の医療支援や施設入所のための情報共有を図り、医療・介護・福祉へと切れ目のないサービスの提供に努める。	④ 地域包括ケアシステムの構築に向け、行政機関、地域包括支援センター及び地域の介護、福祉機関と連携を行い、また、積極的な情報交換や、退院時カンファレンス等の取り組みの強化により、医療・介護・福祉へと円滑で切れ目のないサービスの提供に努めた。	◇医療・介護・福祉へと切れ目のないサービスの提供に努めたか。	B	▽地域の介護・福祉機関との連携により、情報共有を図り退院時共同指導、介護支援連携指導を行い、切れ目のないサービス提供に積極的に努めた。	S																
<b>イ 診療情報の共有化</b>	<b>イ 診療情報の共有化</b>																					
① 庄内二次医療圏全体で、効率的で適切な医療やケアを提供するため、地域医療情報ネットワーク等のICTを活用し、他の医療機関や介護・福祉施設等との診療情報の共有化を推進する。	① 庄内二次医療圏全体で、効率的で適切な医療やケアを提供するため、地域医療情報ネットワーク等のICTを活用し、他の医療機関や介護・福祉施設等との診療情報の共有化を推進する。	① 庄内二次医療圏全体で、効率的で適切な医療やケアを提供するため、地域医療情報ネットワーク等のICTを活用し、他の医療機関や介護・福祉施設等との診療情報の共有化を推進した。また、医療と介護の連携として、完全非公開型医療・介護専用ソーシャルネットワークサービスの活用を開始した。  【実績】登録患者数等（平成30年3月現在） <table border="1"> <tbody> <tr> <td>登録患者数</td> <td>32,401名(前年度比5,920名増)</td> </tr> <tr> <td>開示施設数</td> <td>7施設</td> </tr> <tr> <td>閲覧施設数</td> <td>186施設</td> </tr> </tbody> </table>	登録患者数	32,401名(前年度比5,920名増)	開示施設数	7施設	閲覧施設数	186施設	◇ICTを活用し、他の医療機関や介護・福祉施設等との診療情報の共有化を推進したか。	S	▽H29に、新たに利用登録した施設は15施設、また、新たな登録患者数は、5,920人。 ▽H30年3月に日本海総合病院の超音波画像および心電図の情報を開示し、診療情報の共有化が進んだ。 ▽登録患者数の増加、開示項目の追加により、診療情報の共有化はより推進された。 ▽非公開型SNSの運用の開始で、医療と介護でより密な連携が可能になった。 ▽H28・利用登録施設数：171施設、登録人数：26,481名	S										
登録患者数	32,401名(前年度比5,920名増)																					
開示施設数	7施設																					
閲覧施設数	186施設																					
② 国等が行う、新たなICTを活用した実証実験に協力する。	② 日本海総合病院は、国等が新たなICTを活用した実証実験を行う場合、これに協力する。	② 日本海総合病院は、総務省の「医療等分野における相互接続基盤の在り方に関する実証」に参加し、医療専用ネットワークにおいて、マイナンバーカードと医師資格証の併用による画像情報連携についての実証実験を、群馬大学医学部附属病院と共同で実施した。	◇国等の新たなICTを活用した実証実験に協力したか。	B	▽医療専用ネットワークの実用化に向け、遠隔地における情報共有のあり方について、有用な実証実験を行うことができた。	B																



第3期中期計画(平成28～31年度)※H30.3変更	平成29年度計画	平成29年度実績【実施状況及び業務運営の状況】	評価の視点	自己 評価	評価の理由等	H28	設立団体の評価																																																			
						評定	評定																																																			
<b>ウ 地域連携クリティカルバスの活用</b>	<b>ウ 地域連携クリティカルバスの活用(日本海総合病院)</b>																																																									
① 効率的で適切な医療を提供するため、地域連携クリティカルバスの活用を推進する。	効率的で適切な医療を提供するため、地域連携クリティカルバスの活用を推進する。	① 効率的で適切な医療を提供するため、患者への負担の軽減及び他の医療機関との機能分担を図りながら、地域連携クリティカルバスを継続して活用した。 【実績】地域連携クリティカルバス適用件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>肺がん</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td></tr> <tr><td>大腸がん</td><td>21件</td><td>15件</td><td>11件</td><td>6件</td></tr> <tr><td>肝がん</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td></tr> <tr><td>乳がん</td><td>14件</td><td>17件</td><td>16件</td><td>9件</td></tr> <tr><td>胃がん</td><td>19件</td><td>24件</td><td>19件</td><td>10件</td></tr> <tr><td>大腿骨頸部骨折</td><td>144件</td><td>110件</td><td>128件</td><td>105件</td></tr> <tr><td>脳卒中</td><td>246件</td><td>226件</td><td>195件</td><td>149件</td></tr> <tr><td>心臓リハビリテーション</td><td>87件</td><td>112件</td><td>116件</td><td>108件</td></tr> <tr><td>前立腺がん</td><td>17件</td><td>48件</td><td>65件</td><td>24件</td></tr> </tbody> </table>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	肺がん	0件	0件	0件	0件	大腸がん	21件	15件	11件	6件	肝がん	0件	0件	0件	0件	乳がん	14件	17件	16件	9件	胃がん	19件	24件	19件	10件	大腿骨頸部骨折	144件	110件	128件	105件	脳卒中	246件	226件	195件	149件	心臓リハビリテーション	87件	112件	116件	108件	前立腺がん	17件	48件	65件	24件	◇地域連携クリティカルバスの活用を推進したか。	B	▽地域包括ケアシステムを推進しており、介護保険施設や在宅へと病診連携へ移行するケースも多くなっていることなどから、適用件数は、前年度と比較して減少しているが、地域連携クリティカルバスを活用し効率的な医療の提供した。	B		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																																																						
肺がん	0件	0件	0件	0件																																																						
大腸がん	21件	15件	11件	6件																																																						
肝がん	0件	0件	0件	0件																																																						
乳がん	14件	17件	16件	9件																																																						
胃がん	19件	24件	19件	10件																																																						
大腿骨頸部骨折	144件	110件	128件	105件																																																						
脳卒中	246件	226件	195件	149件																																																						
心臓リハビリテーション	87件	112件	116件	108件																																																						
前立腺がん	17件	48件	65件	24件																																																						
② 地域で支える「地域完結型医療」を推進するため、新たな地域連携クリティカルバスの導入に努める。	※H28年度に地域連携バスの運用を開始した。(H28年度計画で終了。)		-	-		B																																																				
<b>(4)教育研修事業の充実</b>	<b>(4)教育研修事業の充実</b>																																																									
<b>ア 庄内地域における医療水準の向上</b>	<b>ア 庄内地域における医療水準の向上(日本海総合病院)</b>																																																									
① 庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、関連大学の医学生を受け入れるなど、質の高い医療従事者の育成に努める。	① 庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、関連大学の医学生を受け入れるなど、質の高い医療従事者の育成に努める。	① 庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、臨床研修医及びレジデントの受入れ、並びに、山形大学からのスチューデントドクター及び東北大学からの地域医療実習生を継続して受け入れ、質の高い医療従事者の育成に努めた。 【実績】臨床研修医等の受入れ状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>臨床研修医</td><td>28名</td><td>29名</td><td>28名</td><td>34名</td></tr> <tr><td>レジデント</td><td>28名</td><td>22名</td><td>26名</td><td>27名</td></tr> <tr><td>スチューデントドクター(山形大)</td><td>51名</td><td>87名</td><td>75名</td><td>70名</td></tr> <tr><td>臨床医学研修生(東北大)</td><td>0名</td><td>2名</td><td>1名</td><td>5名</td></tr> <tr><td>地域医療実習生(東北大)</td><td>5名</td><td>4名</td><td>5名</td><td>6名</td></tr> </tbody> </table>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	臨床研修医	28名	29名	28名	34名	レジデント	28名	22名	26名	27名	スチューデントドクター(山形大)	51名	87名	75名	70名	臨床医学研修生(東北大)	0名	2名	1名	5名	地域医療実習生(東北大)	5名	4名	5名	6名	◇質の高い医療従事者の育成に努めたか。	B	▽前年度比7名増の、関連大学の医学生を受け入れるなど、質の高い医療従事者の育成に努めた。	B																						
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																																																						
臨床研修医	28名	29名	28名	34名																																																						
レジデント	28名	22名	26名	27名																																																						
スチューデントドクター(山形大)	51名	87名	75名	70名																																																						
臨床医学研修生(東北大)	0名	2名	1名	5名																																																						
地域医療実習生(東北大)	5名	4名	5名	6名																																																						
② 酒田市立酒田看護専門学校の実習施設として、優秀な看護師を育成するため、看護教員の養成を図る。	② 酒田市立酒田看護専門学校の実習施設として、優秀な看護師を育成するため、看護教員の養成を図る。	② 酒田市立酒田看護専門学校の実習施設として、看護教員の養成のため、平成29年度看護教員養成研修に職員1名を派遣した。(研修期間H29.6月～H30.3月)	◇看護教員を養成したか。	B	▽平成29年度看護教員養成研修に職員1名を派遣し看護教員の養成を図った。(研修期間H29.6月～H30.3月)	B																																																				
③ 救急救命士の病院実習を受け入れ、救急医療の水準向上を図る。	③ 救急救命士の病院実習を受け入れ、救急医療の水準向上を図る。	③ 救急医療の水準向上を図るため、救急救命士養成課程の臨床実習、就業前研修、再教育実習及び山形県消防学校救急科の病院実習を実施し、計60名の実習生の受入れを行った。 【実績】実習生受入人数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>臨床実習</td><td>4名</td><td>4名</td><td>3名</td><td>3名</td></tr> <tr><td>就業前研修</td><td>3名</td><td>3名</td><td>5名</td><td>1名</td></tr> <tr><td>再教育実習</td><td>36名</td><td>38名</td><td>41名</td><td>39名</td></tr> <tr><td>病院実習</td><td>9名</td><td>9名</td><td>15名</td><td>17名</td></tr> <tr><td>計</td><td>52名</td><td>54名</td><td>64名</td><td>60名</td></tr> </tbody> </table>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	臨床実習	4名	4名	3名	3名	就業前研修	3名	3名	5名	1名	再教育実習	36名	38名	41名	39名	病院実習	9名	9名	15名	17名	計	52名	54名	64名	60名	◇救急救命士の実習を受け入れ、救急医療の水準向上を図ったか。	B	▽前年度に引き続き、救命救急センターで救急救命士養成課程の臨床実習、就業前研修、再教育実習及び山形県消防学校救急科の病院実習を受け入れ、救急医療の水準向上を図った。	A																						
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																																																						
臨床実習	4名	4名	3名	3名																																																						
就業前研修	3名	3名	5名	1名																																																						
再教育実習	36名	38名	41名	39名																																																						
病院実習	9名	9名	15名	17名																																																						
計	52名	54名	64名	60名																																																						

第3期中期計画(平成28~31年度)※H30.3変更		平成29年度計画	平成29年度実績【実施状況及び業務運営の状況】	評価の視点	自己 評価	評価の理由等	H28 評価	設立団体の評価											
<b>イ 住民意識の啓発活動</b>		<b>イ 住民意識の啓発活動(日本海総合病院)</b>																	
① 住民を対象としたセミナー及び病院広報紙「あきほ」等を活用し、医療や健康に関する情報発信を行う。	① 住民を対象としたセミナー及び病院広報紙「あきほ」等を活用し、医療や健康に関する情報発信を行う。	① 住民を対象としたセミナーとして、生涯学習施設「里仁館」で開催された健康講座に、職員を派遣するとともに、広報紙「あきほ」を年4回発行し、医療や健康に関する情報発信を行った。  【実績】健康講座 <table border="1"> <tr><th>開催日</th><th>題名</th><th>講師</th></tr> <tr><td>平成29年5月24日</td><td>感染症について</td><td>齋藤 宗一 副院長</td></tr> <tr><td>平成29年6月7日</td><td>過活動膀胱について</td><td>牛島 正毅 医師</td></tr> <tr><td>平成29年7月5日</td><td>放射線治療について</td><td>黒田 勇気 医師</td></tr> </table>	開催日	題名	講師	平成29年5月24日	感染症について	齋藤 宗一 副院長	平成29年6月7日	過活動膀胱について	牛島 正毅 医師	平成29年7月5日	放射線治療について	黒田 勇気 医師	◇医療や健康に関する情報発信をしたか。	B	▽生涯学習施設里仁館で開催される健康講座3回に職員を派遣し、医療や健康に関する情報を発信した。また、広報誌「あきほ」で医療の知識をわかりやすく発信するよう努めた。	B	
開催日	題名	講師																	
平成29年5月24日	感染症について	齋藤 宗一 副院長																	
平成29年6月7日	過活動膀胱について	牛島 正毅 医師																	
平成29年7月5日	放射線治療について	黒田 勇気 医師																	
② 住民の健康意識の向上のため、関係機関と連携し啓発活動に努める。	② 住民の健康意識の向上のため、関係機関と連携し啓発活動に努める。	② 住民の健康意識の向上のため、地域住民を対象とした市民公開講座を開催し、がんに関する情報提供を行った。  【実績】市民公開講座 <table border="1"> <tr><th>実施日等</th><th>研修内容等</th><th>参加人数</th></tr> <tr><td>平成29年7月29日 ホテルリッチ&amp; ガーデン酒田</td><td>地域がん診療連携拠点病院公開講座 生きるセンス 食べるセンス 出すセンス ～がん治療における「いのち」と「食」と「排泄」のヒント～ コミュニティスペースやのいぬ 橋原 千秋 先生</td><td>166名</td></tr> </table>	実施日等	研修内容等	参加人数	平成29年7月29日 ホテルリッチ& ガーデン酒田	地域がん診療連携拠点病院公開講座 生きるセンス 食べるセンス 出すセンス ～がん治療における「いのち」と「食」と「排泄」のヒント～ コミュニティスペースやのいぬ 橋原 千秋 先生	166名	◇健康意識の向上のため、地域住民に対し、啓発活動を行ったか。	A	▽地域がん診療連携拠点病院として、酒田市、酒田地区医師会十全堂、庄内保健所と連携し、住民の健康意識の向上のため、公開講座を開催し、地域住民に対し、がんに関する情報提供と啓発活動を行い、前年度の倍以上の参加人数となった。 H28年度：70人	B							
実施日等	研修内容等	参加人数																	
平成29年7月29日 ホテルリッチ& ガーデン酒田	地域がん診療連携拠点病院公開講座 生きるセンス 食べるセンス 出すセンス ～がん治療における「いのち」と「食」と「排泄」のヒント～ コミュニティスペースやのいぬ 橋原 千秋 先生	166名																	
<b>3 患者・住民の満足度の向上</b>		<b>3 患者・住民の満足度の向上</b>																	
① 患者やその家族の満足度を高めるため、アンケート調査の実施等により、そのニーズを把握しサービスの向上に努めるとともに、新たな患者利便施設について検討する。	① 日本海総合病院は、患者やその家族の満足度を高めるため、アンケート調査の実施等により、そのニーズを把握しサービスの向上に努めるとともに、新たな患者利便施設について検討する。  【主な改善等】 ・患者駐車場の表示板を見やすく覚えやすいものに改修 ・患者や家族向けに情報を発信するため、床頭台のコンテンツ内容を改善 ・患者等来院者向けのお知らせを見やすくするため、デジタルサイネージを設置	① 日本海総合病院は、患者やその家族のニーズを把握するためアンケート調査を実施した。また、業務改善委員会の提案等により、患者サービスの向上のため改善を行った。	◇患者ニーズの把握と新たな患者利便施設の検討を行ったか。	B	▽患者ニーズを把握するためアンケート調査を実施し、患者サービスの向上のため、患者駐車場の表示を見やすく覚えやすいものに変更した。また、床頭台のコンテンツを見直し、患者向けの内容を充実させるなど改善を行った。	A													
② 来院者の意見を取り入れ、院内環境等の快適性の向上、受付から会計までの在院時間や入院手続きの改善に努める。	② 日本海総合病院は、来院者の意見を取り入れ、院内環境等の快適性の向上、受付から会計までの在院時間や入院手続きの改善に努める。	② 日本海総合病院は、来院者の意見を取り入れ、院内環境等の向上、受付から会計までの在院時間や入院手続きの改善を図るため、入院センターを新設し、患者等の動線の見直しと入院手続きの改善を図った。	◇院内環境等の快適性の向上、受付から会計までの在院時間や入院手続きの改善に努めたか。	A	▽平成29年9月1日から、入院センターの運用を開始し、患者の動線の見直しと入院手続きの改善を行うとともに入院関連の業務の効率化を図った。	A													
③ 山形県が策定した地域医療構想を踏まえ、それぞれの病院及び診療所の役割等を、ホームページ、病院広報紙「あきほ」、市広報等を活用してPRする。	③ 山形県地域医療構想を踏まえ、それぞれの病院の役割等を、ホームページ、病院広報紙「あきほ」、市広報等を活用してPRする。	③ 山形県地域医療構想を踏まえ、それぞれの病院の役割等を、ホームページ、病院広報紙「あきほ」及び市広報等を活用してPRを行った。	◇病院の役割をPRしたか。	B	▽広報誌あきほを4回発行し病院の役割、診療科の紹介等を行った。1回2,700部発行しているが、増刷し希望者に配布した。  ▽ホームページにおいて、病院の情報を発信した。	B													
<b>4 法令等の遵守と情報公開の推進</b>		<b>4 法令等の遵守と情報公開の推進</b>																	
① 職員一人ひとりが、山形県・酒田市病院機構倫理綱領に従って行動し、コンプライアンスの周知徹底に取り組む。	① 職員一人ひとりが、山形県・酒田市病院機構倫理綱領に従って行動し、コンプライアンスの周知徹底に取り組む。	① 職員一人ひとりが、山形県・酒田市病院機構倫理綱領及び法令順守意識の徹底のため、コンプライアンス等の職員研修を実施し周知徹底に取り組んだ。	◇コンプライアンスの周知徹底に取り組んだか。	B	▽職員研修において法人の基本理念、倫理綱領、職員の行動指針などの周知に取り組んだ。	B													
② 山形県・酒田市病院機構における各病院の経営状況を公開する。	② 山形県・酒田市病院機構における各病院の経営状況を公開する。	② 山形県・酒田市病院機構における各病院の経営状況を病院概要の発行及びホームページで公表した。	◇経営状況を公開したか。	B	▽ホームページにおいて財務諸表を公開した。	B													
③ カルテ等医療情報の開示は、山形県情報公開条例及び山形県個人情報保護条例に基づき、県の機関に準じて適切に対応する。	③ カルテ等医療情報の開示は、山形県情報公開条例及び山形県個人情報保護条例に基づき、県の機関に準じて適切に対応する。	③ カルテ等医療情報の開示については、山形県情報公開条例及び個人情報保護条例の適用のもと、県の機関に準じて行った。  【実績】診療情報提供申出件数(日本海総合病院) <table border="1"> <tr><th>平成26年度</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th></tr> <tr><td>64件</td><td>74件</td><td>60件</td><td>56件</td></tr> </table>	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	64件	74件	60件	56件	◇情報開示請求に適切に対応したか。	B	▽県の機関に準じて、適切に対応した。	B					
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																
64件	74件	60件	56件																
④ 適切な情報管理や情報セキュリティ対策の強化を図るため、職員及び「ちようかいネット」の利用者等を対象に研修を行う。	④ 適切な情報管理や情報セキュリティ対策の強化を図るため、職員及び「ちようかいネット」の利用者等を対象に研修を行う。  【実績】ちようかいネット利用者等を対象にしたセキュリティ研修会 <table border="1"> <tr><th>実施年月</th><th>対象者</th><th>参加状況</th></tr> <tr><td>平成29年7月・8月</td><td>新規に参加した介護事業者等</td><td>16施設・23名</td></tr> <tr><td>平成29年12月</td><td>全参加施設</td><td>26施設・34名</td></tr> </table>	実施年月	対象者	参加状況	平成29年7月・8月	新規に参加した介護事業者等	16施設・23名	平成29年12月	全参加施設	26施設・34名	④ 適切な情報管理や情報セキュリティ対策の強化を図るため、「ちようかいネット」利用者等を対象に研修会を開催した。また、インターネットを経由したサイバーテロの増加に伴い、事務部門および放射線部門の職員に対して、サイバー攻撃の手段とその対応策について研修を行った。	◇職員及び「ちようかいネット」利用者研修を行ったか。	B	▽職員及びちようかいネット参加施設に対し、具体的なサイバー攻撃の手法、対応方法について研修等を行うことで、標的型メール攻撃等に対する注意喚起を行った。不参加の施設に対するフォローとして、当日使用した資料の配布を行った。	B				
実施年月	対象者	参加状況																	
平成29年7月・8月	新規に参加した介護事業者等	16施設・23名																	
平成29年12月	全参加施設	26施設・34名																	

第3期中期計画(平成28~31年度)※H30.3変更	平成29年度計画	平成29年度実績【実施状況及び業務運営の状況】	評価の視点	自己 評価	評価の理由等	H28		設立団体の評価																									
						評価	評価																										
<b>5 医療安全対策の充実・強化</b>	<b>5 医療安全対策の充実・強化</b>	<p>① 医療安全対策の充実・強化を図るため、医療安全対策委員会を中心に次のような活動を行い、医療安全管理者を中心に、各部署の医療安全推進者(リスクマネージャー)と連携しながら、インシデントの事例共有、分析、改善策について検討し、医療安全対策の向上に努めた。</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">【実績】医療安全対策委員会研修会</th> </tr> <tr> <th>実施日等</th> <th>研修内容等</th> <th>参加人数</th> </tr> <tr> <td>H29.4.28 日本海総合 病院講堂</td> <td>医療安全対策委員会第1回全体研修会 『輸送ポンプ更新に伴う説明会』 日本海総合病院 ME室 主任臨床工学技士 白橋 真</td> <td>193名</td> </tr> <tr> <td>H29.10.30 日本海総合 病院講堂</td> <td>医療安全対策委員会第2回全体研修会 『患者者間コミュニケーション+相手のことを考えて、伝えていきますか〜』 SOMPOリスクマネジメント株式会社 医療リスクマネジメント事業部 上級コンサルタント 橋本 勝 先生</td> <td>224名</td> </tr> <tr> <td>H29.12.11 日本海総合 病院講堂</td> <td>医療安全対策委員会第3回全体研修会 『案について学びたいインシデント事例より〜』 日本海総合病院 医療安全室SM 齋藤伸子 薬剤部PM 阿部実佐緒 摂食嚥下障害看護認定看護師 池田真喜 医療安全リンクース</td> <td>186名</td> </tr> </table> <p>院内感染対策については、院内感染の防止を図るため、感染制御チーム及び院内感染対策委員会を中心に次のような研修会を開催した。</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">【実績】院内感染対策研修会</th> </tr> <tr> <th>実施日等</th> <th>研修内容等</th> <th>参加人数</th> </tr> <tr> <td>平成29年8月9日 日本海総合病院 2階講堂</td> <td>第一院内感染対策研修会 『末梢静脈ルートの感染予防について』 講師:榎大塚製薬 伊藤 太郎氏</td> <td>522名</td> </tr> <tr> <td>平成29年11月13日 日本海総合病院 2階講堂 1階エントランス</td> <td>第二院内感染対策研修会 『楽しく学べる感染対策の重要ポイント』 講師:浜松医療センター 副院長 矢野 邦夫先生</td> <td>269名 (うち院外17名)</td> </tr> </table>	【実績】医療安全対策委員会研修会			実施日等	研修内容等	参加人数	H29.4.28 日本海総合 病院講堂	医療安全対策委員会第1回全体研修会 『輸送ポンプ更新に伴う説明会』 日本海総合病院 ME室 主任臨床工学技士 白橋 真	193名	H29.10.30 日本海総合 病院講堂	医療安全対策委員会第2回全体研修会 『患者者間コミュニケーション+相手のことを考えて、伝えていきますか〜』 SOMPOリスクマネジメント株式会社 医療リスクマネジメント事業部 上級コンサルタント 橋本 勝 先生	224名	H29.12.11 日本海総合 病院講堂	医療安全対策委員会第3回全体研修会 『案について学びたいインシデント事例より〜』 日本海総合病院 医療安全室SM 齋藤伸子 薬剤部PM 阿部実佐緒 摂食嚥下障害看護認定看護師 池田真喜 医療安全リンクース	186名	【実績】院内感染対策研修会			実施日等	研修内容等	参加人数	平成29年8月9日 日本海総合病院 2階講堂	第一院内感染対策研修会 『末梢静脈ルートの感染予防について』 講師:榎大塚製薬 伊藤 太郎氏	522名	平成29年11月13日 日本海総合病院 2階講堂 1階エントランス	第二院内感染対策研修会 『楽しく学べる感染対策の重要ポイント』 講師:浜松医療センター 副院長 矢野 邦夫先生	269名 (うち院外17名)	<p>◇全職員対象の研修の実施と、情報収集等を行った。</p> <p>B</p> <p>▽患者安全管理体制の推進と強化を図るため、全職員対象の研修を3回開催するとともに、医療安全管理者を中心に情報収集と分析を行い、医療安全対策の一層の向上に努めた。</p> <p>▽医療安全管理者を中心に、各部署の医療安全推進者(リスクマネージャー)と連携しながら、インシデントの事例共有、分析、改善策について検討し、医療安全対策の一層の向上に努めた。</p> <p>▽院内感染の防止を図るため、全職員対象の研修会を2回開催するとともに、感染制御チーム及び院内感染対策委員会を中心に情報収集と分析を行い、院内感染の防止に努めた。</p>	B		
【実績】医療安全対策委員会研修会																																	
実施日等	研修内容等	参加人数																															
H29.4.28 日本海総合 病院講堂	医療安全対策委員会第1回全体研修会 『輸送ポンプ更新に伴う説明会』 日本海総合病院 ME室 主任臨床工学技士 白橋 真	193名																															
H29.10.30 日本海総合 病院講堂	医療安全対策委員会第2回全体研修会 『患者者間コミュニケーション+相手のことを考えて、伝えていきますか〜』 SOMPOリスクマネジメント株式会社 医療リスクマネジメント事業部 上級コンサルタント 橋本 勝 先生	224名																															
H29.12.11 日本海総合 病院講堂	医療安全対策委員会第3回全体研修会 『案について学びたいインシデント事例より〜』 日本海総合病院 医療安全室SM 齋藤伸子 薬剤部PM 阿部実佐緒 摂食嚥下障害看護認定看護師 池田真喜 医療安全リンクース	186名																															
【実績】院内感染対策研修会																																	
実施日等	研修内容等	参加人数																															
平成29年8月9日 日本海総合病院 2階講堂	第一院内感染対策研修会 『末梢静脈ルートの感染予防について』 講師:榎大塚製薬 伊藤 太郎氏	522名																															
平成29年11月13日 日本海総合病院 2階講堂 1階エントランス	第二院内感染対策研修会 『楽しく学べる感染対策の重要ポイント』 講師:浜松医療センター 副院長 矢野 邦夫先生	269名 (うち院外17名)																															
	<p>② 医療安全マニュアル及び感染対策マニュアル等は、必要に応じて速やかに改訂し、対策の徹底を図る。</p>	<p>② 医療安全マニュアル及び院内感染対策マニュアルについて、各委員会においてマニュアルの遵守について徹底を図った。</p>	<p>◇マニュアル等を、必要に応じて速やかに改訂し、対策の徹底を図った。</p>	B	<p>▽H29年度はマニュアルの改訂はなかったが、各委員会においてマニュアル遵守の徹底を図った。</p>	B																											
<b>第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するため取るべき措置</b>	<b>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するため取るべき措置</b>																																
<b>1 組織マネジメントの強化</b>	<b>1 組織マネジメントの強化</b>																																
組織マネジメントの強化のため、運営委員会、診療部代表者会議、業務改善委員会、経営会議等の充実を図る。	組織マネジメントの強化のため、運営委員会、診療部代表者会議、業務改善委員会、経営会議等の充実を図る。	運営委員会、診療部代表者会議、経営会議及び業務改善委員会等を定期的に開催し、組織マネジメントの強化に努めた。	◇各委員会、会議の充実を図った。	B	▽運営委員会(毎週)、診療部代表者会議(毎月)、業務改善委員会(毎月)、経営会議(毎月)等を定期的に開催し、各会議内容の充実を図った。	B																											
<b>2 診療体制の強化、人員配置の弾力的運用</b>	<b>2 診療体制の強化、人員配置の弾力的運用</b>																																
① 医療需要の変化等に迅速かつ確に対応するため、各病院間での人事交流等による協力体制のもと、業務量に応じて医療従事者の適切な配置を行う。	① 医療需要の変化等に迅速かつ確に対応するため、各病院間での人事交流等による協力体制のもと、業務量に応じて医療従事者の適切な配置を行う。	① 医療需要の変化等に迅速かつ確に対応するため、定期及び臨時の人事異動により適材適所の配置に努めた。	◇医療従事者の適切な配置を行った。	B	▽医療需要の変化に対応するため、酒田医療センターに理学療法士等計5名を増員し、休日を含めたリハビリテーション提供体制の充実を図った。また、定期及び臨時の人事異動により適切な配置を行った。	A																											
② 柔軟かつ多様な勤務形態等で、多様な専門的職種の活用を図り、効率的な業務運営に努める。	② 柔軟かつ多様な勤務形態等で、多様な専門的職種の活用を図り、効率的な業務運営に努める。	② 患者のニーズに対応するため、地域連携室の勤務時間に遅番を設け、効率的な業務運営に努めた。	◇効率的な業務運営に努めた。	A	▽地域連携室の遅番対応により、患者の利便性を向上させるとともに、効率的かつ効果的な業務運営を図った。 H29.12~	A																											
		<table border="1"> <tr> <th colspan="5">【実績】遅番時間帯での相談件数</th> </tr> <tr> <th>平成29年12月</th> <th>平成30年1月</th> <th>平成30年2月</th> <th>平成30年3月</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>18件</td> <td>13件</td> <td>6件</td> <td>5件</td> <td>42件</td> </tr> </table>	【実績】遅番時間帯での相談件数					平成29年12月	平成30年1月	平成30年2月	平成30年3月	合計	18件	13件	6件	5件	42件																
【実績】遅番時間帯での相談件数																																	
平成29年12月	平成30年1月	平成30年2月	平成30年3月	合計																													
18件	13件	6件	5件	42件																													

第3期中期計画(平成28～31年度)※H30.3変更	平成29年度計画	平成29年度実績【実施状況及び業務運営の状況】	評価の視点	自己 評価	評価の理由等	H28 評価	設立団体の評価																																																																																																																																																																																																																																						
<b>3 経営基盤の安定化</b>	<b>3 経営基盤の安定化</b>	<b>3 経営基盤の安定化</b>																																																																																																																																																																																																																																											
<b>(1) 収入の確保</b> ① 1日あたりの患者数及び病床利用率等の目標値を次のように定めるとともに、医療を取り巻く環境の変化や患者動向にあわせ、適切な取組みを行い営業収益の確保に努める。 【1日あたりの患者数の目標値】 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>入院</td> <td>外来</td> </tr> <tr> <td>日本海総合病院</td> <td>516人/日以上</td> <td>1,300人/日以上</td> </tr> <tr> <td>日本海酒田リハビリテーション病院</td> <td>102人/日以上</td> <td>3人/日以上</td> </tr> <tr> <td>日本海八幡クリニック等診療所</td> <td>—</td> <td>80人/日以上</td> </tr> </table> 【病床利用率及び平均在院日数の目標値】 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>病床利用率</td> <td>平均在院日数</td> </tr> <tr> <td>日本海総合病院</td> <td>80%以上</td> <td>12.0日以内</td> </tr> <tr> <td>日本海酒田リハビリテーション病院</td> <td>90%以上</td> <td>—</td> </tr> </table> 【診療単価の目標値】 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>入院</td> <td>外来</td> </tr> <tr> <td>日本海総合病院</td> <td>62,000円/日以上</td> <td>13,000円/日以上</td> </tr> <tr> <td>日本海酒田リハビリテーション病院</td> <td>26,000円/日以上</td> <td>3,000円/日以上</td> </tr> <tr> <td>日本海八幡クリニック等診療所</td> <td>—</td> <td>8,000円/日以上</td> </tr> </table> ※これらの目標値は、制度改正等により変更する場合がある。 ※H30.3変更		入院	外来	日本海総合病院	516人/日以上	1,300人/日以上	日本海酒田リハビリテーション病院	102人/日以上	3人/日以上	日本海八幡クリニック等診療所	—	80人/日以上		病床利用率	平均在院日数	日本海総合病院	80%以上	12.0日以内	日本海酒田リハビリテーション病院	90%以上	—		入院	外来	日本海総合病院	62,000円/日以上	13,000円/日以上	日本海酒田リハビリテーション病院	26,000円/日以上	3,000円/日以上	日本海八幡クリニック等診療所	—	8,000円/日以上	<b>(1) 収入の確保</b> ① 1日あたりの患者数、病床利用率等の目標値を次のように定め、営業収益の確保に努める。 【1日あたりの患者数の目標値】 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>入院</td> <td>外来</td> </tr> <tr> <td>日本海総合病院</td> <td>516人/日以上</td> <td>1,300人/日以上</td> </tr> <tr> <td>酒田医療センター</td> <td>102人/日以上</td> <td>3人/日以上</td> </tr> </table> 【病床利用率及び平均在院日数の目標値】 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>病床利用率</td> <td>平均在院日数</td> </tr> <tr> <td>日本海総合病院</td> <td>80%以上</td> <td>12.0日以内</td> </tr> <tr> <td>酒田医療センター</td> <td>90%以上</td> <td>—</td> </tr> </table> 【診療単価の目標値】 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>入院</td> <td>外来</td> </tr> <tr> <td>日本海総合病院</td> <td>62,000円/日以上</td> <td>13,000円/日以上</td> </tr> <tr> <td>酒田医療センター</td> <td>26,000円/日以上</td> <td>3,000円/日以上</td> </tr> </table>		入院	外来	日本海総合病院	516人/日以上	1,300人/日以上	酒田医療センター	102人/日以上	3人/日以上		病床利用率	平均在院日数	日本海総合病院	80%以上	12.0日以内	酒田医療センター	90%以上	—		入院	外来	日本海総合病院	62,000円/日以上	13,000円/日以上	酒田医療センター	26,000円/日以上	3,000円/日以上	① 平成29年度における、1日あたりの患者数、病床利用率等は次のとおりであった。 【患者動向】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">日本海総合病院</th> <th colspan="3">酒田医療センター</th> <th colspan="3">計</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>増減</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>増減</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延入院患者数(人)</td> <td>188,230</td> <td>188,013</td> <td>△217</td> <td>37,404</td> <td>36,962</td> <td>△442</td> <td>225,634</td> <td>224,975</td> <td>△659</td> </tr> <tr> <td>新入院患者数(人)</td> <td>16,098</td> <td>16,785</td> <td>727</td> <td>579</td> <td>588</td> <td>9</td> <td>16,677</td> <td>17,373</td> <td>736</td> </tr> <tr> <td>入院/1日(人)</td> <td>515.7</td> <td>515.1</td> <td>△0.6</td> <td>102.5</td> <td>101.3</td> <td>△1.2</td> <td>618.2</td> <td>616.4</td> <td>△1.8</td> </tr> <tr> <td>病床利用率(%)</td> <td>81.9</td> <td>81.8</td> <td>△0.1</td> <td>89.9</td> <td>88.8</td> <td>△1.1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>病床回転率(%)</td> <td>260.0</td> <td>271.6</td> <td>11.6</td> <td>46.5</td> <td>49.1</td> <td>2.6</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数(日)</td> <td>11.7</td> <td>11.2</td> <td>△0.5</td> <td>65.4</td> <td>62.0</td> <td>△3.4</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>延外来患者数(人)</td> <td>335,448</td> <td>345,801</td> <td>10,353</td> <td>816</td> <td>723</td> <td>△93</td> <td>336,264</td> <td>346,524</td> <td>10,260</td> </tr> <tr> <td>新外来患者数(人)</td> <td>29,538</td> <td>28,310</td> <td>△1,228</td> <td>65</td> <td>60</td> <td>△5</td> <td>29,603</td> <td>28,370</td> <td>△1,233</td> </tr> <tr> <td>外来/1日(人)</td> <td>1,380.4</td> <td>1,417.2</td> <td>36.8</td> <td>3.4</td> <td>3.0</td> <td>△0.4</td> <td>1,383.8</td> <td>1,420.2</td> <td>36.4</td> </tr> <tr> <td>延通所/1日利用者数(人)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2,798</td> <td>4,046</td> <td>1,250</td> <td>2,798</td> <td>4,046</td> <td>1,250</td> </tr> <tr> <td>通所/1日(人)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>115</td> <td>16.6</td> <td>51</td> <td>115</td> <td>16.6</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>病床数</td> <td>630</td> <td>630</td> <td>0</td> <td>114</td> <td>114</td> <td>0</td> <td>744</td> <td>744</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> 【患者1人1日当たりの診療単価(税抜)】 単位:円 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>増減</th> <th>酒田医療センター</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海総合病院</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>63,328</td> <td>68,113</td> <td>4,785</td> <td>入院</td> <td>26,933</td> <td>27,887</td> <td>954</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>14,504</td> <td>15,276</td> <td>772</td> <td>外来</td> <td>3,774</td> <td>3,682</td> <td>△92</td> </tr> </tbody> </table>	区分	日本海総合病院			酒田医療センター			計			H28	H29	増減	H28	H29	増減	H28	H29	増減	延入院患者数(人)	188,230	188,013	△217	37,404	36,962	△442	225,634	224,975	△659	新入院患者数(人)	16,098	16,785	727	579	588	9	16,677	17,373	736	入院/1日(人)	515.7	515.1	△0.6	102.5	101.3	△1.2	618.2	616.4	△1.8	病床利用率(%)	81.9	81.8	△0.1	89.9	88.8	△1.1	—	—	—	病床回転率(%)	260.0	271.6	11.6	46.5	49.1	2.6	—	—	—	平均在院日数(日)	11.7	11.2	△0.5	65.4	62.0	△3.4	—	—	—	延外来患者数(人)	335,448	345,801	10,353	816	723	△93	336,264	346,524	10,260	新外来患者数(人)	29,538	28,310	△1,228	65	60	△5	29,603	28,370	△1,233	外来/1日(人)	1,380.4	1,417.2	36.8	3.4	3.0	△0.4	1,383.8	1,420.2	36.4	延通所/1日利用者数(人)	—	—	—	2,798	4,046	1,250	2,798	4,046	1,250	通所/1日(人)	—	—	—	115	16.6	51	115	16.6	51	病床数	630	630	0	114	114	0	744	744	0		H28	H29	増減	酒田医療センター	H28	H29	増減	日本海総合病院	—	—	—	—	—	—	—	入院	63,328	68,113	4,785	入院	26,933	27,887	954	外来	14,504	15,276	772	外来	3,774	3,682	△92	◇各目標値を達成できた。 A	▽日本海総合病院では、1日あたりの入院患者数が目標値をわずかに下回ったが、他の目標値に関しては、すべて達成した。 ▽酒田医療センターでは、入院及び外来共に診療単価については目標値を達成した。	A	
	入院	外来																																																																																																																																																																																																																																											
日本海総合病院	516人/日以上	1,300人/日以上																																																																																																																																																																																																																																											
日本海酒田リハビリテーション病院	102人/日以上	3人/日以上																																																																																																																																																																																																																																											
日本海八幡クリニック等診療所	—	80人/日以上																																																																																																																																																																																																																																											
	病床利用率	平均在院日数																																																																																																																																																																																																																																											
日本海総合病院	80%以上	12.0日以内																																																																																																																																																																																																																																											
日本海酒田リハビリテーション病院	90%以上	—																																																																																																																																																																																																																																											
	入院	外来																																																																																																																																																																																																																																											
日本海総合病院	62,000円/日以上	13,000円/日以上																																																																																																																																																																																																																																											
日本海酒田リハビリテーション病院	26,000円/日以上	3,000円/日以上																																																																																																																																																																																																																																											
日本海八幡クリニック等診療所	—	8,000円/日以上																																																																																																																																																																																																																																											
	入院	外来																																																																																																																																																																																																																																											
日本海総合病院	516人/日以上	1,300人/日以上																																																																																																																																																																																																																																											
酒田医療センター	102人/日以上	3人/日以上																																																																																																																																																																																																																																											
	病床利用率	平均在院日数																																																																																																																																																																																																																																											
日本海総合病院	80%以上	12.0日以内																																																																																																																																																																																																																																											
酒田医療センター	90%以上	—																																																																																																																																																																																																																																											
	入院	外来																																																																																																																																																																																																																																											
日本海総合病院	62,000円/日以上	13,000円/日以上																																																																																																																																																																																																																																											
酒田医療センター	26,000円/日以上	3,000円/日以上																																																																																																																																																																																																																																											
区分	日本海総合病院			酒田医療センター			計																																																																																																																																																																																																																																						
	H28	H29	増減	H28	H29	増減	H28	H29	増減																																																																																																																																																																																																																																				
延入院患者数(人)	188,230	188,013	△217	37,404	36,962	△442	225,634	224,975	△659																																																																																																																																																																																																																																				
新入院患者数(人)	16,098	16,785	727	579	588	9	16,677	17,373	736																																																																																																																																																																																																																																				
入院/1日(人)	515.7	515.1	△0.6	102.5	101.3	△1.2	618.2	616.4	△1.8																																																																																																																																																																																																																																				
病床利用率(%)	81.9	81.8	△0.1	89.9	88.8	△1.1	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																				
病床回転率(%)	260.0	271.6	11.6	46.5	49.1	2.6	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																				
平均在院日数(日)	11.7	11.2	△0.5	65.4	62.0	△3.4	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																				
延外来患者数(人)	335,448	345,801	10,353	816	723	△93	336,264	346,524	10,260																																																																																																																																																																																																																																				
新外来患者数(人)	29,538	28,310	△1,228	65	60	△5	29,603	28,370	△1,233																																																																																																																																																																																																																																				
外来/1日(人)	1,380.4	1,417.2	36.8	3.4	3.0	△0.4	1,383.8	1,420.2	36.4																																																																																																																																																																																																																																				
延通所/1日利用者数(人)	—	—	—	2,798	4,046	1,250	2,798	4,046	1,250																																																																																																																																																																																																																																				
通所/1日(人)	—	—	—	115	16.6	51	115	16.6	51																																																																																																																																																																																																																																				
病床数	630	630	0	114	114	0	744	744	0																																																																																																																																																																																																																																				
	H28	H29	増減	酒田医療センター	H28	H29	増減																																																																																																																																																																																																																																						
日本海総合病院	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																						
入院	63,328	68,113	4,785	入院	26,933	27,887	954																																																																																																																																																																																																																																						
外来	14,504	15,276	772	外来	3,774	3,682	△92																																																																																																																																																																																																																																						
② 診療報酬請求のチェック体制を強化し、請求漏れや査定による減点等の防止を図る。	② 診療報酬請求のチェック体制を強化し、請求漏れや査定による減点等の防止を図る。	② 診療報酬請求の請求漏れや査定による減点等を防止するため、診療報酬点検委員会において迅速に対策を行い、改善事項については速やかに院内周知を行うなど、チェック体制の強化を図った。	◇請求漏れや査定による減点等の防止を図った。	B	▽診療報酬点検委員会において、査定内容の全件チェックを行い、改善事項については院内周知を行い、再発防止に努めた。	B																																																																																																																																																																																																																																							
③ 診療報酬改定等をはじめ各種制度の変化に迅速に対応し、施設基準の取得等により増収を図る。	③ 診療報酬改定等をはじめ各種制度の変化に迅速に対応し、施設基準の取得等により増収を図る。	③ 診療報酬改定等をはじめ各種制度の変化に迅速に対応し、施設基準(特定集中治療室管理料3、特定集中治療室管理料4)の取得により増収を図った。	◇施設基準の取得等により増収を図った。	A	▽施設基準の届出の変更を行い、増収を図った。 ・救命救急入院料から特定集中治療室管理料に変更。 ・特定集中治療室管理料3から特定集中治療室管理料4に変更。	A																																																																																																																																																																																																																																							
④ 各種公的制度の活用等により未収金の発生を防止するとともに、未収金が発生した場合は多様な方法により早期回収に努める。	④ 各種公的制度の活用等により未収金の発生を防止するとともに、未収金が発生した場合は多様な方法により早期回収に努める。	④ 未収金の発生防止及び早期回収のため、個人医療未収金回収業務を弁護士法人に委託し、また、分納等による個人未収金の早期回収に対応するため、未収金徴収の専門職員を引き続き配置した。	◇未収金が発生した場合早期回収に努めた。	B	▽未収金の発生防止のため、個人医療未収金回収業務を委託により早期回収に努めた。 ▽未収金徴収の専門職員を引き続き配置し、分納等による個人未収金の早期回収に努めた。	A																																																																																																																																																																																																																																							
<b>(2) 費用の抑制</b>	<b>(2) 費用の抑制</b>	<b>(2) 費用の抑制</b>																																																																																																																																																																																																																																											
医療を取り巻く環境の変化や患者動向に対応し、職員給与費比率、材料費比率等の目標値を次のように定めるとともに、適切な取組みを行い費用の抑制に努める。 また、後発医薬品の数量シェアについては、国の設定した目標値の達成に努める。 なお、日本海八幡クリニック等診療所については、患者動向等を見ながら効率的な運営を図り費用の抑制に努める。 【営業収益に占める主な費用の比率の目標値】 <table border="1"> <tr> <th></th> <th>職員給与費</th> <th>材料費</th> <th>うち薬品費</th> </tr> <tr> <td>日本海総合病院 (法人管理部を含む。)</td> <td>総務省が公表している「地方公営企業決算状況調査」(前々年度)における全国500床以上の単字公立病院の平均値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>日本海酒田リハビリテーション病院</td> <td>70%以内</td> <td>4%以内</td> <td>3%以内</td> </tr> </table>		職員給与費	材料費	うち薬品費	日本海総合病院 (法人管理部を含む。)	総務省が公表している「地方公営企業決算状況調査」(前々年度)における全国500床以上の単字公立病院の平均値	—	—	日本海酒田リハビリテーション病院	70%以内	4%以内	3%以内	職員給与費比率、材料費比率等の目標値を次のように定め、費用の抑制に努める。 また、後発医薬品の数量シェアについては、国の設定した目標値の達成に努める。 【営業収益に占める主な費用の比率の目標値】 <table border="1"> <tr> <th></th> <th>職員給与費</th> <th>材料費</th> <th>うち薬品費</th> </tr> <tr> <td>日本海総合病院</td> <td>総務省が公表している「平成27年度地方公営企業決算状況調査」における全国500床以上の単字公立病院の平均値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>酒田医療センター</td> <td>70%以内</td> <td>4%以内</td> <td>3%以内</td> </tr> </table>		職員給与費	材料費	うち薬品費	日本海総合病院	総務省が公表している「平成27年度地方公営企業決算状況調査」における全国500床以上の単字公立病院の平均値	—	—	酒田医療センター	70%以内	4%以内	3%以内	職員給与費比率及び材料費比率等、費用の抑制に努めた。 また、後発医薬品の数量シェアについては、国による目標値の達成に努めた。 【営業収益に占める主な費用の比率】 <table border="1"> <tr> <th></th> <th>職員給与費</th> <th>材料費</th> <th>うち薬品費</th> </tr> <tr> <td>日本海総合病院 (法人管理部を含む。)</td> <td>43.8%</td> <td>26.9%</td> <td>14.3%</td> </tr> <tr> <td>酒田医療センター</td> <td>73.6%</td> <td>2.1%</td> <td>1.4%</td> </tr> </table>		職員給与費	材料費	うち薬品費	日本海総合病院 (法人管理部を含む。)	43.8%	26.9%	14.3%	酒田医療センター	73.6%	2.1%	1.4%	◇費用の抑制に努め、また、後発医薬品の数量シェアを国の設定した目標値の達成に努めた。	B	▽日本海総合病院は、職員給与費率43.8%、材料費比率26.9%、薬品費比率が14.3%とすべて目標を達成した。 <目標値> ・職員給与費率 46.6% ・材料比率 27.7% ・うち薬品費 14.9% ▽酒田医療センターは職員給与費率が73.6%で、目標値を達成できなかったが、材料費比率は2.1%、薬品費比率は1.4%と目標を達成した。	A																																																																																																																																																																																																			
	職員給与費	材料費	うち薬品費																																																																																																																																																																																																																																										
日本海総合病院 (法人管理部を含む。)	総務省が公表している「地方公営企業決算状況調査」(前々年度)における全国500床以上の単字公立病院の平均値	—	—																																																																																																																																																																																																																																										
日本海酒田リハビリテーション病院	70%以内	4%以内	3%以内																																																																																																																																																																																																																																										
	職員給与費	材料費	うち薬品費																																																																																																																																																																																																																																										
日本海総合病院	総務省が公表している「平成27年度地方公営企業決算状況調査」における全国500床以上の単字公立病院の平均値	—	—																																																																																																																																																																																																																																										
酒田医療センター	70%以内	4%以内	3%以内																																																																																																																																																																																																																																										
	職員給与費	材料費	うち薬品費																																																																																																																																																																																																																																										
日本海総合病院 (法人管理部を含む。)	43.8%	26.9%	14.3%																																																																																																																																																																																																																																										
酒田医療センター	73.6%	2.1%	1.4%																																																																																																																																																																																																																																										

第3期中期計画(平成28～31年度)※H30.3変更	平成29年度計画	平成29年度実績【実施状況及び業務運営の状況】	評価の視点	自己 評価	評価の理由等	H28 評価	評価	設立団体の評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
<b>第4 予算(人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画</b>	<b>第3 予算(人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画</b>	<b>収支の実績</b>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
<p>なお一層の効率的、効果的で持続可能な経営に努めるため、営業収支比率及び経常収支比率の目標値を定め、中期目標を着実に達成するための予算、収支計画及び資金計画を次のように見込む。</p> <p>【営業収支比率及び経常収支比率の目標値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>営業収支比率</th> <th>経常収支比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海総合病院(法人管理部を含む。)</td> <td>100%以上</td> <td>100%以上</td> </tr> <tr> <td>日本海酒田ハビリテーション病院</td> <td>80%以上</td> <td>80%以上</td> </tr> <tr> <td>日本海八幡クリニック等診療所</td> <td>55%以上</td> <td>100%以上</td> </tr> <tr> <td>病院機構全体</td> <td>100%以上</td> <td>100%以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H30.3変更</p> <p><b>1 予算</b></p> <p>(1)日本海総合病院、日本海酒田ハビリテーション病院(平成28～31年度)</p> <p>(単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>営業収益</td> <td>71,769</td> </tr> <tr> <td>  医療収益</td> <td>69,364</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金</td> <td>2,405</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>4,640</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金</td> <td>3,930</td> </tr> <tr> <td>  その他営業外収益</td> <td>710</td> </tr> <tr> <td>資本収入</td> <td>8,213</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金</td> <td>4,309</td> </tr> <tr> <td>  長期借入金</td> <td>3,904</td> </tr> <tr> <td>  その他資本収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他の収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>84,622</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td>65,359</td> </tr> <tr> <td>  医療費用</td> <td>64,624</td> </tr> <tr> <td>  給与費</td> <td>33,211</td> </tr> <tr> <td>  材料費</td> <td>17,528</td> </tr> <tr> <td>  経費</td> <td>11,281</td> </tr> <tr> <td>  その他医療費用</td> <td>2,604</td> </tr> <tr> <td>  一般管理費</td> <td>735</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>3,902</td> </tr> <tr> <td>資本支出</td> <td>11,257</td> </tr> <tr> <td>  建設改良費</td> <td>3,904</td> </tr> <tr> <td>  償還金</td> <td>7,353</td> </tr> <tr> <td>  その他の費用</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>80,518</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)期間中の経費細目の設定、給与設定、物価の変動等は考慮していない。</p> <p>【人件費の見積り】 期間中総額3,211百万円を支出する。 なお、当該金額は、法人の役員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。</p> <p>(2)日本海八幡クリニック等診療所(平成30～31年度)</p> <p>※H30.3追加</p> <p>(単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>営業収益</td> <td>431</td> </tr> <tr> <td>  医療収益</td> <td>431</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金</td> <td>361</td> </tr> <tr> <td>  その他営業外収益</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>資本収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>  長期借入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>  その他資本収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他の収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>831</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td>680</td> </tr> <tr> <td>  医療費用</td> <td>660</td> </tr> <tr> <td>  給与費</td> <td>464</td> </tr> <tr> <td>  材料費</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>  経費</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>  その他医療費用</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>  一般管理費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>資本支出</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>  建設改良費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>  償還金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>  その他の費用</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>701</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)期間中の経費細目の設定、給与設定、物価の変動等は考慮していない。</p>		営業収支比率	経常収支比率	日本海総合病院(法人管理部を含む。)	100%以上	100%以上	日本海酒田ハビリテーション病院	80%以上	80%以上	日本海八幡クリニック等診療所	55%以上	100%以上	病院機構全体	100%以上	100%以上	区 分	金 額	収入		営業収益	71,769	医療収益	69,364	運営費負担金	2,405	営業外収益	4,640	運営費負担金	3,930	その他営業外収益	710	資本収入	8,213	運営費負担金	4,309	長期借入金	3,904	その他資本収入	0	その他の収入	0	計	84,622	支出		営業費用	65,359	医療費用	64,624	給与費	33,211	材料費	17,528	経費	11,281	その他医療費用	2,604	一般管理費	735	営業外費用	3,902	資本支出	11,257	建設改良費	3,904	償還金	7,353	その他の費用	0	計	80,518	区 分	金 額	収入		営業収益	431	医療収益	431	運営費負担金	0	営業外収益	400	運営費負担金	361	その他営業外収益	39	資本収入	0	運営費負担金	0	長期借入金	0	その他資本収入	0	その他の収入	0	計	831	支出		営業費用	680	医療費用	660	給与費	464	材料費	77	経費	113	その他医療費用	6	一般管理費	0	営業外費用	41	資本支出	0	建設改良費	0	償還金	0	その他の費用	0	計	701	<p>【営業収支比率及び経常収支比率の目標値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>営業収支比率</th> <th>経常収支比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海総合病院</td> <td>100%以上</td> <td>100%以上</td> </tr> <tr> <td>酒田医療センター</td> <td>80%以上</td> <td>80%以上</td> </tr> <tr> <td>機構全体</td> <td>100%以上</td> <td>100%以上</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>1 予算(平成29年度)</b></p> <p>(単位:百万円)</p> <p>1 予算(平成29年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>日本海総合病院</th> <th>酒田医療センター</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>20,695</td> <td>1,296</td> <td>21,991</td> </tr> <tr> <td>  営業収益</td> <td>17,708</td> <td>1,101</td> <td>18,809</td> </tr> <tr> <td>  医療収益</td> <td>17,146</td> <td>1,086</td> <td>18,232</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金</td> <td>562</td> <td>15</td> <td>577</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>883</td> <td>109</td> <td>992</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金等</td> <td>718</td> <td>100</td> <td>818</td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>165</td> <td>9</td> <td>174</td> </tr> <tr> <td>臨時利益</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>資本収入</td> <td>2,104</td> <td>86</td> <td>2,190</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金</td> <td>1,225</td> <td>69</td> <td>1,294</td> </tr> <tr> <td>  長期借入金</td> <td>878</td> <td>17</td> <td>895</td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>20,268</td> <td>1,292</td> <td>21,560</td> </tr> <tr> <td>  営業費用</td> <td>16,567</td> <td>1,132</td> <td>17,699</td> </tr> <tr> <td>  医療費用</td> <td>16,389</td> <td>1,132</td> <td>17,521</td> </tr> <tr> <td>  給与費</td> <td>8,406</td> <td>784</td> <td>9,190</td> </tr> <tr> <td>  材料費</td> <td>5,076</td> <td>28</td> <td>5,104</td> </tr> <tr> <td>  経費</td> <td>2,809</td> <td>312</td> <td>3,121</td> </tr> <tr> <td>  研究研修費</td> <td>98</td> <td>8</td> <td>106</td> </tr> <tr> <td>  一般管理費</td> <td>178</td> <td>--</td> <td>178</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>278</td> <td>14</td> <td>292</td> </tr> <tr> <td>臨時損失</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>資本支出</td> <td>3,423</td> <td>146</td> <td>3,569</td> </tr> <tr> <td>  建設改良費</td> <td>1,344</td> <td>34</td> <td>1,378</td> </tr> <tr> <td>  長期借入金返還</td> <td>2,069</td> <td>112</td> <td>2,181</td> </tr> <tr> <td>  奨学金貸付</td> <td>9</td> <td>--</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【人件費の見積り】 総額246百万円を支出する。 なお、当該金額は、法人の役員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。</p>		営業収支比率	経常収支比率	日本海総合病院	100%以上	100%以上	酒田医療センター	80%以上	80%以上	機構全体	100%以上	100%以上	区 分	日本海総合病院	酒田医療センター	合 計	収入	20,695	1,296	21,991	営業収益	17,708	1,101	18,809	医療収益	17,146	1,086	18,232	運営費負担金	562	15	577	営業外収益	883	109	992	運営費負担金等	718	100	818	その他	165	9	174	臨時利益	0	0	0	資本収入	2,104	86	2,190	運営費負担金	1,225	69	1,294	長期借入金	878	17	895	その他	1	0	1	支出	20,268	1,292	21,560	営業費用	16,567	1,132	17,699	医療費用	16,389	1,132	17,521	給与費	8,406	784	9,190	材料費	5,076	28	5,104	経費	2,809	312	3,121	研究研修費	98	8	106	一般管理費	178	--	178	営業外費用	278	14	292	臨時損失	0	0	0	資本支出	3,423	146	3,569	建設改良費	1,344	34	1,378	長期借入金返還	2,069	112	2,181	奨学金貸付	9	--	9	その他	1	0	1	<p>収支は次のとおりであった。</p> <p>【営業収支比率及び経常収支比率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>営業収支比率</th> <th>経常収支比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海総合病院(法人管理部を含む。)</td> <td>105.8%</td> <td>105.3%</td> </tr> <tr> <td>酒田医療センター</td> <td>85.4%</td> <td>90.3%</td> </tr> <tr> <td>病院機構全体</td> <td>104.5%</td> <td>104.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>1 予算及び決算 (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>予算額(当初)</th> <th>決算額</th> <th>差額(決算-予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>21,991</td> <td>23,467</td> <td>1,476</td> </tr> <tr> <td>  営業収益</td> <td>18,809</td> <td>20,314</td> <td>1,505</td> </tr> <tr> <td>  医療収入</td> <td>18,232</td> <td>19,756</td> <td>1,524</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金</td> <td>577</td> <td>558</td> <td>△19</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>992</td> <td>1,029</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金等</td> <td>818</td> <td>820</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>174</td> <td>209</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>資本収入</td> <td>2,190</td> <td>2,110</td> <td>△80</td> </tr> <tr> <td>  金銭出資の受入</td> <td>1,294</td> <td>1,295</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>  長期借入金</td> <td>895</td> <td>811</td> <td>△84</td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他の収入</td> <td>0</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>予算額(当初)</th> <th>決算額</th> <th>差額(決算-予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支出</td> <td>21,560</td> <td>22,381</td> <td>821</td> </tr> <tr> <td>  営業費用</td> <td>17,699</td> <td>18,269</td> <td>570</td> </tr> <tr> <td>  医療費用</td> <td>17,521</td> <td>18,095</td> <td>574</td> </tr> <tr> <td>  給与費</td> <td>9,190</td> <td>9,404</td> <td>214</td> </tr> <tr> <td>  材料費</td> <td>5,104</td> <td>5,607</td> <td>503</td> </tr> <tr> <td>  経費</td> <td>3,121</td> <td>2,988</td> <td>△133</td> </tr> <tr> <td>  研究研修費</td> <td>106</td> <td>96</td> <td>△10</td> </tr> <tr> <td>  一般管理費</td> <td>178</td> <td>174</td> <td>△4</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>292</td> <td>287</td> <td>△5</td> </tr> <tr> <td>資本支出</td> <td>3,568</td> <td>3,824</td> <td>256</td> </tr> <tr> <td>  建設改良費</td> <td>1,378</td> <td>1,634</td> <td>256</td> </tr> <tr> <td>  長期借入金返還</td> <td>2,181</td> <td>2,181</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>  奨学金貸付</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>  その他の費用</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※項目毎に端数処理をしているため、合計額が一致しない項目がある。</p>		営業収支比率	経常収支比率	日本海総合病院(法人管理部を含む。)	105.8%	105.3%	酒田医療センター	85.4%	90.3%	病院機構全体	104.5%	104.3%	区 分	予算額(当初)	決算額	差額(決算-予算)	収入	21,991	23,467	1,476	営業収益	18,809	20,314	1,505	医療収入	18,232	19,756	1,524	運営費負担金	577	558	△19	営業外収益	992	1,029	37	運営費負担金等	818	820	2	その他	174	209	35	資本収入	2,190	2,110	△80	金銭出資の受入	1,294	1,295	1	長期借入金	895	811	△84	その他	1	4	3	その他の収入	0	14	14	区 分	予算額(当初)	決算額	差額(決算-予算)	支出	21,560	22,381	821	営業費用	17,699	18,269	570	医療費用	17,521	18,095	574	給与費	9,190	9,404	214	材料費	5,104	5,607	503	経費	3,121	2,988	△133	研究研修費	106	96	△10	一般管理費	178	174	△4	営業外費用	292	287	△5	資本支出	3,568	3,824	256	建設改良費	1,378	1,634	256	長期借入金返還	2,181	2,181	0	奨学金貸付	9	9	0	その他の費用	1	1	0		A	<p>▽日本海総合病院、酒田医療センター共に、営業収支比率、経常収支比率の目標を達成し、法人全体で総収益213億22百万円に対し、総費用205億15百万円で、当期純利益は8億8百万円となり、前年比で2億21百万円の増加となった。</p>	A		
	営業収支比率	経常収支比率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
日本海総合病院(法人管理部を含む。)	100%以上	100%以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
日本海酒田ハビリテーション病院	80%以上	80%以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
日本海八幡クリニック等診療所	55%以上	100%以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
病院機構全体	100%以上	100%以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
区 分	金 額																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
収入																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
営業収益	71,769																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
医療収益	69,364																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
運営費負担金	2,405																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
営業外収益	4,640																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
運営費負担金	3,930																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
その他営業外収益	710																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
資本収入	8,213																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
運営費負担金	4,309																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
長期借入金	3,904																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
その他資本収入	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
その他の収入	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
計	84,622																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
支出																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
営業費用	65,359																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
医療費用	64,624																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
給与費	33,211																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
材料費	17,528																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
経費	11,281																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
その他医療費用	2,604																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
一般管理費	735																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
営業外費用	3,902																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
資本支出	11,257																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
建設改良費	3,904																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
償還金	7,353																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
その他の費用	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
計	80,518																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
区 分	金 額																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
収入																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
営業収益	431																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
医療収益	431																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
運営費負担金	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
営業外収益	400																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
運営費負担金	361																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
その他営業外収益	39																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
資本収入	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
運営費負担金	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
長期借入金	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
その他資本収入	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
その他の収入	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
計	831																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
支出																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
営業費用	680																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
医療費用	660																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
給与費	464																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
材料費	77																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
経費	113																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
その他医療費用	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
一般管理費	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
営業外費用	41																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
資本支出	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
建設改良費	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
償還金	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
その他の費用	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
計	701																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	営業収支比率	経常収支比率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
日本海総合病院	100%以上	100%以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
酒田医療センター	80%以上	80%以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
機構全体	100%以上	100%以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
区 分	日本海総合病院	酒田医療センター	合 計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
収入	20,695	1,296	21,991																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
営業収益	17,708	1,101	18,809																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
医療収益	17,146	1,086	18,232																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
運営費負担金	562	15	577																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
営業外収益	883	109	992																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
運営費負担金等	718	100	818																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
その他	165	9	174																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
臨時利益	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
資本収入	2,104	86	2,190																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
運営費負担金	1,225	69	1,294																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
長期借入金	878	17	895																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
その他	1	0	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
支出	20,268	1,292	21,560																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
営業費用	16,567	1,132	17,699																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
医療費用	16,389	1,132	17,521																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
給与費	8,406	784	9,190																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
材料費	5,076	28	5,104																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
経費	2,809	312	3,121																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
研究研修費	98	8	106																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
一般管理費	178	--	178																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
営業外費用	278	14	292																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
臨時損失	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
資本支出	3,423	146	3,569																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
建設改良費	1,344	34	1,378																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
長期借入金返還	2,069	112	2,181																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
奨学金貸付	9	--	9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
その他	1	0	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	営業収支比率	経常収支比率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
日本海総合病院(法人管理部を含む。)	105.8%	105.3%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
酒田医療センター	85.4%	90.3%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
病院機構全体	104.5%	104.3%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
区 分	予算額(当初)	決算額	差額(決算-予算)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
収入	21,991	23,467	1,476																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
営業収益	18,809	20,314	1,505																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
医療収入	18,232	19,756	1,524																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
運営費負担金	577	558	△19																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
営業外収益	992	1,029	37																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
運営費負担金等	818	820	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
その他	174	209	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
資本収入	2,190	2,110	△80																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
金銭出資の受入	1,294	1,295	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
長期借入金	895	811	△84																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
その他	1	4	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
その他の収入	0	14	14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
区 分	予算額(当初)	決算額	差額(決算-予算)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
支出	21,560	22,381	821																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
営業費用	17,699	18,269	570																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
医療費用	17,521	18,095	574																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
給与費	9,190	9,404	214																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
材料費	5,104	5,607	503																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
経費	3,121	2,988	△133																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
研究研修費	106	96	△10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
一般管理費	178	174	△4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
営業外費用	292	287	△5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
資本支出	3,568	3,824	256																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
建設改良費	1,378	1,634	256																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
長期借入金返還	2,181	2,181	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
奨学金貸付	9	9	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
その他の費用	1	1	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												



第3期中期計画(平成28~31年度)※H30.3変更	平成29年度計画	平成29年度実績【実施状況及び業務運営の状況】	評価の視点	自己 評価	評価の理由等	H28 評価	評価	設立団体の評価																																																																																																																																																																																																																																																																																														
<p><b>2 収支計画</b> (1)日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院 (平成28~31年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">(単位:百万円)</th> </tr> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収入</td><td>76,705</td></tr> <tr><td>営業収益</td><td>17,769</td></tr> <tr><td>  医療収益</td><td>69,364</td></tr> <tr><td>  運営費負担金</td><td>2,405</td></tr> <tr><td>営業外収益</td><td>4,640</td></tr> <tr><td>  運営費負担金</td><td>3,930</td></tr> <tr><td>  その他営業外収益</td><td>710</td></tr> <tr><td>臨時利益</td><td>296</td></tr> <tr><td>支出</td><td>75,369</td></tr> <tr><td>  営業費用</td><td>70,569</td></tr> <tr><td>  医療費用</td><td>69,834</td></tr> <tr><td>  給与費</td><td>33,211</td></tr> <tr><td>  材料費</td><td>17,528</td></tr> <tr><td>  経費</td><td>11,281</td></tr> <tr><td>  減価償却費</td><td>5,210</td></tr> <tr><td>  その他医療費用</td><td>2,604</td></tr> <tr><td>  一般管理費</td><td>735</td></tr> <tr><td>  営業外費用</td><td>3,902</td></tr> <tr><td>  臨時損失</td><td>898</td></tr> <tr><td>  純利益</td><td>1,336</td></tr> </tbody> </table> <p>(注)期間中の診療報酬の改定、給与改定、物価の変動等は考慮していない。</p> <p>(2)日本海八幡クリニック等診療所(平成30~31年度) ※H30.3追加</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">(単位:百万円)</th> </tr> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収入</td><td>831</td></tr> <tr><td>  営業収益</td><td>431</td></tr> <tr><td>  医療収益</td><td>431</td></tr> <tr><td>  運営費負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>  営業外収益</td><td>400</td></tr> <tr><td>  運営費負担金</td><td>361</td></tr> <tr><td>  その他営業外収益</td><td>39</td></tr> <tr><td>  臨時利益</td><td>0</td></tr> <tr><td>支出</td><td>826</td></tr> <tr><td>  営業費用</td><td>785</td></tr> <tr><td>  医療費用</td><td>785</td></tr> <tr><td>  給与費</td><td>464</td></tr> <tr><td>  材料費</td><td>77</td></tr> <tr><td>  経費</td><td>113</td></tr> <tr><td>  減価償却費</td><td>85</td></tr> <tr><td>  その他医療費用</td><td>46</td></tr> <tr><td>  一般管理費</td><td>0</td></tr> <tr><td>  営業外費用</td><td>41</td></tr> <tr><td>  臨時損失</td><td>0</td></tr> <tr><td>  純利益</td><td>5</td></tr> </tbody> </table> <p>(注)期間中の診療報酬の改定、給与改定、物価の変動等は考慮していない。</p>	(単位:百万円)		区 分	金 額	収入	76,705	営業収益	17,769	医療収益	69,364	運営費負担金	2,405	営業外収益	4,640	運営費負担金	3,930	その他営業外収益	710	臨時利益	296	支出	75,369	営業費用	70,569	医療費用	69,834	給与費	33,211	材料費	17,528	経費	11,281	減価償却費	5,210	その他医療費用	2,604	一般管理費	735	営業外費用	3,902	臨時損失	898	純利益	1,336	(単位:百万円)		区 分	金 額	収入	831	営業収益	431	医療収益	431	運営費負担金	0	営業外収益	400	運営費負担金	361	その他営業外収益	39	臨時利益	0	支出	826	営業費用	785	医療費用	785	給与費	464	材料費	77	経費	113	減価償却費	85	その他医療費用	46	一般管理費	0	営業外費用	41	臨時損失	0	純利益	5	<p><b>2 収支計画(平成29年度)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">(単位:百万円)</th> </tr> <tr> <th>区 分</th> <th>日本海総合病院</th> <th>酒田医療セナ-</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収入</td><td>18,561</td><td>1,208</td><td>19,769</td></tr> <tr><td>  営業収益</td><td>17,687</td><td>1,100</td><td>18,787</td></tr> <tr><td>  医療収益</td><td>17,117</td><td>1,085</td><td>18,202</td></tr> <tr><td>  運営費負担金収益</td><td>562</td><td>15</td><td>577</td></tr> <tr><td>  資産売却運営費負担金戻入</td><td>8</td><td>0</td><td>8</td></tr> <tr><td>  営業外収益</td><td>874</td><td>108</td><td>982</td></tr> <tr><td>  運営費負担金収益</td><td>718</td><td>100</td><td>818</td></tr> <tr><td>  その他営業外収益</td><td>156</td><td>8</td><td>164</td></tr> <tr><td>  臨時利益</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>支出</td><td>18,447</td><td>1,304</td><td>19,751</td></tr> <tr><td>  営業費用</td><td>17,507</td><td>1,265</td><td>18,772</td></tr> <tr><td>  医療費用</td><td>17,342</td><td>1,265</td><td>18,607</td></tr> <tr><td>  一般管理費</td><td>165</td><td>-</td><td>165</td></tr> <tr><td>  営業外費用</td><td>930</td><td>39</td><td>969</td></tr> <tr><td>  臨時損失</td><td>10</td><td>0</td><td>10</td></tr> <tr><td>純 利 益</td><td>114</td><td>△ 96</td><td>18</td></tr> </tbody> </table> <p>▽H30.3月変更時の追加項目。 ▽H30年度からの事業のため、H29年度計画に該当しない。 ※H30.4月に酒田市から移管統合された「日本海八幡クリニック等診療所」に関する事項。</p>	(単位:百万円)				区 分	日本海総合病院	酒田医療セナ-	合 計	収入	18,561	1,208	19,769	営業収益	17,687	1,100	18,787	医療収益	17,117	1,085	18,202	運営費負担金収益	562	15	577	資産売却運営費負担金戻入	8	0	8	営業外収益	874	108	982	運営費負担金収益	718	100	818	その他営業外収益	156	8	164	臨時利益	0	0	0	支出	18,447	1,304	19,751	営業費用	17,507	1,265	18,772	医療費用	17,342	1,265	18,607	一般管理費	165	-	165	営業外費用	930	39	969	臨時損失	10	0	10	純 利 益	114	△ 96	18	<p><b>2 収支計画</b> (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>予算額 (当初)</th> <th>決算額</th> <th>差額 (決算-予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収入</td><td>19,769</td><td>21,322</td><td>1,553</td></tr> <tr><td>  営業収益</td><td>18,787</td><td>20,290</td><td>1,503</td></tr> <tr><td>  医療収益</td><td>18,202</td><td>19,724</td><td>1,522</td></tr> <tr><td>  運営費負担金収益</td><td>577</td><td>568</td><td>△19</td></tr> <tr><td>  資産売却補助金等戻入</td><td>8</td><td>8</td><td>0</td></tr> <tr><td>  営業外収益</td><td>982</td><td>1,019</td><td>37</td></tr> <tr><td>  運営費負担金収益</td><td>818</td><td>820</td><td>2</td></tr> <tr><td>  その他営業外収益</td><td>164</td><td>199</td><td>35</td></tr> <tr><td>  その他の収入</td><td>0</td><td>13</td><td>13</td></tr> <tr><td>支出</td><td>19,751</td><td>20,514</td><td>763</td></tr> <tr><td>  営業費用</td><td>18,772</td><td>19,421</td><td>649</td></tr> <tr><td>  医療費用</td><td>18,607</td><td>19,259</td><td>652</td></tr> <tr><td>  一般管理費</td><td>165</td><td>162</td><td>△3</td></tr> <tr><td>  営業外費用</td><td>969</td><td>1,008</td><td>39</td></tr> <tr><td>  その他の費用</td><td>10</td><td>85</td><td>75</td></tr> <tr><td>純 利 益</td><td>18</td><td>808</td><td>790</td></tr> </tbody> </table> <p>▽同左</p>	区 分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算-予算)	収入	19,769	21,322	1,553	営業収益	18,787	20,290	1,503	医療収益	18,202	19,724	1,522	運営費負担金収益	577	568	△19	資産売却補助金等戻入	8	8	0	営業外収益	982	1,019	37	運営費負担金収益	818	820	2	その他営業外収益	164	199	35	その他の収入	0	13	13	支出	19,751	20,514	763	営業費用	18,772	19,421	649	医療費用	18,607	19,259	652	一般管理費	165	162	△3	営業外費用	969	1,008	39	その他の費用	10	85	75	純 利 益	18	808	790																																																																
(単位:百万円)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
区 分	金 額																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
収入	76,705																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
営業収益	17,769																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
医療収益	69,364																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
運営費負担金	2,405																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
営業外収益	4,640																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
運営費負担金	3,930																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
その他営業外収益	710																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
臨時利益	296																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
支出	75,369																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
営業費用	70,569																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
医療費用	69,834																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
給与費	33,211																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
材料費	17,528																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
経費	11,281																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
減価償却費	5,210																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
その他医療費用	2,604																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
一般管理費	735																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
営業外費用	3,902																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
臨時損失	898																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
純利益	1,336																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
(単位:百万円)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
区 分	金 額																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
収入	831																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
営業収益	431																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
医療収益	431																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
運営費負担金	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
営業外収益	400																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
運営費負担金	361																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
その他営業外収益	39																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
臨時利益	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
支出	826																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
営業費用	785																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
医療費用	785																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
給与費	464																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
材料費	77																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
経費	113																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
減価償却費	85																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
その他医療費用	46																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
一般管理費	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
営業外費用	41																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
臨時損失	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
純利益	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
(単位:百万円)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
区 分	日本海総合病院	酒田医療セナ-	合 計																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
収入	18,561	1,208	19,769																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
営業収益	17,687	1,100	18,787																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
医療収益	17,117	1,085	18,202																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
運営費負担金収益	562	15	577																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
資産売却運営費負担金戻入	8	0	8																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
営業外収益	874	108	982																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
運営費負担金収益	718	100	818																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
その他営業外収益	156	8	164																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
臨時利益	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
支出	18,447	1,304	19,751																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
営業費用	17,507	1,265	18,772																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
医療費用	17,342	1,265	18,607																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
一般管理費	165	-	165																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
営業外費用	930	39	969																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
臨時損失	10	0	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
純 利 益	114	△ 96	18																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
区 分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算-予算)																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
収入	19,769	21,322	1,553																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
営業収益	18,787	20,290	1,503																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
医療収益	18,202	19,724	1,522																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
運営費負担金収益	577	568	△19																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
資産売却補助金等戻入	8	8	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
営業外収益	982	1,019	37																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
運営費負担金収益	818	820	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
その他営業外収益	164	199	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
その他の収入	0	13	13																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
支出	19,751	20,514	763																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
営業費用	18,772	19,421	649																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
医療費用	18,607	19,259	652																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
一般管理費	165	162	△3																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
営業外費用	969	1,008	39																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
その他の費用	10	85	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
純 利 益	18	808	790																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
<p><b>3 資金計画(平成28~31年度)</b> (1)日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">(単位:百万円)</th> </tr> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>資金収入</td><td>88,285</td></tr> <tr><td>  業務活動による収入</td><td>76,306</td></tr> <tr><td>  診療業務による収入</td><td>69,364</td></tr> <tr><td>  運営費負担金による収入</td><td>6,335</td></tr> <tr><td>  その他の業務活動による収入</td><td>607</td></tr> <tr><td>  投資活動による収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>  運営費負担金による収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>  その他の投資活動による収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>財務活動による収入</td><td>8,213</td></tr> <tr><td>  長期借入による収入</td><td>3,904</td></tr> <tr><td>  その他の財務活動による収入</td><td>4,309</td></tr> <tr><td>前期中期目標の期間よりの繰越金</td><td>3,866</td></tr> <tr><td>資金支出</td><td>88,285</td></tr> <tr><td>  業務活動による支出</td><td>66,275</td></tr> <tr><td>  給与費支出</td><td>32,211</td></tr> <tr><td>  材料費支出</td><td>17,528</td></tr> <tr><td>  その他の業務活動による支出</td><td>15,536</td></tr> <tr><td>  投資活動による支出</td><td>6,687</td></tr> <tr><td>  有形固定資産の取得による支出</td><td>3,904</td></tr> <tr><td>  その他の投資活動による支出</td><td>2,783</td></tr> <tr><td>  財務活動による支出</td><td>7,353</td></tr> <tr><td>  長期借入の返済による支出</td><td>3,533</td></tr> <tr><td>  移行前地方債償還債務の償還による支出</td><td>3,820</td></tr> <tr><td>  その他の財務活動による支出</td><td>0</td></tr> <tr><td>  次期中期目標期間への繰越金</td><td>7,970</td></tr> </tbody> </table> <p>(注)期間中の診療報酬の改定、給与改定、物価の変動等は考慮していない。</p>	(単位:百万円)		区 分	金 額	資金収入	88,285	業務活動による収入	76,306	診療業務による収入	69,364	運営費負担金による収入	6,335	その他の業務活動による収入	607	投資活動による収入	0	運営費負担金による収入	0	その他の投資活動による収入	0	財務活動による収入	8,213	長期借入による収入	3,904	その他の財務活動による収入	4,309	前期中期目標の期間よりの繰越金	3,866	資金支出	88,285	業務活動による支出	66,275	給与費支出	32,211	材料費支出	17,528	その他の業務活動による支出	15,536	投資活動による支出	6,687	有形固定資産の取得による支出	3,904	その他の投資活動による支出	2,783	財務活動による支出	7,353	長期借入の返済による支出	3,533	移行前地方債償還債務の償還による支出	3,820	その他の財務活動による支出	0	次期中期目標期間への繰越金	7,970	<p><b>3 資金計画(平成29年度)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">(単位:百万円)</th> </tr> <tr> <th>区 分</th> <th>日本海総合病院</th> <th>酒田医療セナ-</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>資金収入</td><td>30,636</td><td>3,540</td><td>34,176</td></tr> <tr><td>  業務活動による収入</td><td>18,599</td><td>1,210</td><td>19,799</td></tr> <tr><td>  診療業務による収入</td><td>17,146</td><td>1,085</td><td>18,231</td></tr> <tr><td>  運営費負担金による収入</td><td>1,280</td><td>116</td><td>1,396</td></tr> <tr><td>  補助金等収入</td><td>31</td><td>0</td><td>31</td></tr> <tr><td>  その他の業務活動による収入</td><td>132</td><td>9</td><td>141</td></tr> <tr><td>  投資活動による収入</td><td>6,000</td><td>2,000</td><td>8,000</td></tr> <tr><td>  有価証券の売却による収入</td><td>6,000</td><td>2,000</td><td>8,000</td></tr> <tr><td>  定期預金の払出による収入</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>財務活動による収入</td><td>2,102</td><td>86</td><td>2,188</td></tr> <tr><td>  長期借入による収入</td><td>877</td><td>17</td><td>894</td></tr> <tr><td>  金銭出資の受入による収入</td><td>1,225</td><td>69</td><td>1,294</td></tr> <tr><td>前年度からの繰越金</td><td>3,945</td><td>244</td><td>4,189</td></tr> <tr><td>資金支出</td><td>26,268</td><td>3,293</td><td>29,561</td></tr> <tr><td>  業務活動による支出</td><td>16,845</td><td>1,147</td><td>17,992</td></tr> <tr><td>  人件費支出</td><td>8,479</td><td>785</td><td>9,264</td></tr> <tr><td>  材料費支出</td><td>5,076</td><td>28</td><td>5,104</td></tr> <tr><td>  その他の業務活動による支出</td><td>3,290</td><td>334</td><td>3,624</td></tr> <tr><td>  投資活動による支出</td><td>7,354</td><td>2,034</td><td>9,388</td></tr> <tr><td>  有形固定資産の取得による支出</td><td>1,344</td><td>34</td><td>1,378</td></tr> <tr><td>  有価証券の取得による支出</td><td>6,000</td><td>2,000</td><td>8,000</td></tr> <tr><td>  定期預金の預入による支出</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>  奨学金の貸付による支出</td><td>10</td><td>0</td><td>10</td></tr> <tr><td>財務活動による支出</td><td>2,069</td><td>112</td><td>2,181</td></tr> <tr><td>  長期借入の返済による支出</td><td>921</td><td>32</td><td>953</td></tr> <tr><td>  移行前地方債償還債務等の償還による支出</td><td>1,148</td><td>80</td><td>1,228</td></tr> <tr><td>翌年度への繰越金</td><td>4,368</td><td>247</td><td>4,615</td></tr> </tbody> </table>	(単位:百万円)				区 分	日本海総合病院	酒田医療セナ-	合 計	資金収入	30,636	3,540	34,176	業務活動による収入	18,599	1,210	19,799	診療業務による収入	17,146	1,085	18,231	運営費負担金による収入	1,280	116	1,396	補助金等収入	31	0	31	その他の業務活動による収入	132	9	141	投資活動による収入	6,000	2,000	8,000	有価証券の売却による収入	6,000	2,000	8,000	定期預金の払出による収入	0	0	0	財務活動による収入	2,102	86	2,188	長期借入による収入	877	17	894	金銭出資の受入による収入	1,225	69	1,294	前年度からの繰越金	3,945	244	4,189	資金支出	26,268	3,293	29,561	業務活動による支出	16,845	1,147	17,992	人件費支出	8,479	785	9,264	材料費支出	5,076	28	5,104	その他の業務活動による支出	3,290	334	3,624	投資活動による支出	7,354	2,034	9,388	有形固定資産の取得による支出	1,344	34	1,378	有価証券の取得による支出	6,000	2,000	8,000	定期預金の預入による支出	0	0	0	奨学金の貸付による支出	10	0	10	財務活動による支出	2,069	112	2,181	長期借入の返済による支出	921	32	953	移行前地方債償還債務等の償還による支出	1,148	80	1,228	翌年度への繰越金	4,368	247	4,615	<p><b>3 資金計画</b> (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>予算額 (当初)</th> <th>決算額</th> <th>差額 (決算-予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>資金収入</td><td>34,176</td><td>36,398</td><td>2,222</td></tr> <tr><td>  業務活動による収入</td><td>19,799</td><td>20,958</td><td>1,159</td></tr> <tr><td>  診療業務による収入</td><td>18,231</td><td>19,380</td><td>1,149</td></tr> <tr><td>  運営費負担金による収入</td><td>1,396</td><td>1,378</td><td>△18</td></tr> <tr><td>  補助金等収入</td><td>31</td><td>49</td><td>18</td></tr> <tr><td>  その他の業務活動による収入</td><td>141</td><td>151</td><td>10</td></tr> <tr><td>  投資活動による収入</td><td>8,000</td><td>9,510</td><td>1,510</td></tr> <tr><td>  有価証券の売却による収入</td><td>8,000</td><td>9,500</td><td>1,500</td></tr> <tr><td>  補助金等収入</td><td>0</td><td>5</td><td>5</td></tr> <tr><td>  その他の投資活動による収入</td><td>0</td><td>5</td><td>5</td></tr> <tr><td>財務活動による収入</td><td>2,188</td><td>2,106</td><td>△82</td></tr> <tr><td>  長期借入による収入</td><td>894</td><td>811</td><td>△83</td></tr> <tr><td>  金銭出資の受入による収入</td><td>1,294</td><td>1,295</td><td>1</td></tr> <tr><td>前年度からの繰越金</td><td>4,189</td><td>3,824</td><td>△365</td></tr> <tr><td>資金支出</td><td>29,561</td><td>29,262</td><td>265</td></tr> <tr><td>  業務活動による支出</td><td>17,992</td><td>17,709</td><td>△283</td></tr> <tr><td>  給与費支出</td><td>9,264</td><td>9,557</td><td>293</td></tr> <tr><td>  材料費支出</td><td>5,104</td><td>5,614</td><td>510</td></tr> <tr><td>  その他の業務活動による支出</td><td>3,624</td><td>2,538</td><td>△1,086</td></tr> <tr><td>  投資活動による支出</td><td>9,388</td><td>9,936</td><td>548</td></tr> <tr><td>  有形固定資産の取得による支出</td><td>1,378</td><td>1,884</td><td>506</td></tr> <tr><td>  無形固定資産の取得による支出</td><td>0</td><td>142</td><td>142</td></tr> <tr><td>  有価証券の取得による支出</td><td>8,000</td><td>7,900</td><td>△100</td></tr> <tr><td>  その他の投資活動による支出</td><td>10</td><td>10</td><td>0</td></tr> <tr><td>財務活動による支出</td><td>2,181</td><td>2,181</td><td>0</td></tr> <tr><td>  長期借入の返済による支出</td><td>953</td><td>953</td><td>0</td></tr> <tr><td>  移行前地方債償還債務等の償還による支出</td><td>1,228</td><td>1,228</td><td>0</td></tr> <tr><td>翌年度への繰越金</td><td>4,615</td><td>6,572</td><td>1,957</td></tr> </tbody> </table>	区 分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算-予算)	資金収入	34,176	36,398	2,222	業務活動による収入	19,799	20,958	1,159	診療業務による収入	18,231	19,380	1,149	運営費負担金による収入	1,396	1,378	△18	補助金等収入	31	49	18	その他の業務活動による収入	141	151	10	投資活動による収入	8,000	9,510	1,510	有価証券の売却による収入	8,000	9,500	1,500	補助金等収入	0	5	5	その他の投資活動による収入	0	5	5	財務活動による収入	2,188	2,106	△82	長期借入による収入	894	811	△83	金銭出資の受入による収入	1,294	1,295	1	前年度からの繰越金	4,189	3,824	△365	資金支出	29,561	29,262	265	業務活動による支出	17,992	17,709	△283	給与費支出	9,264	9,557	293	材料費支出	5,104	5,614	510	その他の業務活動による支出	3,624	2,538	△1,086	投資活動による支出	9,388	9,936	548	有形固定資産の取得による支出	1,378	1,884	506	無形固定資産の取得による支出	0	142	142	有価証券の取得による支出	8,000	7,900	△100	その他の投資活動による支出	10	10	0	財務活動による支出	2,181	2,181	0	長期借入の返済による支出	953	953	0	移行前地方債償還債務等の償還による支出	1,228	1,228	0	翌年度への繰越金	4,615	6,572	1,957						
(単位:百万円)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
区 分	金 額																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
資金収入	88,285																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
業務活動による収入	76,306																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
診療業務による収入	69,364																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
運営費負担金による収入	6,335																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
その他の業務活動による収入	607																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
投資活動による収入	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
運営費負担金による収入	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
その他の投資活動による収入	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
財務活動による収入	8,213																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
長期借入による収入	3,904																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
その他の財務活動による収入	4,309																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
前期中期目標の期間よりの繰越金	3,866																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
資金支出	88,285																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
業務活動による支出	66,275																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
給与費支出	32,211																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
材料費支出	17,528																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
その他の業務活動による支出	15,536																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
投資活動による支出	6,687																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
有形固定資産の取得による支出	3,904																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
その他の投資活動による支出	2,783																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
財務活動による支出	7,353																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
長期借入の返済による支出	3,533																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
移行前地方債償還債務の償還による支出	3,820																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
その他の財務活動による支出	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
次期中期目標期間への繰越金	7,970																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
(単位:百万円)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
区 分	日本海総合病院	酒田医療セナ-	合 計																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
資金収入	30,636	3,540	34,176																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
業務活動による収入	18,599	1,210	19,799																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
診療業務による収入	17,146	1,085	18,231																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
運営費負担金による収入	1,280	116	1,396																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
補助金等収入	31	0	31																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
その他の業務活動による収入	132	9	141																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
投資活動による収入	6,000	2,000	8,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
有価証券の売却による収入	6,000	2,000	8,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
定期預金の払出による収入	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
財務活動による収入	2,102	86	2,188																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
長期借入による収入	877	17	894																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
金銭出資の受入による収入	1,225	69	1,294																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
前年度からの繰越金	3,945	244	4,189																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
資金支出	26,268	3,293	29,561																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
業務活動による支出	16,845	1,147	17,992																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
人件費支出	8,479	785	9,264																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
材料費支出	5,076	28	5,104																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
その他の業務活動による支出	3,290	334	3,624																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
投資活動による支出	7,354	2,034	9,388																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
有形固定資産の取得による支出	1,344	34	1,378																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
有価証券の取得による支出	6,000	2,000	8,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
定期預金の預入による支出	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
奨学金の貸付による支出	10	0	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
財務活動による支出	2,069	112	2,181																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
長期借入の返済による支出	921	32	953																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
移行前地方債償還債務等の償還による支出	1,148	80	1,228																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
翌年度への繰越金	4,368	247	4,615																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
区 分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算-予算)																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
資金収入	34,176	36,398	2,222																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
業務活動による収入	19,799	20,958	1,159																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
診療業務による収入	18,231	19,380	1,149																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
運営費負担金による収入	1,396	1,378	△18																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
補助金等収入	31	49	18																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
その他の業務活動による収入	141	151	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
投資活動による収入	8,000	9,510	1,510																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
有価証券の売却による収入	8,000	9,500	1,500																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
補助金等収入	0	5	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
その他の投資活動による収入	0	5	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
財務活動による収入	2,188	2,106	△82																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
長期借入による収入	894	811	△83																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
金銭出資の受入による収入	1,294	1,295	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
前年度からの繰越金	4,189	3,824	△365																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
資金支出	29,561	29,262	265																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
業務活動による支出	17,992	17,709	△283																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
給与費支出	9,264	9,557	293																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
材料費支出	5,104	5,614	510																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
その他の業務活動による支出	3,624	2,538	△1,086																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
投資活動による支出	9,388	9,936	548																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
有形固定資産の取得による支出	1,378	1,884	506																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
無形固定資産の取得による支出	0	142	142																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
有価証券の取得による支出	8,000	7,900	△100																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
その他の投資活動による支出	10	10	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
財務活動による支出	2,181	2,181	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
長期借入の返済による支出	953	953	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
移行前地方債償還債務等の償還による支出	1,228	1,228	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
翌年度への繰越金	4,615	6,572	1,957																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

第3期中期計画(平成28～31年度)※H30.3変更	平成29年度計画	平成29年度実績【実施状況及び業務運営の状況】	評価の視点	自己 評定	評定の理由等	H28 評定	評定	設立団体の評価																																																				
(2)日本海八幡クリニック等診療所 ※H30.3追加 (単位:百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>資金収入</td><td>1,331</td></tr> <tr><td>業務活動による収入</td><td>831</td></tr> <tr><td>診療業務による収入</td><td>431</td></tr> <tr><td>運営費負担金による収入</td><td>361</td></tr> <tr><td>その他の業務活動による収入</td><td>39</td></tr> <tr><td>投資活動による収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>運営費負担金による収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他の投資活動による収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>財務活動による収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>長期借入による収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他の財務活動による収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>前期中期目標の期間よりの繰越金</td><td>500</td></tr> <tr><td>資金支出</td><td>1,331</td></tr> <tr><td>業務活動による支出</td><td>701</td></tr> <tr><td>給与費支出</td><td>464</td></tr> <tr><td>材料費支出</td><td>77</td></tr> <tr><td>その他の業務活動による支出</td><td>180</td></tr> <tr><td>投資活動による支出</td><td>0</td></tr> <tr><td>有形固定資産の取得による支出</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他の投資活動による支出</td><td>0</td></tr> <tr><td>財務活動による支出</td><td>0</td></tr> <tr><td>長期借入の返済による支出</td><td>0</td></tr> <tr><td>旅行前地方債償還債務の償還による</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他の財務活動による支出</td><td>0</td></tr> <tr><td>次期中期目標期間への繰越金</td><td>630</td></tr> </tbody> </table> (注) 期間中の診療報酬の改定、給与改定、物価の変動等は考慮していない。	区 分	金 額	資金収入	1,331	業務活動による収入	831	診療業務による収入	431	運営費負担金による収入	361	その他の業務活動による収入	39	投資活動による収入	0	運営費負担金による収入	0	その他の投資活動による収入	0	財務活動による収入	0	長期借入による収入	0	その他の財務活動による収入	0	前期中期目標の期間よりの繰越金	500	資金支出	1,331	業務活動による支出	701	給与費支出	464	材料費支出	77	その他の業務活動による支出	180	投資活動による支出	0	有形固定資産の取得による支出	0	その他の投資活動による支出	0	財務活動による支出	0	長期借入の返済による支出	0	旅行前地方債償還債務の償還による	0	その他の財務活動による支出	0	次期中期目標期間への繰越金	630	△H30.3月変更時の追加項目。 ▽H30年度からの事業のため、H29年度計画に該当しない。 ※H30.4月に酒田市から移管統合された「日本海八幡クリニック等診療所」に関する事項。	▽同左						
区 分	金 額																																																											
資金収入	1,331																																																											
業務活動による収入	831																																																											
診療業務による収入	431																																																											
運営費負担金による収入	361																																																											
その他の業務活動による収入	39																																																											
投資活動による収入	0																																																											
運営費負担金による収入	0																																																											
その他の投資活動による収入	0																																																											
財務活動による収入	0																																																											
長期借入による収入	0																																																											
その他の財務活動による収入	0																																																											
前期中期目標の期間よりの繰越金	500																																																											
資金支出	1,331																																																											
業務活動による支出	701																																																											
給与費支出	464																																																											
材料費支出	77																																																											
その他の業務活動による支出	180																																																											
投資活動による支出	0																																																											
有形固定資産の取得による支出	0																																																											
その他の投資活動による支出	0																																																											
財務活動による支出	0																																																											
長期借入の返済による支出	0																																																											
旅行前地方債償還債務の償還による	0																																																											
その他の財務活動による支出	0																																																											
次期中期目標期間への繰越金	630																																																											
<b>第5 短期借入金の限度額</b>	<b>第4 短期借入金の限度額</b>																																																											
1 限度額 4,000百万円	1 限度額 4,000百万円	短期借入金の実績なし	◇短期借入金の額はどのくらいか。	A	▽短期借入金なし	S																																																						
2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等による一時的な資金不足への対応	2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等による一時的な資金不足への対応																																																											
<b>第6 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画</b>																																																												
なし						-																																																						
<b>第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画</b>																																																												
なし						-																																																						
<b>第8 剰余金の使途</b>	<b>第5 剰余金の使途</b>																																																											
決算において剰余が生じた場合は、病院施設の整備・修繕、医療機器の購入等に充てる。	決算において剰余が生じた場合は、病院施設の整備・修繕、医療機器の購入等に充てる。	H29の決算剰余金については、建設改良積立金に充当し将来の施設整備及び医療機器の整備に備えた。	◇剰余金は病院施設の整備等に充てたか。	S	▽病院施設の整備に充てるため建設改良積立金に充当した。	S																																																						

第3期中期計画(平成28～31年度)※H30.3変更	平成29年度計画	平成29年度実績【実施状況及び業務運営の状況】	評価の視点	自己 評価	評価の理由等	H28 評価	設立団体の評価
<b>第9 料金に関する事項</b>		<b>第6 料金に関する事項</b>					
<b>1 使用料及び手数料</b>	<b>1 使用料及び手数料</b>						
<p>① 病院を利用する者からは、使用料を徴収する。</p> <p>② 料金の額は、診療報酬の算定方法(平成20年厚生労働省告示第59号)、入院時食事療養費に係る食事療養及び入院時生活療養費に係る生活療養の費用の額の算定に関する基準(平成18年厚生労働省告示第99号)、後期高齢者医療の食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額(平成19年厚生労働省告示第395号)の規定により算定した額(以下「告示等による算定額」という。)並びに指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(平成12年厚生労働省告示第19号)、指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(平成12年厚生労働省告示第20号)、厚生労働大臣が定める一単位の単価(平成27年厚生労働省告示第93号)及び指定介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(平成18年厚生労働省告示第127号)の規定により算定した額とする。</p> <p>③ 前項の規定にない使用料及び手数料の額は、次に定めるところによる。 ・山形労働局、地方公務員災害補償基金山形県支部その他の団体等との間における診療契約によるものについては、その契約の定める額とする。 ・前号以外にあっては、理事長が別に定める額とする。</p>	<p>① 病院を利用する者からは、使用料を徴収する。</p> <p>② 料金の額は、以下に掲げる告示等により算定した額とする。 ・診療報酬の算定方法(平成20年厚生労働省告示第59号) ・入院時食事療養費に係る食事療養及び入院時生活療養費に係る生活療養の費用の額の算定に関する基準(平成18年厚生労働省告示第99号) ・後期高齢者医療の食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額(平成19年厚生労働省告示第395号) ・指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(平成12年厚生労働省告示第19号) ・指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(平成12年厚生労働省告示第20号) ・厚生労働大臣が定める一単位の単価(平成27年厚生労働省告示第93号) ・指定介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(平成18年厚生労働省告示第127号) ・生活保護法による保護の実施要領について(昭和38年社発第246号厚生省社会局長通知) ・生活保護法による医療扶助運営要領について(昭和36年社発第727号厚生省社会局長通知)</p> <p>③ 前項の規定にない使用料及び手数料の額は、次に定めるところによる。 ・山形労働局、地方公務員災害補償基金山形県支部その他の団体等との間における診療契約によるものについては、その契約の定める額とする。 ・前号以外にあっては、理事長が別に定める額とする。</p>	<p>地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構使用料及び手数料規程に基づき使用料を徴収を行った。</p> <p>料金の額は、計画に記載の基準等の規定により算定した額とした。</p> <p>計画に記載の契約等による額とした。</p>	<p>◇使用料を適切に徴収したか。</p>	B	<p>▽当法人の規程に基づき適切に使用料を徴収した。</p>	B	
<b>2 使用料及び手数料の減免</b>	<b>2 使用料及び手数料の減免</b>						
<p>理事長が、特別の事情があると認めるときは、使用料及び手数料の全部又は一部を減免することができるものとする。</p>	<p>理事長が、特別の事情があると認めるときは、使用料及び手数料の全部又は一部を減免することができるものとする。</p>	<p>該当者なし</p>	<p>◇規定に基づき適正に処理したか。</p>	B	<p>▽該当なし</p>	B	



第3期中期計画(平成28～31年度)※H30.3変更	平成29年度計画	平成29年度実績【実施状況及び業務運営の状況】	評価の視点	自己 評価	評価の理由等	H28 評価	評価	設立団体の評価																						
<b>第7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項</b>																														
<b>1 人事に関する事項</b>																														
① 今後の医療需要の変化や医療政策の動向等を踏まえ、戦略的に医療従事者の確保・育成に努める。	① 今後の医療需要の変化や医療政策の動向等を踏まえ、戦略的に医療従事者の確保・育成に努める。	① 医療需要の変化や医療政策の動向を踏まえ、5回の職員採用試験を実施し、医療従事者の確保に努めた。  【実績】採用者内訳 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><th>職 種</th><th>平成30年4月採用人数</th></tr> <tr><td>看護師</td><td>19名</td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td>7名</td></tr> <tr><td>臨床検査技師</td><td>1名</td></tr> <tr><td>診療放射線技師</td><td>1名</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td>3名</td></tr> <tr><td>作業療法士</td><td>3名</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td>2名</td></tr> <tr><td>臨床工学技士</td><td>1名</td></tr> <tr><td>遺伝カウンセラー</td><td>1名</td></tr> <tr><td>計</td><td>38名</td></tr> </table>	職 種	平成30年4月採用人数	看護師	19名	薬剤師	7名	臨床検査技師	1名	診療放射線技師	1名	理学療法士	3名	作業療法士	3名	言語聴覚士	2名	臨床工学技士	1名	遺伝カウンセラー	1名	計	38名	◇戦略的に医療従事者の確保・育成に努めたか。	B	▽職員募集活動として、看護師及び薬剤師等のサマーセミナー、病院説明会等を行った。(参加者合計120名)また、看護師採用学校訪問(25回)や医療技術者採用学校説明会(4回)を行い医療従事者の確保に努めた。  ▽受験者 看護師 47名(合格者20名※1名辞退) 医療技術者 36名(合格者19名)	B		
職 種	平成30年4月採用人数																													
看護師	19名																													
薬剤師	7名																													
臨床検査技師	1名																													
診療放射線技師	1名																													
理学療法士	3名																													
作業療法士	3名																													
言語聴覚士	2名																													
臨床工学技士	1名																													
遺伝カウンセラー	1名																													
計	38名																													
② 能力や経験等を適切に評価し、特に優れた職員を積極的に昇任させるなど、モチベーションの向上を図るとともに、将来の病院運営を担う人材を育成する。	② 能力や経験等を適切に評価し、特に優れた職員を積極的に昇任させるなど、モチベーションの向上を図るとともに、将来の病院運営を担う人材を育成する。	② 能力や経験等に対する評価として、認定看護師や専門薬剤師等に資格手当を支給し、また、学会への参加、看護師特定行為研修の受講及び受講料等を負担するなど、職員のモチベーションの向上を図り、認定看護師資格の新規取得など、将来の病院運営を担う人材を育成した。  【実績】認定看護師及び専門薬剤師数内訳 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>認定看護師数</td><td>19名</td></tr> <tr><td>専門薬剤師数</td><td>7名</td></tr> </table>	認定看護師数	19名	専門薬剤師数	7名	◇職員のモチベーションの向上を図るとともに、病院運営を担う人材を育成したか。	A	▽認定看護師等の手当支給や学会参加費の助成、研修会受講料の負担等により、モチベーションの向上を図った。  ▽新規認定看護師資格取得者は1名で、認定看護師数は19名となった。	A																				
認定看護師数	19名																													
専門薬剤師数	7名																													
<b>2 職員の就労環境の整備に関する事項</b>																														
① 職員一人ひとりが、それぞれの分野で専門知識や能力を十分に発揮できるよう、多職種によるチーム医療を推進する。	① 職員一人ひとりが、それぞれの分野で専門知識や能力を十分に発揮できるよう、多職種によるチーム医療を推進する。	① 職員一人ひとりが、それぞれの分野で専門知識や能力を十分に発揮できるよう、また、多職種によるチーム医療を推進するため、新たに「がんセンターボード」を定期的に開催した。  【実績】がんセンターボード回数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><th>H29.9月</th><th>H29.10月</th><th>H29.11月</th><th>H29.12月</th><th>H30.1月</th><th>H30.2月</th><th>H30.3月</th><th>合計</th></tr> <tr><td>2回</td><td>2回</td><td>2回</td><td>2回</td><td>1回</td><td>3回</td><td>2回</td><td>14回</td></tr> </table>	H29.9月	H29.10月	H29.11月	H29.12月	H30.1月	H30.2月	H30.3月	合計	2回	2回	2回	2回	1回	3回	2回	14回	◇多職種によるチーム医療を推進したか。	A	▽山形大学医学部の支援を受けがんセンターボードを9月から14回開催し、多職種によるチーム医療の推進に努めた	A								
H29.9月	H29.10月	H29.11月	H29.12月	H30.1月	H30.2月	H30.3月	合計																							
2回	2回	2回	2回	1回	3回	2回	14回																							
② 職員の心理的負担を把握するため、必要に応じ面接指導を行うなど、メンタルヘルス対策の充実を図る。	② 職員の心理的負担を把握するため、必要に応じ面接指導を行うなど、メンタルヘルス対策の充実を図る。	② 職員の心理的負担を把握するためのストレスチェック後の面接指導を実施し、更に「職場環境改善に関する意見書」を所属部門に提出するなど、メンタルヘルス対策の充実を図った。	◇メンタルヘルス対策の充実を図ったか。	B	▽面接指導後に職場改善に関する意見書により、職場の改善を行い対策の充実を図った。	B																								
③ 不適切な言動、行為等に起因する、職員の精神的・身体的損害及び生産性の低下を防止するため、ハラスメントの相談窓口の充実を図る。	③ 不適切な言動、行為等に起因する、職員の精神的・身体的損害及び生産性の低下を防止するため、ハラスメントの相談窓口の充実を図る。	③ 不適切な言動、行為等に起因する、職員の精神的・身体的損害及び生産性の低下を防止するため、ハラスメント相談窓口を活用し、職場環境を改善する体制を整備した。	◇ハラスメントの相談窓口の充実を図ったか。	B	▽ハラスメント窓口への相談に対応し、職場環境の改善について指導を行った。	A																								
④ 院内保育所の24時間対応や病児・病後児保育を継続するなど、職員が業務に専念できるよう就労環境の向上に努める。	④ 院内保育所の24時間対応や病児・病後児保育を継続するなど、職員が業務に専念できるよう就労環境の向上に努める。	④ 院内保育所「あきほ保育園」では、年末・年始(12月29日から1月3日まで)を除き、24時間保育を実施した。また、継続して病児・病後児保育事業を酒田市から受託し、当該事業を活用し職員の就労環境の向上に努めた。  【実績】院内保育所「あきほ保育園」利用者数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><th>平成26年度</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th></tr> <tr><td>38名</td><td>32名</td><td>28名</td><td>29名</td></tr> </table> 【実績】院内保育所「あきほ保育園」終夜利用者数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><th>平成26年度</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th></tr> <tr><td>99名</td><td>27名</td><td>4名</td><td>4名</td></tr> </table>	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	38名	32名	28名	29名	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	99名	27名	4名	4名	◇24時間保育の実施など、職員の就労環境の向上に努めたか。	B	▽年末・年始(12/29～1/3)の休所日を除き、24時間保育を実施し、職員の就労環境の向上に努めた。	B								
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																											
38名	32名	28名	29名																											
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																											
99名	27名	4名	4名																											

第3期中期計画(平成28～31年度)※H30.3変更	平成29年度計画	平成29年度実績【実施状況及び業務運営の状況】	評価の視点	自己 評価	評価の理由等	H28	設立団体の評価																																		
						評定	評定	評定																																	
<b>3 医療機器・施設整備に関する事項</b>						<b>3 医療機器・施設整備に関する事項(日本海総合病院)</b>																																			
① 費用対効果、地域の医療需要、他の機関との機能分担、医療技術の進展などを総合的に判断して整備する。	① 費用対効果、地域の医療需要、他の機関との機能分担、医療技術の進展などを総合的に判断して整備する。	① 費用対効果、地域の医療需要、他の機関との機能分担、医療技術の進展などを総合的な判断のもと、高度医療機器においては、装置の稼働率、設置に対する採算性、収支の予測を十分に行い更新及び整備した。	◇医療技術の進展などを総合的に判断して整備したか。	B	▽デジタル一般撮影システムについては、画像表示までの時間が短縮され検査処理能力が大幅に向上され、また、検出器の感度の向上によりより少ない線量での検査が可能となったシステムに更新した。	B																																			
② 平成26年度に実施した建物診断の結果に基づき、老朽化が著しく、緊急度が高い設備等を優先して、計画的に修繕を行う。	② 平成26年度に実施した建物診断の結果に基づき、老朽化が著しく、緊急度が高い設備等を優先して、計画的に修繕を行う。	② 建物診断の結果に基づき策定した中長期修繕計画に従い、緊急度が高い設備の修繕工事を以下のとおり行った。  【実績】修繕工事 <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名</th> <th>契約額(円)</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空調機ユニット等更新工事</td> <td>67,500,000</td> <td>耐用年数の超過と塩害により劣化している病棟空調機(8基)と当該機器等の給気チャンバーBOX及び給気ダクトの更新。</td> </tr> <tr> <td>ファンコイルユニット更新工事</td> <td>19,890,000</td> <td>耐用年数の超過により劣化しているファンコイルユニット(50台)の更新。</td> </tr> <tr> <td>空調・衛生ポンプ更新工事</td> <td>54,000,000</td> <td>耐用年数の超過により劣化している空調ポンプ(28基)、衛生ポンプ(12基)及び起動用電磁接触器等の電気部品の更新。</td> </tr> <tr> <td>チリングユニット更新工事</td> <td>19,332,000</td> <td>耐用年数の超過により劣化している冷凍機(2基)の更新。</td> </tr> <tr> <td>医療ガス設備圧縮空気供給装置更新工事</td> <td>21,060,000</td> <td>耐用年数の超過している医療ガス設備の圧縮空気供給装置(1式)の更新。</td> </tr> <tr> <td>エレベーター更新工事</td> <td>48,600,000</td> <td>耐用年数の超過により一部の部品供給が終了した油圧用エレベーター(2基)の更新。</td> </tr> </tbody> </table>	工事名	契約額(円)	概要	空調機ユニット等更新工事	67,500,000	耐用年数の超過と塩害により劣化している病棟空調機(8基)と当該機器等の給気チャンバーBOX及び給気ダクトの更新。	ファンコイルユニット更新工事	19,890,000	耐用年数の超過により劣化しているファンコイルユニット(50台)の更新。	空調・衛生ポンプ更新工事	54,000,000	耐用年数の超過により劣化している空調ポンプ(28基)、衛生ポンプ(12基)及び起動用電磁接触器等の電気部品の更新。	チリングユニット更新工事	19,332,000	耐用年数の超過により劣化している冷凍機(2基)の更新。	医療ガス設備圧縮空気供給装置更新工事	21,060,000	耐用年数の超過している医療ガス設備の圧縮空気供給装置(1式)の更新。	エレベーター更新工事	48,600,000	耐用年数の超過により一部の部品供給が終了した油圧用エレベーター(2基)の更新。	◇建物総合診断を踏まえ、計画的に修繕を行ったか。	B	▽建物総合診断を踏まえ、計画的に修繕を実施した。	B														
工事名	契約額(円)	概要																																							
空調機ユニット等更新工事	67,500,000	耐用年数の超過と塩害により劣化している病棟空調機(8基)と当該機器等の給気チャンバーBOX及び給気ダクトの更新。																																							
ファンコイルユニット更新工事	19,890,000	耐用年数の超過により劣化しているファンコイルユニット(50台)の更新。																																							
空調・衛生ポンプ更新工事	54,000,000	耐用年数の超過により劣化している空調ポンプ(28基)、衛生ポンプ(12基)及び起動用電磁接触器等の電気部品の更新。																																							
チリングユニット更新工事	19,332,000	耐用年数の超過により劣化している冷凍機(2基)の更新。																																							
医療ガス設備圧縮空気供給装置更新工事	21,060,000	耐用年数の超過している医療ガス設備の圧縮空気供給装置(1式)の更新。																																							
エレベーター更新工事	48,600,000	耐用年数の超過により一部の部品供給が終了した油圧用エレベーター(2基)の更新。																																							
③ 高額な医療機器等の更新及び整備については、償還等の負担を十分に考慮し、中長期的な投資計画(整備計画)のもとに行う。  【中期計画期間に係る医療機器・施設整備に関する計画】(単位:百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予定額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資本支出</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建設改良費</td> <td>3,904</td> <td>設立団体からの</td> </tr> <tr> <td>施設整備</td> <td>920</td> <td>長期借入金等</td> </tr> <tr> <td>医療機器等</td> <td>2,984</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電子カルテ更新等</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	予定額	財源	資本支出			建設改良費	3,904	設立団体からの	施設整備	920	長期借入金等	医療機器等	2,984		電子カルテ更新等			③ 高額な医療機器等の更新及び整備については、償還等の負担を十分に考慮し、中長期的な投資計画(整備計画)のもとに行う。  【医療機器・施設整備の計画】(単位:百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予定額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資本支出</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建設改良費</td> <td>1,376</td> <td>設立団体からの</td> </tr> <tr> <td>施設整備</td> <td>749</td> <td>長期借入金等</td> </tr> <tr> <td>医療機器等</td> <td>629</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	予定額	財源	資本支出			建設改良費	1,376	設立団体からの	施設整備	749	長期借入金等	医療機器等	629		③ 高額な医療機器等の更新及び整備については、償還等の負担を十分に考慮し、中長期的な投資計画(整備計画)のもとに行った。	◇中長期的な投資計画(整備計画)のもとに行ったか。	B	▽起債に係る償還等の負担を十分に考慮し、中長期的な投資計画(整備計画)のもとに更新を行った。	B		
区分	予定額	財源																																							
資本支出																																									
建設改良費	3,904	設立団体からの																																							
施設整備	920	長期借入金等																																							
医療機器等	2,984																																								
電子カルテ更新等																																									
区分	予定額	財源																																							
資本支出																																									
建設改良費	1,376	設立団体からの																																							
施設整備	749	長期借入金等																																							
医療機器等	629																																								
④ 日本海八幡クリニック等診療所については、酒田市と協議を行いながら医療機器・施設整備を図る。※H30.3追加	▽H30.3月変更時の追加項目。 ▽H30年度からの事業のため、H29年度計画に該当しない。 ※H30.4月に酒田市から移管統合された「日本海八幡クリニック等診療所」に関する事項。	▽同左		-																																					
<b>4 法人が負担する債務の償還に関する事項</b>																																									
(1) 移行前地方債償還債務  <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">前期残高</th> <th colspan="4">中期計画期間中償還予定額</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>法人計</td> <td>5,963</td> <td>1,227</td> <td>1,228</td> <td>797</td> <td>628</td> <td>3,820</td> </tr> <tr> <td>日本海総合病院</td> <td>5,798</td> <td>1,142</td> <td>1,148</td> <td>797</td> <td>628</td> <td>3,655</td> </tr> <tr> <td>日本海酒田リハビリテーション病院</td> <td>165</td> <td>85</td> <td>80</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>165</td> </tr> </tbody> </table>	区分	前期残高	中期計画期間中償還予定額				計	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	法人計	5,963	1,227	1,228	797	628	3,820	日本海総合病院	5,798	1,142	1,148	797	628	3,655	日本海酒田リハビリテーション病院	165	85	80	0	0	165	/		/		-				
区分			前期残高	中期計画期間中償還予定額				計																																	
	平成28年度	平成29年度		平成30年度	平成31年度																																				
法人計	5,963	1,227	1,228	797	628	3,820																																			
日本海総合病院	5,798	1,142	1,148	797	628	3,655																																			
日本海酒田リハビリテーション病院	165	85	80	0	0	165																																			
(2) 長期借入金  <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">前期残高</th> <th colspan="4">中期計画期間中償還予定額</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>法人計</td> <td>7,516</td> <td>859</td> <td>953</td> <td>963</td> <td>756</td> <td>3,533</td> </tr> <tr> <td>日本海総合病院</td> <td>6,763</td> <td>837</td> <td>924</td> <td>938</td> <td>734</td> <td>3,433</td> </tr> <tr> <td>日本海酒田リハビリテーション病院</td> <td>753</td> <td>22</td> <td>29</td> <td>25</td> <td>24</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	区分	前期残高	中期計画期間中償還予定額				計	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	法人計	7,516	859	953	963	756	3,533	日本海総合病院	6,763	837	924	938	734	3,433	日本海酒田リハビリテーション病院	753	22	29	25	24	100									
区分			前期残高	中期計画期間中償還予定額				計																																	
	平成28年度	平成29年度		平成30年度	平成31年度																																				
法人計	7,516	859	953	963	756	3,533																																			
日本海総合病院	6,763	837	924	938	734	3,433																																			
日本海酒田リハビリテーション病院	753	22	29	25	24	100																																			

第3期中期計画(平成28～31年度)※H30.3変更	平成29年度計画	平成29年度実績【実施状況及び業務運営の状況】	評価の視点	自己 評定	評定の理由等	H28	設立団体の評価																										
						評定	評定																										
<b>5 積立金の使途</b>	<b>4 積立金の使途</b>																																
前期中期目標期間の繰越積立金は、施設の整備、医療機器の購入等に充てる。	前期中期目標期間の繰越積立金は、施設の整備、医療機器の購入等に充てる。	前期中期目標期間の繰越積立金は、施設の整備、医療機器の購入等に充てた。	◇施設の整備、医療機器の購入等に充てたか。	B	▽施設の整備、医療機器の購入等に充てた。	B																											
<b>6 その他法人の業務運営に関する事項</b>	<b>5 その他法人の業務運営に関する事項</b>																																
① 酒田市、公益財団法人やまがた健康推進機構及び診療所等との連携、機能分担のもと、がん検診をはじめ地域の検診体制の充実を図る。	① 日本海総合病院は、酒田市、公益財団法人やまがた健康推進機構及び診療所等との連携、機能分担のもと、がん検診をはじめ地域の検診体制の充実を図る。	① 日本海総合病院は、酒田市、公益財団法人やまがた健康推進機構及び診療所等との連携及び機能分担のもと、がん検診をはじめ地域の検診体制の充実を図った。 日本海総合病院では、酒田市が実施した「内視鏡ドック」のうち、次の項目を継続して担った。  【実績】内視鏡ドック件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上部内視鏡</td> <td>142件</td> <td>122件</td> <td>107件</td> <td>115件</td> </tr> <tr> <td>下部内視鏡</td> <td>142件</td> <td>121件</td> <td>105件</td> <td>115件</td> </tr> <tr> <td>胸部CT</td> <td>142件</td> <td>123件</td> <td>107件</td> <td>115件</td> </tr> <tr> <td>PET/CT</td> <td>49件</td> <td>52件</td> <td>36件</td> <td>60件</td> </tr> </tbody> </table> 一般社団法人酒田地区医師会十全堂及び公益財団法人やまがた健康推進機構との連携、機能分担のもと、地域住民の検診を行った。 日本海総合病院は、酒田市へのふるさと納税の返礼品として、納税額に応じた3種類の人間ドックを実施した。		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	上部内視鏡	142件	122件	107件	115件	下部内視鏡	142件	121件	105件	115件	胸部CT	142件	123件	107件	115件	PET/CT	49件	52件	36件	60件	◇公益財団法人やまがた健康推進機構等と連携し、検診体制の充実を図ったか。	B	▽酒田市が実施している「内視鏡ドック」のうち、胃・大腸内視鏡及び胸部CT検査の実施を担った。 ▽酒田市の検診と合わせてPET/CT検診を受診できるよう、市民に広く周知を行った。 ▽酒田市へのふるさと納税の返礼品として、納税額に応じた3種類の人間ドックを引き続き実施した。	B		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																													
上部内視鏡	142件	122件	107件	115件																													
下部内視鏡	142件	121件	105件	115件																													
胸部CT	142件	123件	107件	115件																													
PET/CT	49件	52件	36件	60件																													
② 病児・病後児保育については、「庄内北部定住自立圏形成協定」により、酒田市以外に在住の乳幼児等も受け入れる。	② 病児・病後児保育については、「庄内北部定住自立圏形成協定」により、酒田市以外に在住の乳幼児等も受け入れる。	② 病児・病後児保育事業を酒田市から受託し、「庄内北部定住自立圏形成協定」に則って三川町、庄内町及び遊佐町に在住の乳幼児等も受け入れる体制を整え、日曜日、祝日、年末年始休業(12/29～1/3)を除き、通年で事業を継続して実施した。  【実績】病児・病後児保育事業延べ利用者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>291名</td> <td>263名</td> <td>246名</td> <td>300名</td> </tr> <tr> <td>うち職員利用者数</td> <td>105名</td> <td>96名</td> <td>90名</td> <td>105名</td> </tr> </tbody> </table>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	延べ利用者数	291名	263名	246名	300名	うち職員利用者数	105名	96名	90名	105名	◇病児・病後児事業を受託し、酒田市以外の乳幼児の受け入れを行ったか。	B	▽引き続き酒田市から受託し、日曜日、祝日、年末年始休業(12/29～1/3)を除き、通年で事業を実施した。また、酒田市以外に在住の乳幼児も受け入れた。	B												
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																													
延べ利用者数	291名	263名	246名	300名																													
うち職員利用者数	105名	96名	90名	105名																													

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 年度別実績評価状況一覧表

	第1期中期目標期間											
	平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度		
判定基準	自己判定	判定	比率	自己判定	判定	比率	自己判定	判定	比率	自己判定	判定	比率
S	0	0	0%	0	0	0%	0	2	4.4%	7	7	13.5%
A	15	15	35.7%	20	20	42.6%	23	24	53.3%	44	44	84.6%
B	24	24	57.1%	25	26	55.3%	22	19	42.2%	1	1	1.9%
C	3	3	7.1%	2	1	2.1%	0	0	0%	0	0	0%
D	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%
項目数合計	42			47			45			52		

	第2期中期目標期間											
	平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度		
判定基準	自己判定	判定	比率	自己判定	判定	比率	自己判定	判定	比率	自己判定	判定	比率
S	9	11	15.5%	15	15	18.8%	17	16	18.8%	12	13	15.5%
A	55	56	78.9%	61	62	77.5%	63	66	77.6%	70	69	82.1%
B	7	4	5.6%	4	3	3.8%	5	2	2.4%	2	2	2.4%
C	0	0	0%	0	0	0%	0	1	1.2%	0	0	0%
D	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%
項目数合計	71			80			85			84		

	第3期中期目標期間											
	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
判定基準	自己判定	判定	比率	自己判定	判定	比率	自己判定	判定	比率	自己判定	判定	比率
S	7	9	9.6%	4		0.0%			0.0%			0.0%
A	32	35	37.2%	30		0.0%			0.0%			0.0%
B	55	50	53.2%	59		0.0%			0.0%			0.0%
C	0	0	0.0%	0		0%			0.0%			0.0%
D	0	0	0.0%	0		0%			0%			0%
項目数合計	94			93			0			0		